

シラバス

平成20年度

4年次

病態と診療Ⅱ

医療と社会Ⅰ

千葉大学医学部

病態と診療Ⅱ

I 科目(コース)名 病態と診療Ⅱ

II コースの概要
並びに学習目標
(GIO)

病態と診療Ⅱは、①臨床病態治療学(ユニット授業)、②チュートリアル、③臨床入門の3つよりなる。臨床病態治療学は、疾患の病態、診断、治療を総括的に理解するために臓器別学習を行う。チュートリアルは、少人数によるチーム学習を通して基礎と臨床、各科の領域を超えて総合的な学習を行う。臨床入門においては、卒後研修に必要な技能の取得とともに患者中心の全人的医療を実践できる医師の育成を目した教育を行う。

臨床病態治療学(ユニット授業)

1) ユニット名 臨床病態治療学(ユニット授業)

2) ユニット責任者 横須賀 収

4) ユニットの概要

疾患の病態、診断、治療を総括的に理解する。そのために医学序説として内科・外科総論をまとめた。さらに全人的医療を実践するための考え方・技能、現代医療における漢方の役割についても概説する。疾患を臓器別にユニットにわけ、多くのユニットに病理各論と実習を組み込んだ。また効果的に学習が進められるように各ユニットは、チュートリアルと連動して時間割を組んだ。

6) 評価法

1. 各ユニットの1コマを試験にあてる。成績不良者に対する再試は行わない。ただし、病欠、忌引き等特別の理由がある場合は追試を行う。病欠の場合は、原則として千葉大学附属病院で発行された診断書を提出すること。ただし、千葉大学附属病院発行の診断書が提出できない場合は、千葉大学教員が発行する証明書等を提出すること。忌引きの場合は、それを証明するもの(案内状等)を提出すること。

2. 臨床病態治療学(ユニット授業)の進級に関わる成績評価は、臨床病態治療学と共用試験CBTの双方を総合的に判断して行う。

医学序説ユニット

1) ユニット名	医学序説						
2) ユニット責任者	氏名	所属	メールアドレス	内線 電話番号	院内 PHS	オフィスアワー	
	加藤 厚	臓器制御外科学	akato@faculty.chiba-u.jp	6158	72230	水・金 (15:00~17:00)	

4) ユニットの概要

実際の臨床の場で患者を目の前にして、その病態を正しく把握し、適切な治療方針が立てられるように、疾患の成り立ちと症状の関係、そして、診断・診療に至る重要な原則について講義する。その為には定型的な画像できるだけ示し、疾患の理解を容易にするように努める。

外科総論、内科症候学、医療経済学、EBMなどを含む総論的講義で、各ユニットに分かれる前の導入的役割を担う。

5) ユニットの学習目標

渡邊 紀彦

一般目標 アレルギー疾患，自己免疫疾患の臓器傷害の免疫学的発症機構と病態生理について理解する。

- 個別目標
- 1) 発熱の病態と発症機序を理解する。
 - 2) 関節炎の免疫学的発症機構と病態生理について理解する。
 - 3) 皮疹と皮膚傷害の免疫学的発症機構と病態生理について理解する。
 - 4) アレルギー性肺疾患の免疫学的発症機構と病態生理について理解する。
 - 5) 膠原病の血管病変の発症機序，病態，臨床症状を理解する。

桑原 洋一

一般目標 胸痛を例に循環器疾患の診断，検査戦略を理解する。

- 個別目標
- 1) 胸痛をきたす疾患を列記する。
 - 2) 冠動脈疾患の危険因子を列記する。
 - 3) 循環器特殊検査を理解する。
 - 4) 試験前確率，試験後確率を理解する。
 - 5) 感度，特異度，ベイズの法則を理解する。

金井 数明

一般目標 意識障害の病態機序，鑑別診断，検査法とその解釈および治療の知識を獲得する。

- 個別目標
- 1) 意識の定義を理解する。
 - 2) 意識を司る脳機構（脳幹網様体，視床，大脳皮質）を理解する。
 - 3) 意識障害の評価法（Glasgo Coma Scaleなど）を理解し，脳幹反射，運動反応から臨床症状を評価できる。
 - 4) 意識障害の原因疾患について問診からアプローチできる。
 - 5) 意識障害の原因疾患の鑑別診断を知る。

巽 浩一郎

一般目標 呼吸器疾患患者の主訴を病態生理学的に分析し，適切な検査法を選択し，疾患との関連を述べることができる。

- 個別目標
- 1) 呼吸器疾患患者の主訴，検査方法，疾患名を列挙することができ，その相互の関係および成因と病態生理を述べることができる。
 - 2) 呼吸困難の原因と病態を説明できる。
 - 3) 呼吸困難の程度に関する分類を説明できる。
 - 4) 呼吸困難患者の診断の要点を説明できる。
 - 5) Hugh-Jones分類によるgradingを行うことができる。

今関 文夫

腹痛

一般目標 腹痛の成因，病態，診断を理解する。

- 個別目標
- 1) 腹痛の原因と病態を説明できる。
 - 2) 腹痛患者の診断の要点を説明できる。

3) 急性腹症を概説できる。

便秘・下痢・吐血・下血

一般目標 便秘・下痢・吐血・下血の成因，病態，診断を理解する。

- 個別目標
- 1) 便秘・下痢・吐血・下血の原因と病態を説明できる。
 - 2) 便秘・下痢・吐血・下血患者の診断の要点を説明できる。

黄疸

一般目標 黄疸の成因，病態，診断を理解する。

- 個別目標
- 1) 黄疸の原因と病態を説明できる。
 - 2) 黄疸患者の診断の要点を説明できる。

武城 英明

一般目標 肥満症の病態を理解し，医学的および社会的重要性，またその医療の意義を習得する。

- 個別目標
- 1) 肥満症の医学的位置付けを説明できる。
 - 2) 肥満症医療の社会的重要性を説明できる。
 - 3) 肥満症の医学の目的を説明できる。
 - 4) 肥満症の病態を説明できる。
 - 5) 肥満症の治療の意義を説明できる。

中世古 知明

一般目標 リンパ節の腫脹をきたす疾患，その鑑別方法を理解する。

寺澤担当分

一般目標 ホメオスタシスを回復し，自然治癒力を賦活する東洋医学の特質について理解する。

個別目標 高齢化・ストレス・疾病予防という観点からみた現代医療における漢方の役割について説明できる。

松原 久裕

一般目標 外科の基本的な手技についての学習し，卒後研修で外科系をローテーションする際に必要な知識を習得する。

- 個別目標
- 1) 消毒法について
 - 2) 切開法について
 - 3) 縫合法について
 - 4) ドレナージ法について
 - 5) 止血法について
 - 6) 外科的診察方法の基本ならびに外科的手技の説明基本的な姿勢について学習する。

鍋谷 圭宏

一般目標 創傷の治癒機転と外科代謝栄養の基礎を理解する。

- 個別目標
- 1) 創傷治癒機転に関与する因子とその役割について述べることができる。
 - 2) 創傷治癒を遅らせる要因はなにか，を述べることができる。
 - 3) 中心静脈栄養，経腸栄養の方法と適応疾患，メリットとデメリットを述べることができる。

生坂 政臣

一般目標 generalistとして必要な考え方と臨床技能を理解する。

- 個別目標
- 1) 臨床推論を概説できる。
 - 2) 総合外来における症候学, 病態生理, 有病率の重要性を説明できる。

小川 真

一般目標 浮腫の発症・進展機序, その程度と範囲の評価法および治療法の概要を理解する。

- 個別目標
- 1) 浮腫の定義を理解する。
 - 2) 水代謝に関与する臓器相関と, それを制御するホルモン等の液性因子の役割について理解する。
 - 3) 浮腫の原因疾患をあげ, その診断・鑑別診断について説明できる。
 - 4) 浮腫治療の概要を説明できる。

山本 正二

一般目標 X線解剖学の基礎を理解し, 放射線を用いたおもな画像診断について理解する。

- 個別目標
- 1) 画像診断に用いる各種検査法を説明できる。
 - 2) 単純X線写真・CT・MRIの正常解剖を説明できる。
 - 3) CT画像の撮影法, 造影CTの利点と副作用を説明できる。

首藤 潔彦

一般目標 外科侵襲に対するサイトカインを媒体とする生体反応の機序の理解と臨床応用

- 個別目標
- 1) サイトカインについて理解する。
 - 2) SIRSについて理解する。
 - 3) MOFについて理解する。
 - 4) CARSについて理解する。
 - 5) 外科臨床への応用について理解する。

本折 健

一般目標 医師として知っておくべきCTおよびMRIの基本的な原理と画像を理解する。

- 個別目標
- 1) CTの原理と画像を理解する。
 - 2) MRIの性質上, 適応禁忌となる症例について理解する。
 - 3) MRIのT1およびT2強調画像について理解する。

志村 仁史

一般目標 侵襲時における体液・電解質の変化を理解し, 輸液療法の基本を習得する。

- 個別目標
- 1) 外科侵襲時の水分出納, 電解質のバランスについて理解する。
 - 2) 輸液・栄養療法について理解する。

大塚 将之

一般目標 外科における免疫学, とくに自己-非自己認識システムについて理解する。

- 個別目標
- 1) 細胞性免疫のシステムについて説明できる。
 - 2) 移植免疫, さらに臓器移植における拒絶反応について説明できる。

吉富 秀幸

一般目標 悪性腫瘍に対する外科治療を含めた集学的治療について理解する。

- 個別目標
- 1) 癌の増殖転移のメカニズムについて説明できる。
 - 2) 癌の拡大手術, 縮小手術について説明できる。

花岡 英紀

がん医療の倫理・臨床試験・疫学

田口奈津子

がん緩和医療

宇野 隆

放射線腫瘍学

塚田恵美子

化学療法の理論と実際

滝口 裕一

多臓器にわたる腫瘍・問題

吉留 博之

医療安全

6) 評価法 筆記試験 (90%), 出席 (10%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1. 2	4月1日(火)	I ・ II	第三講義室	寺澤捷年	講義	漢方方剤と薬理, 薬効評価 漢方方剤の成り立ちについて考える。 複合成分系薬物としての漢方方剤の薬理学的研究の知見を紹介する。無作為化試験などの漢方方剤の薬効評価について考える。 漢方医学の診断法 漢方医学の診断の実際を理解する。臨床の実際と東西医学の和諧をめざす和漢診療学の意義を考える。		

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
3	4月1日(火)	Ⅲ	第三講義室	山本正二	講義	放射線解剖Ⅰ胸部・腹部の放射線画像診断解剖について学習します。各画像診断法における特性を理解し放射線画像診断評価法について画像を示し講義いたします。	X線, 単純撮影, 断層撮影, 透視, 造影剤	標準放射線医学・新臨床X線診断学
4	4月2日(水)	I	第三講義室	渡邊紀彦	講義	発熱, 関節炎, 皮疹, 血管病変の発症機序 アレルギー性肺疾患の発症機序		
5	4月2日(水)	Ⅱ	第三講義室	今関文夫	講義	腹痛, 便秘・下痢, 消化管出血, 腹部膨隆(腹水・腫瘍), 黄疸をきたす消化器疾患とその病態生理	症状発生機序, 病態生理, 鑑別診断	新臨床診断Ⅱ 医学書院 消化器病態学 医学書院 内科学Ⅰ 文光堂
6	4月2日(水)	Ⅲ	第三講義室	志村仁史	講義	外科侵襲時はもとより, さまざまな病態において体内の水分出納および電解質の状態を把握しこれを補正, 維持する輸液療法の基本を理解する。	脱水, 電解質異常, 輸液	標準外科学総論 参照
7	4月2日(水)	Ⅳ	第三講義室	大塚将之	講義	外科における免疫学の概要, とくに自己-非自己認識システムについて解説し, 癌免疫, 移植免疫, さらには臓器移植における拒絶反応を解説する。	主要組織適合性抗原, T細胞, 腫瘍抗原, アロ抗原, 移植片拒絶反応, 免疫寛容, 免疫抑制剤。	標準外科学, その他免疫移植関連解説本
8・9	4月3日(木)	I・II	第三講義室	生坂政臣	講義	総合医, あるいはgeneralistとして必要な考え方と臨床技能について概説する。	臨床推論, 症候学, 病態生理, 疾患頻度	特になし
10	4月3日(木)	Ⅲ	第三講義室	花岡英紀	講義	がん医療の倫理・臨床試験・疫学		

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
11	4月3日(木)	Ⅳ	第三講義室	金井数明	講義	意識障害の病態、鑑別診断を解説する	意識障害、脳幹反射、上行網様体賦活系、代謝性脳症、髄膜脳炎	教科書 臨床神経内科学、南山堂
12	4月4日(金)	Ⅰ	第三講義室	首藤潔彦	講義	外科侵襲と生体反応 外科治療を安全に施行するためには、手術手技の研鑽、疾患病態の究明とともに、外科侵襲に対する生体反応の理解が不可欠である。最新外科領域では、サイトカインを媒体とするこの生体反応を積極的にコントロールすることによって、良好な成績をあげている。本講義では、その機序および臨床について概説する。	サイトカイン、IL-6、SIRS、ARDS、MOF、血液浄化法、ステロイド	標準外科学 総論参照
13	4月4日(金)	Ⅱ	第三講義室	巽浩一郎	講義	呼吸器疾患患者の主訴を病態生理学的に分析し、適切な検査法を選択し、疾患との関連を述べることができる。	呼吸困難、咳、痰、血痰、胸痛、チアノーゼ	朝倉内科学、新臨床内科学
14	4月4日(金)	Ⅲ	第三講義室	松原久裕	講義	外科基本手技 切開・縫合・ドレナージ・止血などの外科の基本手技について学習する。また、外科医として、患者に接する場合の基本的な姿勢について学習する。講義を通じて、将来の卒後研修で外科系をローテートする際に必要な最低限の知識を習得する。	切開、縫合、吻合、ドレナージ、止血、消毒	標準外科学 第10版

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
15	4月4日(金)	Ⅳ	第三講義室	吉留博之	講義	医療安全		
16	4月7日(月)	Ⅰ	第三講義室	中世古知明	講義	リンパ節腫脹をきたす病態。	感染性疾患, 悪性腫瘍におけるリンパ節腫脹	
17	4月7日(月)	Ⅱ	第三講義室	小川真	講義	浮腫を形成する病態生理の概説と, それに基づく管理・治療法。	浮腫, ナトリウム, 心臓, 腎臓, 肝臓, 尿細管, 利尿薬	一目でわかる水・電解質 第二版 (MEDSI)
18	4月7日(月)	Ⅲ	第三講義室	武城英明	講義	肥満	病態, 医療, 疾患, 合併症	内科学, p988-993, p1069-1075, p1149-1153, 第2版, 文光堂
19	4月7日(月)	Ⅳ	第三講義室	吉富秀幸	講義	悪性腫瘍に対する強力な局所制御療法としての手術を中心として, その適応, 応用, 補助療法につき述べると共に, 悪性腫瘍の増殖, 転移など広い見地から学習する。	癌の増殖, 転移, 拡大手術, 縮小手術, 補助療法, 化学療法	特になし
20	4月7日(月)	Ⅴ	第三講義室	鍋谷圭宏	講義	栄養と創傷治癒 外科治療において基本となる創傷の治癒機構は様々な因子が関与する, 複雑な過程である。これらの作用機転を学ぶとともに, 創傷治癒に影響を及ぼす基礎的な病態について考察する。また, 中心静脈栄養, 経腸栄養法とはいかなるものか, その適応疾患と施行法について学ぶ。外科侵襲下の生体反応と, 必要とされる輸液, 栄養管理, 薬剤の作用機序などについても, その基礎を学習する。	創傷治癒, 一次治癒～三次治癒, 肉芽, 瘢痕, debridement, コラーゲン, 線維芽細胞, 血液凝固, サイトカイン, 高カロリー輸液, 経腸栄養	標準外科学 第10版 11章, 19章

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
21	4月8日(火)	I	第三講義室	田口奈津子	講義	がん緩和医療		
22	4月8日(火)	II	第三講義室	滝口裕一	講義	臨床腫瘍学には特定の臓器に分類されない諸問題が存在する。腫瘍救急症, 原発不明がん, 性腺外胚細胞腫などの各論を通じ, 臨床腫瘍学の臓器横断的問題を理解する。	腫瘍救急症, 原発不明がん, 性腺外胚細胞腫	新臨床腫瘍学 (日本臨床腫瘍学会編, 南江堂)
23	4月9日(水)	III	第三講義室	本折健	講義	CT-MRIの原理と画像	CT, MDCT, MRI, T1強調画像, T2強調画像	標準放射線医学・新臨床X線診断学
24 ・ 25	4月9日(水)	IV ・ V	第三講義室	寺澤捷年	講義	漢方医学と西洋医学異なった2つのパラダイムを概観し, 気思想について考える。漢方医学の基礎概念である五臓論と気血水論を理解する。 陰陽論と病態の流動性 漢方医学の基礎概念である陰陽論について考える。病態の流動性を捕らえる六病位について理解する。	漢方医学, 和漢薬, 漢方方剤, 和漢診療学, 東洋医学, 漢方	症例から学ぶ和漢診療学, 医学書院 「EBM漢方」寺澤捷年, 喜多敏明 編集, 医歯薬出版
26	4月10日(木)	III	第三講義室	堺田恵美子	講義	化学療法の理論と実際		
27	4月10日(木)	IV	第三講義室	宇野隆	講義	放射線腫瘍学		
28	4月10日(木)	V	第三講義室	桑原洋一	講義	胸痛の鑑別, 冠動脈疾患の危険因子, 循環器特殊検査の理解と位置づけ, 試験前確率と試験後確率, 感度, 特異度, ベイズの定理		Braunward E et al. Heart Disease a textbook of cardiovascular medicine p27-81
29	4月28日(月)	I	組織実習室	加藤厚	試験			

画像・放射線ユニット

- 1) ユニット名 画像・放射線
2) ユニット責任者 伊東久夫

- 4) ユニットの概要 放射線・画像で習得すべき項目を大別すると、放射線治療、核医学、画像診断および放射線防護・管理となる。これら各項目について理解する。なお、画像診断上必要な正常解剖や各疾患における特徴は、各疾患毎のユニットで理解する。

5) ユニットの学習目標

一般目標 放射線生物学、物理学、X線解剖学の基礎を理解し、放射線を用いたおもな画像診断ならびに悪性腫瘍の治療について理解する。

- 個別目標
- 1) 放射線と物質の作用機序、放射線に用いる単位、放射線が細胞・組織に及ぼす影響を説明できる。
 - 2) 画像診断に用いる各種検査法を説明できる。
 - 3) 単純X線写真・CT・MRIの正常解剖を説明できる。
 - 4) 骨軟部疾患の病態と画像の関係を説明出来る。
 - 5) MRI画像の撮像法を説明できる。
 - 6) 放射線被曝による身体的障害、遺伝的障害を説明できる。
 - 7) 放射線治療の歴史、放射線治療に用いられる放射線の種類と特性を説明できる。
 - 8) CT画像の撮影法、造影CTの利点と副作用を説明できる。
 - 9) X線と物質の相互作用を説明できる。
 - 10) 頭頸部疾患放射線療法の利点と欠点を説明できる。
 - 11) 胸部・乳性疾患放射線療法の利点と欠点を説明できる。
 - 12) 腹部・骨盤部疾患放射線療法の利点と欠点を説明できる。
 - 13) 各種内視鏡検査と内視鏡を用いた治療を説明できる。
 - 14) 核医学検査に用いられる各種放射性同位元素の特徴を説明できる。
 - 15) 核医学検査の機能診断法の種類と使用薬剤、検査法を説明できる。
 - 16) 治療に用いる放射性同位元素の核種と適応を説明できる。
 - 17) ポジトロン検査と通常の核医学検査の違いを説明できる。
 - 18) 放射線被曝による身体的障害、遺伝的障害を説明できる。

- 6) 評価法 CBTタイプのテスト (80%)
出席 (20%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	4月10日(木)	I	第三講義室	山本	講義	放射線診断概説, 血管造影・IVR	X線, 単純撮影, 断層撮影, 透視, 造影剤	
2	4月10日(木)	II	第三講義室	本折	講義	MRI画像診断	造影MRI, オープンMRI, 3D再構成	
3	4月14日(月)	I	第三講義室	神津	講義	内視鏡検査, 概説 内視鏡用いる治療	消化器内視鏡, レーザー治療	
4	4月14日(月)	II	第三講義室	内田	講義	核医学総論, 画像診断, 機能診断, RI治療, ポジトロン核医学診断	放射線同位元素, 核種, 機能診断, SPECT, PET	
5	4月17日(木)	I	第三講義室	山本	講義	CT画像診断	マルチスライスCT, ダイナミックCT, HRCT	
6	4月17日(木)	II	第三講義室	高野	講義	超音波検査, 概説 超音波を用いる治療	パワードップラー, カラードップラー, 3D超音波	
7	4月21日(月)	I	第三講義室	川田	講義	放射線医学総論, 放射線生物学・物理学 放射線治療概説	Gy, Sv, Bq, RBE, 重致死障害, 回復, 細胞死, 染色体, DNA, 電磁波, 粒子線, 分割照射, 線量率, LQモデル	
8	4月21日(月)	II	第三講義室	磯部	講義	放射線治療I	臨床腫瘍学, 化学放射線治療, 各種がんに対する放射線治療 I: 頭頸部腫瘍, 悪性リンパ腫	
9	4月22日(火)	I	第三講義室	宇野	講義	放射線治療II	臨床腫瘍学, 化学放射線治療, 各種がんに対する放射線治療 II: 胸腹部腫瘍, 骨盤腫瘍	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
10	4月22日(火)	Ⅱ	第三講義室	伊東	講義	放射線防護と管理	放射線被曝, 法令, 身体的障害, 遺伝的障害, 発がん	
11	4月25日(金)	Ⅲ	第三講義室	江沢	講義	放射線治療効果判定 病理学の確立	放射線治療効果判定病理学, 重粒子線治療, Imaging-Pathologic unit (IPU), オートプシー・イメージング (Ai)	
12	5月26日(月)	I	組織実習室		試験			

7) 教科書	放射線診断	標準放射線医学 (第6版): 有水昇, 高島力, 医学書院, 2001 必修放射線医学 (第4版): 高橋睦正, 南江堂 1999
	放射線生物学	Radiobiology for the radiologist. 5th ed. Hall EJ. Lippincott Williams & Wilkins, 2000
	放射線治療	標準放射線医学 (第6版): 有水昇, 高島力, 医学書院, 2001 必修放射線医学 (第4版): 高橋睦正, 南江堂, 1999 Radiation Oncology : Rationale, Technique, Results. Cox JD, Ang KK (eds), Mosby, 2003
	核医学	核医学ノート (第3版): 木下文雄, 久保敦司, 金原出版, 1997 最新臨床核医学 (第3版): 久田, 古館, 佐々木, 小西, 金原出版, 1999
	内視鏡 病理	消化器内視鏡のABC 日本医師会編 出月康夫 他, 医学書院, 1996 オートプシー・イメージング (画像解剖) 江沢英史, 文光堂, 2004

運動器ユニット

- 1) ユニット名 運動器
- 2) ユニット責任者 佐 粧 孝 久
- 3) ユニット期間 平成20年5月7日～6月20日

5) ユニットの概要 講義と症例討議とからなり、講義では各担当教官による講義を行う。症例討議では、疾患に関連する解剖学、生理学、生化学、さらに症例のプレゼンテーションと疾患の病態・診断についての講義を、割り当てられた数名の学生グループが行う。その後、教官による疾患の治療方針、治療内容の講義を行う。各学生グループ（後で割り当てを通知する）は少なくとも、担当の1ヶ月以上前に担当教官に連絡をとり、講義内容についての相談をすること。

6) ユニットの学習目標

一般目標 運動器ユニットでは脊椎および四肢の筋・骨格系の疾患を取り扱い、小児から高齢者までを対象としている本学問の背景、並びに運動器系の生理・病理に関する基礎医学の知識をふまえた上で、疾病予防、病態生理、診断および治療方針について考察し、理解する。その際、機能再建外科の立場から機能の回復を目標としていることをよく理解する。

整形外科症例討議では脊椎疾患、関節疾患、骨軟部腫瘍疾患、外傷性疾患について各担当患者を通して、診断法、治療法を習得し、症状・病態を自ら講義することにより理解を深める。

個別目標 整形外科概論、治療法

1. 運動器疾患に対する保存療法について整理する。
2. 運動器疾患に対する手術進入法、手術術式について整理する。

診察法・検査

1. 骨・関節・筋の病態を生理する。
2. 身体計測法、各関節の可動域測定法、筋力評価法について整理する。
3. 神経学的検査について整理する。

4. 補助診断法について整理する。

骨関節の基礎、構造と機能

1. 骨・軟骨の構造，生理的，生化学的特性を考察し理解する。
2. 骨・軟骨の発育，形成，再生について整理する。
3. 脊椎および四肢関節の構造について整理する。
4. 筋，神経の構造，生理学的特性について整理する。

リハビリテーションの概論と適応

1. リハビリテーションの理念，種類について整理し，考察する。
2. リハビリテーションプログラム，リハビリテーションチームについて理解する。
3. 理学療法の適応，種類，技術を理解する。
4. 作業療法の適応，種類，技術を理解する。
5. 脊髄損傷，骨・関節疾患，切断のリハビリテーションについて考察し，理解する。

膝前十字靭帯損傷

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 膝前十字靭帯損傷の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 膝前十字靭帯損傷の治療方針，治療法について理解する。

肩腱板断裂・肩疾患

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 肩疾患の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 肩疾患の鑑別をまとめ講義する。
4. 肩疾患の治療方針，治療法について理解する。

脊椎・脊髄損傷

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 脊椎・脊髄損傷の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 脊椎・脊髄損傷の治療方針，治療法について理解する。

腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 腰痛疾患の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 腰痛疾患の鑑別をまとめ講義する。腰痛疾患の治療方針，治療法について理解する。

頚椎症性脊髄症・脊髄腫瘍

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 脊髄症の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 脊髄症の治療方針，治療法について理解する。

変形性膝関節症

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 変形性膝関節症の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 変形性膝関節症の鑑別をまとめ講義する。
4. 変形性膝関節症の治療方針，治療法について理解する。

先天性股関節脱臼

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 先天性股関節脱臼の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。

3. 先天性股関節脱臼の鑑別をまとめ講義する。
4. 先天性股関節脱臼の治療方針，治療法について理解する。

転移性脊椎腫瘍

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 転移性脊椎腫瘍の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 転移性脊椎腫瘍の鑑別をまとめ講義する。
4. 転移性脊椎腫瘍の治療方針，治療法について理解する。

骨折・脱臼・手の外科疾患

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 骨折・脱臼の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 骨折・脱臼の治療方針，治療法について理解する。

骨肉腫・ユーイング肉腫

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 骨肉腫・ユーイング肉腫の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 骨肉腫・ユーイング肉腫の鑑別をまとめ講義する。
4. 骨肉腫・ユーイング肉腫の治療方針，治療法について理解する。

在宅医療・介護

1. 在宅医療・介護制度の理念，種類について整理する。
2. 在宅医療・介護の実際について理解する。

骨粗鬆症・大腿骨頸部骨折

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 骨粗鬆症疾患の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 骨粗鬆症疾患の鑑別をまとめ講義する。
4. 骨粗鬆症疾患の治療方針，治療法について理解する。

変形性股関節症

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 変形性股関節症の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 変形性股関節症の鑑別をまとめ講義する。
4. 変形性股関節症の治療方針，治療法について理解する。

骨・関節感染症

1. 担当患者を診察しプレゼンテーションする。
2. 骨・関節感染症の病態，診断，各種検査法についてまとめ講義する。
3. 骨・関節感染症の鑑別をまとめ講義する。
4. 骨・関節感染症の治療方針，治療法について理解する。

7) 評価法 症例討議の内容，試験の成績にて判定する。追試験は行わない。
出席・課題・発言（20%） 期末テスト（80%）

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	5月7日(水)	Ⅲ	第三講義室	高橋和久	講義	オリエンテーション, 整形外科概論, 治療法(講義)		
2	5月7日(水)	Ⅳ	第三講義室	高橋和久	講義	診察法・検査 (講義)	診察, 検査	
3	5月7日(水)	Ⅴ	第三講義室	中川晃一	講義	骨関節の基礎, 構造 と機能 (講義)	骨, 関節	
4	5月8日(木)	Ⅰ	第三講義室	山崎正志	講義	脊椎・脊髄損傷 病態・診断・治療 (症例討議)	脊椎損傷 脊髄損傷	脊椎・脊髄損傷 の態・診断・治 療
5	5月8日(木)	Ⅱ	第三講義室	落合信靖	講義	肩腱板断裂・肩疾患 病態・診断・治療 (症例討議)	肩腱板断裂・肩 疾患	肩疾患の病態・ 診断・治療
6	5月20日(火)	Ⅰ	第三講義室	大鳥精司	講義	腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄 症 病態・診断・治療 (症例討議)	腰椎椎間板ヘル ニア, 腰部脊柱 管狭窄症	腰椎椎間板ヘル ニア, 腰部脊柱 管狭窄症の病 態・診断・治療
7	5月20日(火)	Ⅱ	第三講義室	鈴木昌彦	講義	変形性膝関節症 病態・診断・治療 (症例討議)	変形性膝関節症	変形性膝関節症 の病態・診断・ 治療
8	5月21日(水)	Ⅰ	第三講義室	大河昭彦	講義	頸椎症性脊髄症・脊 髄腫瘍 病態・診断・治療 (症例討議)	頸椎症性脊髄 症・脊髄腫瘍	脊髄症の病態・ 診断・治療
9	5月21日(水)	Ⅱ	第三講義室	國吉一樹	講義	骨折・脱臼・手の外 科疾患 病態・診断・治療 (症例討議)	骨折, 脱臼・手 の外科疾患	骨折, 脱臼の病 態・診断・治療
10	5月22日(木)	Ⅰ	第三講義室	亀田典章	講義	運動器の病理学	骨・関節の病理 学, 骨・軟部腫 瘍	教科書2参照
11	5月22日(木)	Ⅱ	組織実習室	亀田典章	実習	骨・軟部悪性腫瘍の 病理学	骨肉腫, 軟骨肉 腫, ユーイング 肉腫	教科書2参照
12	5月27日(火)	Ⅰ	第三講義室	村田 淳	講義	リハビリテーション の概論と適応 (講義)		

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
13	5月27日(火)	Ⅱ	第三講義室	村田 淳	講義	在宅医療・介護 (講義)		
14	5月28日(水)	Ⅰ	第三講義室	亀ヶ谷真琴	講義	先天性股関節脱臼 病態・診断・治療 (症例討議)	先天性股関節脱 臼	先天性股関節脱 臼の病態・診 断・治療
15	5月28日(水)	Ⅱ	第三講義室	佐粧孝久	講義	膝前十字靭帯損傷 病態・診断・治療 (症例討議)	膝前十字靭帯損 傷	膝前十字靭帯損 傷の病態・診 断・治療
16	6月3日(火)	Ⅰ	第三講義室	岸田俊二	講義	変形性股関節症 病態・診断・治療 (症例討議)	変形性股関節症	変形性股関節症 の病態・診断・ 治療
17	6月3日(火)	Ⅱ	第三講義室	南 昌平	講義	転移性脊椎腫瘍 病態・診断・治療 (症例討議)	転移性脊椎腫瘍	転移性脊椎腫瘍 の病態・診断・ 治療
18	6月4日(水)	Ⅰ	第三講義室	中川晃一	講義	骨・関節感染症 病態・診断・治療 (症例討議)	骨・関節感染症	骨・関節感染症 の病態・診断・ 治療
19	6月4日(水)	Ⅱ	第三講義室	石井 猛	講義	骨肉腫・ユーイング 肉腫 病態・診断・治療 (症例討議)	骨肉腫, ユーイ ング肉腫	骨肉腫・ユーイ ング肉腫の病 態・診断・治療
20	6月4日(水)	Ⅲ	第三講義室	落合信靖	講義	骨粗鬆症・大腿骨頸 部骨折 病態・診断・治療 (症例討議)	骨粗鬆症・大腿 骨頸部骨折	骨粗鬆症疾患の 病態・診断・治 療
21	6月20日(金)	Ⅲ	第三講義室	佐粧孝久		試験		

Ⅰ時限 8:50~10:20 Ⅱ時限 10:30~12:00

Ⅲ時限 12:50~14:20 Ⅳ時限 14:30~16:00

8) 教 科 書

1. TEXT 整形外科学 南山堂
2. 組織病理アトラス (第5版), 文光堂, p.354-368

感 染 ユ ニ ッ ト

- 1) ユニット名 感染症
2) ユニット責任者 佐藤 武 幸

4) ユニットの概要 感染症学は古くて新しい分野である。病原体は時代とともに変化するのみならず、抗生剤等の人為的要因も加わる事によりその変化は加速され、耐性菌の出現に示される様に常に新しい脅威を人類に及ぼしている。

一方高度先進医療の発達および世界的交流の発展等により、それぞれ日和見感染症および輸入感染症という新しい感染形態が発生してきており、感染症への対応も複雑化している。2003年のSARS、2004年の鳥インフルエンザは今後の感染症対策への警告となっている。

特にエイズは世界的な大流行が見られ、日本においても急増中であり、今後の感染症の中で特に対応が求められている。同時に病院内での感染対策の重要性も増してきている。

上記を踏まえ、基礎医学で学んだ感染症学を臨床的に発展させ、細菌・ウイルス・真菌・クラミジア・寄生虫・プリオン等全ての病原体を網羅し、かつ新生児から老人に至る全年齢における感染症を総合的に理解する事を目標とする。

5) ユニットの学習目標

一般目標 臨床に則した感染症を系統的に学ぶ。

- 個別目標
- 1) 感染症の診断と治療、菌交代症を説明できる
 - 2) 生体反応としての種々の症状、所見、検査結果を説明できる
 - 3) ブドウ球菌感染症・A群連鎖球菌・肺炎球菌等のグラム陽性球菌感染症を説明できる
 - 4) 病原性大腸菌感染症・百日咳・インフルエンザ菌感染症等のグラム陰性桿菌感染症を説明できる
 - 5) その他主な細菌感染を説明できる
 - 6) 麻疹・水痘・带状疱疹・風疹・ムンプスを説明できる
 - 7) 水痘・带状疱疹感染症を説明できる
 - 8) その他主なウイルス感染症を説明できる
 - 9) 結核・非結核性抗酸菌による感染症を説明できる
 - 10) クラミジア感染症を説明できる
 - 11) 真菌感染症を説明できる
 - 12) 寄生虫（回虫・アニキサス・吸虫）を説明できる
 - 13) 主な原虫疾患（トキソプラズマ・赤痢アメーバ）を説明できる

- 14) プリオン感染症を説明できる
- 15) 主な新興・再興感染症を説明できる
- 16) 主な輸入感染症を説明できる
- 17) 感染症法を説明できる
- 18) 通常のインフルエンザ流行と新型インフルエンザへの対応を理解できる
- 19) HIV感染症の症候・診断・治療・予防を説明できる
- 20) 高度先進医療と日和見感染症の関係を説明できる
- 21) サイトメガロウイルス・EBウイルス感染症の症候・診断・治療・予防を説明できる
- 22) 主な日和見感染症の症候・診断・治療・予防を説明できる
- 23) STDの診断・治療・予防を説明できる
- 24) 感染症管理チーム（ICT）の役割を説明できる
- 25) 標準的感染予防を説明できる
- 26) 空気感染・飛沫感染・接触感染・血液感染対策を説明できる
- 27) MRSA その他の院内感染に重要な病原体の特徴・対応を説明できる
- 28) 針刺事故対策を説明できる

6) 評価法 テスト 100%

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	4月9日(水)	I	第三講義室	佐藤	講義	感染症の診断・治療の基本, および病原体に対する生体反応	発熱, 白血球, CRP, サイトカイン, SIRS, 敗血症, 易感染性(先天性, 後天性), DIC, 血球貪食症候群, 耐性菌	レジデントのための感染症診断マニュアル 青木真 著, 医学書院 標準感染症学 齋藤 厚, 那須勝, 江崎孝行 編集 医学書院 一目でわかる微生物学と感染症 メディカル・サイエンス・インターナショナル
2	4月9日(水)	II	第三講義室	亀井	講義	細菌・寄生虫感染症の臨床症状・診断・治療・予防 院内感染対策 抗生物質が効きにくい菌(耐性菌)	肺炎球菌, ブドウ球菌, A群レンサ球菌, 大腸菌, 緑膿菌, メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	レジデントのための感染症診断マニュアル 青木真 著, 医学書院 標準感染症学 齋藤 厚, 那須勝, 江崎孝行 編集 医学書院 一目でわかる微生物学と感染症 メディカル・サイエンス・インターナショナル

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
3	4月16日(水)	I	第三講義室	佐藤	講義	ウイルス感染症の症状・症候・診断・予防性感染症	インフルエンザ, 麻疹, 風疹, 流行性耳下腺炎, 水痘, 带状疱疹	レジデントのための感染症診断マニュアル 青木真 著, 医学書院 標準感染症学 齋藤 厚, 那須勝, 江崎孝行 編集 医学書院 一目でわかる微生物学と感染症 メディカル・サイエンス・インターナショナル
4	4月16日(水)	II	第三講義室	猪狩	講義	新興感染症・輸入感染症 医師として必要な感染症新法の取り扱い	結核, マラリア, コレラ, 新型インフルエンザ	レジデントのための感染症診断マニュアル 青木真 著, 医学書院 標準感染症学 齋藤 厚, 那須勝, 江崎孝行 編集 医学書院 一目でわかる微生物学と感染症 メディカル・サイエンス・インターナショナル
5	4月23日(水)	I	第三講義室	佐藤	講義	真菌感染症の症状・診断・治療・予防	アスペルギルス, カンジダ, クリプトコックス, 寄生虫	レジデントのための感染症診断マニュアル 青木真 著, 医学書院 標準感染症学 齋藤 厚, 那須勝, 江崎孝行 編集 医学書院 一目でわかる微生物学と感染症 メディカル・サイエンス・インターナショナル

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
6	4月23日(水)	Ⅱ	第三講義室	渡邊	講義	エイズ, 日和見感染症, プリオン感染症 院内感染対策	エイズ, 日和見感染症, 性感染症, 感染症管理チーム (ICT), 標準的感染予防策, 空気感染, 飛沫感染, 接触感染, BSE, クロイツフェルト・ヤコブ病	レジデントのための感染症診断マニュアル 青木真 著, 医学書院 標準感染症学 齋藤 厚, 那須勝, 江崎孝行 編集 医学書院 一目でわかる微生物学と感染症 メディカル・サイエンス・インターナショナル
7	5月12日(月)	I	組織実習室	佐藤・猪狩	試験			

- 7) 教 科 書 一目でわかる微生物と感染症 (MEDSi)
 レジデントのための感染症診断マニュアル (医学書院)
 イラストレイテッド微生物学 (丸善)
 標準感染症学 齋藤 厚, 那須 勝, 江崎孝行 編集 医学書院
- 配 布 資 料 別添

臨床検査医学ユニット

- 1) ユニット名 臨床検査医学
- 2) ユニット責任者 野村 文夫

4) ユニットの概要 無症状の生活習慣病の増加，発症前診断・遺伝子診断の普及などに伴い，診療における臨床検査の役割は一段と高まっている。きわめて多岐にわたる臨床検査を系統的に理解するためには，これらの検査，特に検体検査を検査の側から捉える臨床検査医学の学習が不可欠である。本ユニットは，卒業後どの進路をとった場合でも役に立つ臨床検査の minimum essential を学ぶことを主眼としている。

5) ユニットの学習目標

一般目標 総論では，臨床検査の最も基本となる事項を理解するとともに，検査の診断効率を含めた医学判断学についても学ぶ。さらに近年めざましい進歩を遂げている分子生物学が臨床検査に如何に活用されているかを知る。各論では，異常値の生じるメカニズム，臨床の現場に即した検査計画の立て方を学び，実際の症例を通して検査値の読み方を身につける。感染症は臨床各科にまたがる領域であるが，臨床微生物検査などを本ユニットで学ぶ。

- 個別目標
- 1) 基準範囲（正常値）の概念を説明できる。
 - 2) 検査値の検査前変動要因を列挙して説明できる。
 - 3) 検査の診断効率に関する用語を説明できる。
 - 4) 臨床検査で用いられる代表的な測定法とその原理について理解する。
 - 5) カットオフ値とROC曲線について説明できる。
 - 6) 腫瘍マーカーを体系的に分類し，その臨床的意義と限界について説明できる。
 - 7) 血清蛋白関連検査について，基本事項について説明できる。
 - 8) 遺伝子，ゲノム，染色体の概念を説明できる。
 - 9) 遺伝子の異常がどのように疾病を引き起こすのか説明できる。
 - 10) 遺伝子異常の診断にどんな方法が用いられているか説明できる。

- 11) タンパク質解析（プロテオーム解析）を用いた疾病診断について説明できる。
- 12) 代表的な自己免疫疾患とそれに関連する自己抗体を列挙して説明できる。
- 13) 抗核抗体の染色型とその対応抗原を説明できる。
- 14) 膠原病の疾患標識抗体とその意義を説明できる。
- 15) 臓器特異的の自己免疫疾患の発症メカニズムを説明できる。
- 16) 末梢血液検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
- 17) 骨髄検査やリンパ節生検等の血液特殊検査の目的とその意義を説明できる。
- 18) 貧血について検査値から成因を鑑別できる。
- 19) 出血・血栓傾向の診断に必要な検査とその鑑別ができる。
- 20) 白血球増加や白血球減少をきたす疾患を鑑別して説明できる。
- 21) 腎疾患の診断の進め方を説明できる。
- 22) 蛋白尿や血尿をきたす疾患を鑑別して説明できる。
- 23) 腎機能検査法を列挙し、その診断的意義を説明できる。
- 24) 消化管疾患、膵疾患の診断における検体検査の位置づけを説明できる。
- 25) Helicobacter Pylori 関連検査とその特性を説明できる。
- 26) 便潜血反応などの糞便検査とその臨床的意義を説明できる。
- 27) 肝炎ウイルスとその診断マーカーを列挙して説明できる。
- 28) いわゆる肝酵素とその臨床的意義を説明できる。
- 29) ビリルビン代謝とその異常について説明できる。
- 30) 肝の各病態（線維化・脳症など）を特異的に反映するマーカーを列挙して、説明できる。
- 31) 糖尿病の診断と治療の経過観察に必要な検体検査を説明できる。
- 32) 高脂血症の診断に必要な検体検査を説明できる。
- 33) 甲状腺疾患の診断に必要な検体検査を説明できる。
- 34) 視床下部・下垂体疾患の診断に必要な検体検査を説明できる。
- 35) 検査室で実施する細菌検査について理解する。
- 36) 細菌検体の取り扱いについて理解する。
- 37) グラム染色の鏡検所見を解釈することができる。
- 38) 細菌感染症の血清診断、遺伝子診断の特徴を理解する。
- 39) 細菌検査のデータの解釈し、診断および治療方針を立てる手順を理解する。
- 40) 各検査方法の迅速性に注目し、臨床現場からみた検査オーダーを考える。

6) 評価法 出席状況・学習態度 30%
 ユニット試験（選択式・記述式併用） 70%

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授 業 内 容	授業内容の key word	授 業 課 題
1	4月18日(金)	Ⅲ	第三講義室	野村	講義	検査値の変動要因と検査の診断効率	基準範囲, カットオフ値, 感度, 特異度, 陽性適中率, 陰性適中率, ROC曲線, 検査前確立, 検査後確立	参考書(巻1) 4-94~4-103
2	4月18日(金)	Ⅳ	第三講義室	須永	講義	消化管・膀胱患の検体検査, 糞便検査	便潜血, ヘリコバクター・ピロリ, 膀胱機能検査	配布プリント
3	4月18日(金)	Ⅴ	第三講義室	須永	講義	腫瘍マーカー・血清蛋白関連検査	腫瘍マーカーの意義, 測定法, PSAなど前立腺癌の腫瘍マーカー, AFPなど原発性肝癌の腫瘍マーカー, 血清蛋白関連検査, 血沈	配布プリント
4	4月23日(水)	Ⅲ	第三講義室	野村	講義	肝疾患の検体検査	肝炎ウイルスマーカー, 肝機能検査	配布プリント
5	5月2日(金)	Ⅰ	第三講義室	龍野	講義	内分泌・代謝疾患の検体検査	ホルモン(視床下部・下垂体・甲状腺・骨カルシウム・副腎・性腺など)・生理作用・病態における異常値の機構	テキストの関連ページ
6	5月2日(金)	Ⅱ	第三講義室	濱野	講義	尿検査, 腎機能検査	尿潜血, 尿蛋白, 尿白血球, 尿pH, 尿中電解質, 尿NAG, 尿中 β 2ミクログロブリン, 腎血漿流量, 糸球体ろ過量, クレアチニンクリアランス	教科書の, 尿所見と腎機能検査の章を読んでおくこと
7	5月2日(金)	Ⅲ	第三講義室	猪狩	講義	感染症の検体検査	グラム染色, 細菌培養, PCR法, 迅速診断, 血清診断	テキストの関連ページ(注1)

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
8	5月9日(金)	I	第三講義室	井関	講義	血液疾患の検体検査	白血球数, 白血球分画, 赤血球数, 赤血球恒数, 血小板数, 網赤血球数, 血球形態, 出血時間, PT, APTT, 骨髓検査	配布プリント
9	5月9日(金)	II	第三講義室	朝長	講義	遺伝子・タンパク質検査	遺伝子, ゲノム, 染色体, プロテオーム	配布プリント
10	5月16日(金)	I	第三講義室	高林	講義	自己抗体, アレルギー・免疫検査	自己抗体 炎症マーカー	e-learning
11	5月16日(金)	II	第三講義室	野村	講義	臨床遺伝・遺伝カウンセリング	遺伝病, 遺伝カウンセリング, 遺伝子・染色体検査	配布プリント
12	5月21日(水)	III	第三講義室	野村	講義	症例検討		
13	5月30日(金)	III	第三講義室	検査部	試験			

(注1) a) グラム陽性菌とグラム陰性菌の種類と特徴 (主な感染部位)

b) グラム染色の方法

c) 結核の診断方法 (Ziehl Neelsen 染色, 小川培地, 液体培地, PCR法)

- 7) 教科書 標準臨床検査医学 (医学書院)
- 参考書 異常値のメカニズム (医学書院)
- 野村: 遺伝カウンセリングマニュアル (南光堂)・一般外来で遺伝の相談を受けたとき (医学書院)
- 高林: 齋藤康編 ダイナミックメディスン(西村書店) 小俣政夫編 内科学 (医学書院)
- 猪狩: 一目でわかる微生物と感染症 (MEDSi)・レジデントのための感染症診断マニュアル (医学書院)
- 龍野: ハリソン内科学 (MEDSi)・病態で学ぶ内分泌学 (丸善)
- 濱野: 医科生理学展望 (丸善)・専門医のための腎臓病学 (医学書院)
- 井関: 標準血液内科学 (医学書院)・血液・固形腫瘍診断マニュアル (フジメディカル)・病態生理でできた内科学Part 3 血液疾患 (医学教育出版社)
- 須永: 腫瘍マーカーハンドブック (医薬ジャーナル社)
- 朝長: 医科遺伝学 (南光堂), プロテオーム解析 (東京化学同人)
- 配布資料 別添

消化器・栄養ユニット

- 1) ユニット名 消化器・栄養
- 2) ユニット責任者 肝胆膵外科 木村 文夫* kimura-f@faculty.chiba-u.jp 5285 水曜日 (14:00~17:00)

4) ユニットの概要 消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。

消化器疾患は、消化管・肝・胆道・膵などの主要な臓器にみられる疾患であり、日常臨床で数多く遭遇し、良性疾患から悪性腫瘍の原発巣として最も頻度が高く、致命的な病態をしばしば呈する。この分野は細菌学、ウイルス学、免疫学、分子生物学、画像診断（X線検査、CT、MRI、核医学など）、光学機器診断などの進歩を基盤として診断および治療に著しい進歩が見られている。本コースでは、主要な各種消化器疾患を取り上げ、疫学、病態生理、症候、診断、さらに治療（内科的・外科的）の内容・適応・成績・予後、および予防などに関して基礎的あるいは臨床的側面から最新の知識を学ぶ。さらに、BSL実習に必須となる消化器疾患の診療における基本的手技と心得についても学ぶ。

5) ユニットの学習目標

消化管

- 一般目標 食道炎の病態生理と診断・治療法を理解する。
- 個別目標
- 1) 食道炎の病態生理と症状の成り立ちを説明できる。
 - 2) 胃食道逆流防止機構の異常と病的意義を説明できる。
 - 3) 食道炎の診断法と治療法を説明できる。
- 一般目標 食道静脈瘤・Mallory-Weiss症候群の病態生理と診断・治療法を理解する。
- 個別目標
- 1) 食道静脈瘤の成り立ちと静脈瘤出血の病態を説明できる。
 - 2) Mallory-Weiss症候群の発生機序と症状を説明できる。
 - 3) 食道静脈瘤・Mallory-Weiss症候群の治療法を説明できる。
- 一般目標 良性食道疾患の病態、診断、治療を理解する。
- 個別目標
- 1) 食道憩室症の病理、診断、治療を説明できる。
 - 2) アカラシアの病態生理、診断、治療を説明できる。
 - 3) 食道裂孔ヘルニアの病態生理、診断、治療を説明できる。
- 一般目標 食道癌の病理、診断を理解する。
- 個別目標
- 1) 食道癌の肉眼病理を説明できる。
 - 2) 食道癌の病理組織を説明できる。
 - 3) 食道癌の進展形式を説明できる。
 - 4) 食道癌の画像診断を説明できる。
 - 5) 食道癌の内視鏡診断を説明できる。
- 一般目標 食道癌の治療を理解する。
- 個別目標
- 1) 食道癌の外科治療を説明できる。
 - 2) 食道癌の化学放射線療法を説明できる。
 - 3) 食道癌の遺伝子治療を説明できる。
 - 4) 食道癌の治療成績を説明できる。
- 一般目標 胃炎・消化性潰瘍の病態生理と診断・治療法を理解する。
- 個別目標
- 1) 胃酸分泌と胃粘膜防御機構のバランス仮説とその破綻の意義を説明できる。
 - 2) 胃炎・消化性潰瘍におけるHelicobacter pylori感染の臨床的意義を説明できる。
 - 3) 消化性潰瘍の合併症と病態生理を説明できる。
 - 4) 消化性潰瘍の診断所見、薬物治療とその効果を説明できる。
 - 5) 慢性胃炎の臨床的意義を説明できる。

- 一般目標 Non-Ulcer Dyspepsia の病態生理と診断・治療法を理解する。
- 個別目標 1) 上部消化管運動機能異常を説明できる。
2) Non-Ulcer Dyspepsia の病態生理と診断法を説明できる。
3) 消化管運動機能調節薬剤による治療を説明できる。
- 一般目標 胃ポリープの診断・治療法を理解する。
- 個別目標 1) 胃ポリープの概念と病態を説明できる。
2) 胃ポリープの検査所見を説明できる。
3) 胃ポリープの治療適応とその方法を説明できる。
- 一般目標 胃癌の病理, 診断を理解する。
- 個別目標 1) 胃癌の肉眼病理を説明できる。
2) 胃癌の病理組織を説明できる。
3) 胃癌の進展形式を説明できる。
4) 胃癌の画像診断を説明できる。
5) 胃癌の内視鏡診断を説明できる。
- 一般目標 胃癌の治療を理解する。
- 個別目標 1) 胃癌の外科治療を説明できる。
2) 胃癌の内視鏡治療を説明できる。
3) 胃癌の鏡視下手術を説明できる。
4) 胃癌の治療成績を説明できる。
- 一般目標 胃粘膜下腫瘍, 悪性リンパ腫, 良性疾患の外科治療を理解する。
- 個別目標 1) 胃粘膜下腫瘍の診断, 治療を説明できる。
2) 胃悪性リンパ腫の診断治療を説明できる。
3) 胃・十二指腸潰瘍の手術適応と術式を説明できる。
- 一般目標 炎症性腸疾患の病態生理と診断・治療法を理解する。
- 個別目標 1) 炎症性腸疾患の分類と病態の特徴を説明できる。
2) 炎症性腸疾患の診断法と鑑別診断を説明できる。
3) 炎症性腸疾患の治療法とその効果を説明できる。
- 一般目標 過敏性腸症候群の病態生理と診断・治療法を説明できる。
- 個別目標 1) 下部消化管運動機能異常を説明できる。
2) 過敏性腸症候群の症状と診断法を説明できる。
3) 過敏性腸症候群の治療法を説明できる。
- 一般目標 吸収不良症候群の病態生理と診断・治療法を説明できる。
- 個別目標 1) 消化吸収の機序とその異常を説明できる。
2) 吸収不良症候群の診断基準を説明できる。
3) 吸収不良症候群の治療法を説明できる。
- 一般目標 小腸疾患, 特にイレウスの病態生理, 診断, 治療を理解する。
- 個別目標 1) 消化管の閉塞による病態生理を説明できる。
2) イレウスの診断を説明できる。
3) イレウスの治療を説明できる。
4) 手術適応となる小腸疾患を述べることができる。

一般目標 大腸癌の病理，診断，治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 大腸癌の肉眼病理を説明できる。
 - 2) 大腸癌の病理組織を説明できる。
 - 3) 大腸癌の進展形式を説明できる。
 - 4) 大腸癌の画像診断を説明できる。
 - 5) 大腸癌の内視鏡診断を説明できる。
 - 6) 大腸癌の外科治療を説明できる。
 - 7) 大腸癌の治療成績を説明できる。

一般目標 直腸癌の病理，診断，治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 直腸癌の肉眼病理を説明できる。
 - 2) 直腸癌の病理組織を説明できる。
 - 3) 直腸癌の進展形式を説明できる。
 - 4) 直腸癌の画像診断を説明できる。
 - 5) 直腸癌の内視鏡診断を説明できる。
 - 6) 直腸癌の外科治療を説明できる。
 - 7) 直腸癌の治療成績を説明できる。

一般目標 肛門疾患の病態，診断，治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 肛門癌の診断，外科治療を説明できる。
 - 2) 良性肛門疾患の診断，外科治療を説明できる。

一般目標 虫垂炎，腹膜炎，ヘルニアの診断，治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 虫垂炎の理学所見，診断，治療を説明できる。
 - 2) 腹膜炎の原因疾患にはどのようなものがあるか説明できる。
 - 3) 腹膜炎の診断，治療を説明できる。
 - 4) ヘルニアの定義を説明できる。
 - 5) 成人にみられるヘルニアの種類を説明できる。
 - 6) ヘルニアの診断，手術術式を説明できる。

肝 臓

一般目標 肝の形態，構造および機能について理解する。

- 個別目標
- 1) 肝の解剖，組織形態像を説明できる。
 - 2) 肝区域について説明できる。
 - 3) 肝の流入・流出脈管について説明できる。
 - 4) 肝の血行動態について説明できる。
 - 5) 肝内胆管と肝外胆道の解剖を説明できる。
 - 6) 肝の蛋白，糖，脂質，ビリルビン，アンモニア代謝について説明できる。
 - 7) 肝の薬物およびアルコール代謝について説明できる。
 - 8) 肝の解毒機構について説明できる。

一般目標 肝疾患患者の診察法を理解する。

- 個別目標
- 1) 肝疾患の病歴がとれる。
 - 2) 肝疾患における身体的所見を診察できる。

一般目標 肝疾患の主要症候を理解する。

- 個別目標
- 1) 肝臓と腹痛，肝腫大，腹水，黄疸，側副血行路，くも状血管腫の成因とその意義を説明できる。

- 一般目標 肝における検査一般について理解する。
- 個別目標 1) 肝機能検査の種類, その異常値と意義を説明できる。
2) 腫瘍マーカーの種類とその異常値と意義を説明できる。
3) 肝生検の方法, 適応および意義について説明できる。
- 一般目標 画像診断の種類と特徴を理解する。
- 個別目標 1) 画像診断による正常像を説明できる。
2) 画像診断における病的像を説明できる。
3) 画像診断における病的所見の成り立ちを説明できる。
4) 造影剤の種類と適応を説明できる。
- 一般目標 急性肝炎を引き起こす各種肝炎ウイルスについて理解する。
- 個別目標 1) A型肝炎ウイルスについて説明できる。
2) B型肝炎ウイルスについて説明できる。
3) C型肝炎ウイルスについて説明できる。
4) デルタ肝炎ウイルスについて説明できる。
5) EBウイルス, サイトメガロウイルスについて説明できる。
- 一般目標 各種急性肝炎の病像について理解する。
- 個別目標 1) A型肝炎の病像について説明できる。
2) B型肝炎の病像について説明できる。
3) C型肝炎の病像について説明できる。
4) 伝染性単核症の病像について説明できる。
5) 各種肝炎ウイルスマーカーの意味について説明できる。
6) ウイルス感染と免疫の関わりについて説明できる。
7) 薬剤性肝障害について説明できる。
8) 急性肝炎の特徴的組織所見を説明できる。
- 一般目標 慢性肝障害の病像と治療法について理解する。
- 個別目標 1) 慢性肝炎の進行とその組織像について説明できる。
2) 慢性肝炎の分類について説明できる。
3) 慢性B型肝炎の治療法について説明できる。
4) 慢性C型肝炎の治療法について説明できる。
5) 自己免疫性肝疾患の病像と治療法について説明できる。
6) 脂肪肝, アルコール性肝疾患の病像について説明できる。
- 一般目標 肝硬変の病像と治療法について理解する。
- 個別目標 1) 肝硬変の病因, 形態像, 機能的分類について説明できる。
2) 腹水の治療法について説明できる。
3) 肝性脳症の治療法と適応について説明できる。
- 一般目標 肝細胞癌の疫学, 診断および治療を理解する。
- 個別目標 1) 肝細胞癌の疫学および背景因子を説明できる。
2) 肝細胞癌の診断体系を説明できる。
3) 肝細胞癌の確定診断と特徴的画像診断所見を説明できる。
- 一般目標 肝細胞癌の内科的治療を理解する。
- 個別目標 1) 肝細胞癌の治療法の種類と特徴を説明できる。

- 2) 肝細胞癌の内科的治療法の適応を説明できる。
- 3) 肝細胞癌の治療後の予後を説明できる。
- 一般目標 肝内胆管癌の疫学および診断と治療を理解する。
- 個別目標
 - 1) 肝内胆管癌の病態を説明できる。
 - 2) 肝内胆管癌の画像診断における特徴を説明できる。
 - 3) 肝内胆管癌の治療法を説明できる。
- 一般目標 肝良性腫瘍および腫瘍類似病変を理解する。
- 個別目標
 - 1) 肝の良性腫瘍および腫瘍類似病変を列挙し、分類できる。
 - 2) 肝の良性腫瘍および腫瘍類似病変の病態を説明できる。
 - 3) 肝良性限局性病変の画像診断における鑑別を説明できる。
- 一般目標 肝膿瘍の病態を理解する。
- 個別目標
 - 1) 肝膿瘍の原因を説明できる。
 - 2) 肝膿瘍の検査所見、画像診断における特徴を説明できる。
 - 3) 肝膿瘍の治療法を説明できる。
- 一般目標 遺伝性肝疾患、その他の原因による肝障害について理解する。
- 個別目標
 - 1) ヘモクロマトーシスについて説明できる。
 - 2) Wilson氏病について説明できる。
 - 3) アミロイドーシスについて説明できる。
- 一般目標 肝臓の外科解剖を把握し、外科的治療を理解する。
- 個別目標
 - 1) 肝臓の外科解剖を説明できる。
- 一般目標 肝臓外科手術に際しての肝機能評価法を理解し、また術後合併症の病態を把握する。
- 個別目標
 - 1) 術前肝予備評価法を説明できる。
 - 2) 肝臓外科手術後、合併症の病態を説明できる。
- 一般目標 門脈圧亢進症について理解する。
- 個別目標
 - 1) 門脈圧亢進症を来す疾患や原因を列挙し、説明できる。
 - 2) 門脈圧亢進症の病態生理を説明できる。
 - 3) 門脈血行動態の検査法を説明することができる。
 - 4) 門脈圧亢進症における主要な門脈大循環短絡路を説明できる。
 - 5) 本症における症候、治療法の種類と適応を説明できる。
- 一般目標 肝切除術を理解し、その病態を把握する。
- 個別目標
 - 1) 各種肝切除術式を説明できる。
 - 2) 肝切除術の適応となる疾患を説明できる。
 - 3) 肝切除術後病態を説明できる。
- 一般目標 肝移植の手術適応・手技を理解する。
- 個別目標
 - 1) 生体肝移植、脳死肝移植について、その適応を説明できる。
 - 2) 肝移植手術手技について説明できる。
- 一般目標 脾臓・門脈系疾患の病態を理解し、その外科治療の意義を把握する。
- 個別目標
 - 1) 門脈圧亢進症の病態を説明できる。
 - 2) 門脈圧亢進症の外科治療法を説明できる。
 - 3) 脾摘除術の適応と手技を説明できる。

胆道・膵臓

- 一般目標 胆道・膵の病態相関を理解する。
- 個別目標
- 1) 胆道・膵の局所解剖と解剖学的接点を説明できる。
 - 2) 胆道と膵機能に対する神経および消化管ホルモン支配を説明できる。
 - 3) 十二指腸乳頭部の構造と機能を説明できる。
- 一般目標 閉塞性黄疸の鑑別と病態を理解する。
- 個別目標
- 1) ビリルビンの産生と代謝を説明できる。
 - 2) 閉塞性黄疸の特徴的症候と理学所見を説明できる。
 - 3) 閉塞性黄疸について血液化学所見の特徴を説明できる。
 - 4) 閉塞性黄疸の画像所見を説明できる。
 - 5) 閉塞性黄疸の病態展開と合併症を説明できる。
- 一般目標 胆道の外科解剖および胆道良性疾患の病態，外科的治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 胆道の外科解剖と疾病の病態を解剖面より説明できる。
 - 2) 胆道良性疾患の外科的治療を説明できる。
- 一般目標 胆石生成と胆石症の病態を理解する。
- 個別目標
- 1) 胆石を分類し，それぞれの要因と生成過程を説明できる。
 - 2) 胆石症を臨床的に分類し，病像と病態生理を説明できる。
 - 3) 胆石症の合併症を挙げ，その発生机転を説明できる。
 - 4) 胆嚢炎・胆管炎の病像を分類し，治療法を説明できる。
- 一般目標 胆石症の診断と治療法を理解する。
- 個別目標
- 1) 胆石症の診断法を説明し，診断所見を説明できる。
 - 2) 胆石溶解療法の理論と適応を説明できる。
 - 3) 体外衝撃波結石破碎療法（ESWL）の適応を説明できる。
 - 4) 内視鏡治療の方法と適応を説明できる。
 - 5) 外科的治療の必要性和適応を分類し，説明できる。
- 一般目標 胆道腫瘍の臨床像と病態生理を理解する。
- 個別目標
- 1) 胆道癌の疫学的知識と発癌の危険因子を説明できる。
 - 2) 胆道腫瘍の肉眼型を分類し，説明できる。
 - 3) 胆道腫瘍の診断法と特徴所見を説明できる。
 - 4) 胆道腫瘍の鑑別診断を説明できる。
 - 5) 胆道腫瘍の治療法を説明できる。
- 一般目標 胆道悪性腫瘍の病態を把握し，外科治療法を理解する。
- 個別目標
- 1) 胆道悪性腫瘍の病態を説明できる。
 - 2) 胆道悪性腫瘍の外科治療の適応および手技について説明できる。
- 一般目標 膵炎の原因，病態生理および治療・管理を理解する。
- 個別目標
- 1) 急性膵炎の臨床診断基準を説明できる。
 - 2) 急性膵炎の原因と重症度を分類し，病態生理を説明できる。
 - 3) 急性膵炎の合併症と治療法を説明できる。
 - 4) 慢性膵炎の臨床診断基準を説明できる。
 - 5) 慢性膵炎の病因，病期を分類し，治療と管理を説明できる。

一般目標 膵嚢胞の成因と病態を理解する。

- 個別目標
- 1) 膵嚢胞を病理学的に分類し、成因を説明できる。
 - 2) 膵仮性嚢胞の主要な合併症をあげ、説明できる。
 - 3) 腫瘍性嚢胞との臨床的鑑別点を説明できる。
 - 4) 膵嚢胞の治療適応と治療法を説明できる。

一般目標 膵腫瘍の臨床像と病態生理を理解する。

- 個別目標
- 1) 膵腫瘍を病理学的に分類し、説明できる。
 - 2) 膵腫瘍の疫学的知識、発症関連の危険因子を説明できる。
 - 3) 膵腫瘍の診断法とそれぞれにおける特徴所見を説明できる。
 - 4) 膵腫瘍を病理学的に分類し、生物学的特徴と臨床像を説明できる。
 - 5) 膵管癌の鑑別診断を説明できる。
 - 6) 膵管癌の治療と管理法を説明できる。

一般目標 膵の外科解剖を把握し、膵良性疾患の病態、外科的治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 膵の外科解剖を説明できる。
 - 2) 膵良性疾患の病態、外科的治療を説明できる。

一般目標 膵悪性腫瘍の病態、外科的治療について理解する。

- 個別目標
- 1) 膵悪性腫瘍の病態、手術適応を説明できる。
 - 2) 膵悪性腫瘍の外科治療法を説明できる。

一般目標 膵移植の手術適応・手技を理解する。

- 個別目標
- 1) 膵移植の手術適応を説明できる。
 - 2) 膵移植法の手技について説明できる。

補液・栄養補給

一般目標 消化器疾患における補液および栄養補給について理解する。

- 個別目標
- 1) 消化器疾患での脱水の病態および補液の必要性を説明できる。
 - 2) 補液の種類と特徴を説明できる。
 - 3) 消化器疾患、特に術後における各種栄養法をあげ説明できる。
 - 4) 高カロリー輸液の実際と合併症を説明できる。

腹部外傷

一般目標 腹部実質臓器損傷の病態および治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 腹部実質臓器損傷の診断法、その病態を説明できる。
 - 2) 腹部実質臓器損傷の治療法を説明できる。

6) 評価法 筆記テスト 出席 (30%), 試験 (70%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授 業 内 容	授業内容の key word	授 業 課 題
1	4月11日(金)	Ⅲ	第三講義室	宮内英聡	講義	大腸癌	画 像 診 断, TNM分類, 手 術治療, 内視鏡 治療, 抗癌剤治 療	
2	4月11日(金)	Ⅳ	第三講義室	大平 学	講義	大腸ポリープ, 腸管 憩室, 消化管カルチ ノイド, 痔核, 痔瘻	病態, 診断, 手 術適応, 非手術 治療	
3	4月14日(月)	Ⅲ	第三講義室	丸山紀史	講義	逆流性食道炎, 胃食 道逆流症, 食道静脈 瘤, マロリー・ワイ ス症候群	下部食道括約機 構, 内 視 鏡 分 類, 内視鏡止血 術	
4	4月14日(月)	Ⅳ	第三講義室	丸山紀史	講義	消化性(胃・十二指 腸)潰瘍, 急性胃粘 膜病変, 慢性胃炎	胃酸分泌, 胃粘 膜防御機構	
5	4月14日(月)	Ⅴ	第三講義室	松谷正一	講義	門脈圧亢進症, 肝性 脳症, 脾・門脈系疾 患	門脈血行動態, 門脈大循環短絡 路, 消化管出血	
6	4月15日(火)	Ⅰ	第三講義室	丸山紀史	講義	消化管機能とその障 害, 過敏性腸症候 群, 吸収不良症候群	消化管運動機 能, 消化吸収機 序	
7	4月15日(火)	Ⅱ	第三講義室	丸山紀史	講義	胃ポリープ, 胃粘膜 下腫瘍, ヘリコバク ター・ピロリ菌感染 症	山田分類, HP 感染診断法, 除 菌治療	
8	4月16日(水)	Ⅲ	第三講義室	横須賀 収	講義	急性肝炎, 劇症肝炎	A型肝炎ウイル ス, E型肝炎ウイ ルス, ウイルス マーカー	
9	4月16日(水)	Ⅳ	第三講義室	今関 文夫	講義	慢性肝炎, 自己免疫 性肝炎	B型肝炎ウイル ス, C型肝炎ウイ ルス, 組織分類	
10	4月16日(水)	Ⅴ	第三講義室	野村 文夫	講義	アルコール性肝障 害, 薬剤性肝障害	飲酒, エタノー ル代謝, 診断基 準	
11	4月17日(木)	Ⅲ	第三講義室	横須賀 収	講義	肝硬変	肝硬変の分類, 慢性肝不全, 肝 発癌	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
12	4月17日(木)	Ⅳ	第三講義室	鈴木良夫 (腫瘍病理)	病理	病理消化管 1		
13	4月17日(木)	Ⅴ	第三講義室	鈴木良夫 (腫瘍病理)	病理	病理消化管 2		
14	4月24日(木)	Ⅰ	第三講義室	露口利夫	講義	胆石症, 胆嚢炎, 胆 管炎, 胆嚢ポリ プ, 総胆管拡張症と 隣胆管合流異常	急性腹症, 胆道 感染症, 画像診 断	
15	4月24日(木)	Ⅱ	第三講義室	白鳥 享	講義	急性虫垂炎, 腹膜 炎, ヘルニア	病態, 診断, 手 術適応	
16	4月28日(月)	Ⅱ	第三講義室	松原久裕	講義	食道癌	疫学, 画像診 断, TNM分類, 手術治療, 内視 鏡治療, 放射線 化学療法	
17	4月28日(月)	Ⅲ	第三講義室	林 秀樹	講義	胃癌, 胃切除術後症 候群	画 像 診 断, TNM分類, 手 術治療, 内視鏡 治療, 抗癌剤治 療	
18	4月30日(水)	Ⅰ	第三講義室	吉川正治	講義	肝細胞癌	疫学, 成因, 腫 瘍マーカー, 画 像診断, 治療	
19	4月30日(水)	Ⅱ	第三講義室	吉川正治	講義	肝内胆管癌, 肝良性 腫瘍, 肝膿瘍	鑑別診断, 画像 診断, 治療	
20	4月30日(水)	Ⅲ	第三講義室	清水孝徳	講義	イレウス, 小腸疾患	病態, 診断, 手 術適応	
21	5月1日(木)	Ⅰ	組織実習室	東 守洋 (腫瘍病理)	病理 実習	病理消化管 1		
22	5月1日(木)	Ⅱ	組織実習室	東 守洋 (腫瘍病理)	病理 実習	病理消化管 2		
23	5月1日(木)	Ⅲ	第三講義室	吉留博之	講義	肝臓の解剖と肝機能 評価	肝区域, グリソ ン鞘, 肝機能総 量	
24	5月7日(水)	Ⅰ	第三講義室	窪澤 仁	病理	病理 胆嚢・膵		
25	5月7日(水)	Ⅱ	第三講義室	近藤福雄	病理	病理 肝		
26	5月8日(木)	Ⅲ	第三講義室	加藤 厚	講義	胆道・膵の解剖と病 態生理	胆管走行, 閉塞 性黄疸, 膵外・ 内分泌機能	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
27	5月8日(木)	Ⅳ	第三講義室	山森秀夫	講義	膵癌	膵癌治療成績, 手術法, 合併症	
28	5月8日(木)	Ⅴ	第三講義室	清水宏明	講義	胆道悪性腫瘍 (胆嚢, 胆管癌)	臓器保護, 拒絶 反応, 免疫抑制 剤	
29	5月9日(金)	Ⅲ	第三講義室	張ヶ谷健一 (腫瘍病理)	病理	消化器CPC		
30	5月9日(金)	Ⅳ	組織実習室	岸本充	病理 実習	病理 肝・膵		
31	5月9日(金)	Ⅴ	組織実習室	岸本 充	病理 実習	病理 肝・膵		
32	5月13日(火)	Ⅰ	第三講義室	古川勝規	講義	消化器疾患における 補液・栄養補給	胆道癌診断, 胆 道癌治療, 閉塞 性黄疸	
33	5月13日(火)	Ⅱ	第三講義室	大塚将之	講義	肝移植・膵移植	臓器保護, 拒絶 反応, 免疫抑制 剤	
34	5月14日(水)	Ⅰ	第三講義室	勝野達郎	講義	炎症性腸疾患(潰瘍 性大腸炎, クロー ン病), 消化管ポリ ポーシス, 薬剤性大 腸炎	診断基準, 薬物 治療, 栄養治療	
35	5月14日(水)	Ⅱ	予備					
36	5月15日(木)	Ⅰ	第三講義室	石原 武	講義	急性膵炎, 慢性膵炎	膵酵素, 急性腹 症, 重症度分 類, 成因	
37	5月15日(木)	Ⅱ	第三講義室	石原 武	講義	嚢胞性膵疾患, 膵良 性腫瘍	病型分類, 画像 診断, 鑑別診断	
38	6月2日(月)	Ⅰ	組織実習室	木村文夫		試験		

血液学ユニット

- 1) ユニット名 血液学
 2) ユニット責任者 西村美樹

4) ユニットの概要 血球細胞の分化，増殖の過程とその果たす役割を中心に学習し，腫瘍性の増殖，欠乏等によって引き起こされる重要な造血器疾患の診断，治療の理解を深める。

5) ユニットの学習目標

- 一般目標 造血幹細胞から血球までの分化を理解し，その過程で生じる重要な疾患の診断，治療を学ぶ。
 個別目標
- 1) 造血幹細胞の特徴を説明でき，血球への分化に関わる主な造血因子について説明できる。
 - 2) 貧血の分類，成因，治療について概説できる。
 - 3) 止血，凝固異常をきたす疾患の成因，治療について概説できる。
 - 4) 造血幹細胞の異常により生じる疾患（再生不良性貧血，骨髄異形成症候群）の診断，治療について説明できる。
 - 5) 急性骨髄性白血病，急性リンパ性白血病の定義，分類，診断，治療について説明できる。
 - 6) 慢性骨髄性白血病，骨髄増殖性疾患の定義，分類，診断，治療について説明できる。
 - 7) 悪性リンパ腫の定義，分類，診断，治療について説明できる。
 - 8) 多発性骨髄腫の定義，診断，治療について説明できる。
 - 9) 造血幹細胞移植の分類，概念，成績について説明できる。
 - 10) 輸血療法に必要な検査，合併症について概説できる。

6) 評価法 CBTタイプのテスト（100%）

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	5月19日(月)	II	第三講義室	趙	講義	造血幹細胞とその分化，増殖，造血のしくみ	造血幹細胞，造血微小環境，サイトカイン，造血組織，血球の機能	標準血液病学

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
2	5月19日(月)	Ⅲ	第三講義室	中世古	講義	造血幹細胞の異常による疾患 再生不良性貧血, 発作性夜間血色素尿症, 骨髄異形成症候群	クローン性造血障害, 再生不良貧血の病態, 重症度分類, 免疫抑制療法, 発作性夜間血色素尿症の病態, 骨髄異型性症候群の病態, 分類	標準血液病学
3	5月23日(金)	I	第三講義室	西村	講義	赤血球系の異常による疾患血小板の異常, 凝固異常による疾患	赤血球の産生障害・破壊亢進, 貧血の種類, 紫斑病, 播種性血管内凝固症候群, 凝固因子欠乏症	標準血液病学
4	5月23日(金)	Ⅱ	第三講義室	趙	講義	造血器腫瘍(1) 治療概論, 急性骨髄性白血病, 急性リンパ性白血病	多剤併用化学療法, 標的療法, 急性白血病の病態, FAB分類, WHO分類, W-G染色, 特殊染色, 細胞表面抗原, 染色体異常, 遺伝子異常	三輪血液病学
5	5月26日(月)	Ⅱ	第三講義室	中世古	講義	造血器腫瘍(2) 慢性骨髄性白血病, 骨髄増殖性疾患	慢性骨髄性白血病の病態, 染色体異常, 標的療法, 骨髄増殖性疾患の病態	標準血液病学
6	5月26日(月)	Ⅲ	第三講義室	西村	講義	造血器腫瘍(3) 悪性リンパ腫	悪性リンパ腫のWHO分類, 臨床病期, 多剤併用化学療法, 標的療法, 成人T細胞性白血病の疫学, 病態	標準血液病学

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
7	5月30日(金)	I	第三講義室	中世古	講義	造血器腫瘍(4) 多発性骨髄腫, 慢性 リンパ性白血病	多発性骨髄腫の 病態, 分類, 治 療, 成人T細胞 白血病の疫学, 病態, 治療, 慢 性リンパ性白血 病の病態, 治療	標準血液病学
8	5月30日(金)	II	第三講義室	岸 (腫瘍病理)	講義	リンパ組織の病理	リンパ腫, 非ホ ジキンリンパ 腫, ホジキン 病, 反応性リン パ節炎	三輪血液病学
9	6月2日(月)	II	第三講義室	張ヶ谷 (腫瘍病理)	講義	骨髄の病理	造血幹細胞の発 生・増殖分化, 骨髄の構造と機 能, 白血病の病 因	三輪血液病学
10	6月2日(月)	III	第三講義室	東 守洋 (腫瘍病理)	実習	造血器	リンパ腫, 白血 病	三輪血液病学
11	6月6日(金)	I	第三講義室	西村	講義	造血幹細胞移植	造血幹細胞移植 の種類・概念・ 合併症・成績	標準血液病学
12	6月6日(金)	II	第三講義室	井関	講義	輸血学	血液型, 輸血合 併症, 適正輸血	標準血液病学
13	6月6日(金)	III	第三講義室	張ヶ谷 (腫瘍病理)	CPC			
14	6月23日(月)	I	組織実習室		試験			

呼 吸 器 ユ ニ ッ ト

- 1) ユニット名 呼吸器
2) ユニット責任者 巽 浩一郎

4) ユニットの概要 肺は全身の鏡ともいわれるように、呼吸器の疾患は全身の機能に影響をおよぼすと同時に、他臓器の異常は呼吸器の機能異常としても表現される。従って呼吸器病学を学ぶにあたっては呼吸器の正常機能、疾患の病態生理を、全身機能との関連において総合的にとらえることが必要である。さらに呼吸器治療学においては、良性疾患、悪性疾患を問わず、予防医学、内科的治療、外科的治療を適切に組み合わせることが必要である。上記認識に基づき、呼吸器疾患の病態生理、予防医学、診断学、治療学を、基礎医学全般と他分野臨床医学との関連において総合的に理解する。ウイルスの基本的性状、病原性とそれによって生じる病態を理解し、主なウイルス感染症の診断・治療を学ぶ。

5) ユニットの学習目標

- 一般目標 呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の原因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
- 個別目標
- 1) 呼吸器疾患の臨床症状と臨床所見を列挙することができ、その成因を述べることができる。
 - 2) 患者面接、診察を通して臨床症状と臨床所見を抽出することができ、病態生理を考察することができる。
 - 3) 呼吸困難の諸原因を理解し、Hugh-Jones分類によるgradingを行うことができる。
 - 4) 肺区域解剖、縦隔の解剖が理解できる。
 - 5) 胸部単純レントゲン写真、胸部CT写真において正常像、異常像が得られる原理を理解できる。
 - 6) シルエットサインの原理が理解でき、それに基づいた解析的レントゲン読影ができる。
 - 7) 無気肺の原因と診断を説明できる。
 - 8) 呼吸機能検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - 9) 動脈血液ガス分析の目的と適応を理解し、実習を通して、呼吸機能検査と動脈血液採血を行うことができ、その結果の解釈ができる。特にA-aDO₂を計算し、酸塩基平衡を分析することにより、病態の把握ができる。

- 10) 気管支鏡検査（肺生検，気管支肺胞洗浄法を含む）の目的と適応，検査の概略，合併症を理解し，実習を通して見学する。
- 11) 喀痰検査の意義を説明できる。
- 12) 心臓カテーテル検査，血管造影検査の呼吸器疾患診断における意義を述べることができる。
- 13) ビデオガイド下開胸（VATS）生検，開胸生検の適応を理解できる。
- 14) 気管支鏡，血管造影による interventional radiology の呼吸器疾患への応用について理解できる。
- 15) 上気道感染症，下気道感染症，ウイルス性感染症，細菌性感染症，真菌性感染症等のカテゴリーを理解でき，それぞれの特徴，診断，治療の方法を述べることができる。
- 16) 気道と肺の防御機構（免疫学的・非免疫学的）と代謝機能を説明できる。
- 17) 市中肺感染症と院内肺感染症について，起炎菌，治療方法の特徴を対比論述できる。
- 18) 日和見肺感染のリスクファクターを述べることができ，その特徴を述べることができる。
- 19) 肺結核症の感染様式，進展様式を述べることができ，診断，治療の原則とその原理を理解できる。また肺結核症の社会医学的重要性を認識し，結核予防法の必要事項を理解すると同時に，同法により医師に課せられた義務項目の詳細について述べるができる。院内感染予防のための対策をコメディカルスタッフと協力して行うことの重要性を認識する。
- 20) 膿胸，肺膿瘍，肺真菌症，肺結核症などの手術適応と外科的治療（肺剥皮術，胸郭形成術，筋肉充填術，大網固定術など）について述べるができる。
- 21) 抗酸菌症を概説できる。
- 22) 慢性閉塞性肺疾患の概念，発症における喫煙の影響について理解できる。
- 23) 肺気腫症，気管支喘息，慢性気管支炎の病態，診断，治療，日常管理の方法が理解でき，概略を述べることができる。
- 24) 気管支拡張症の症候，診断と治療を説明できる。
- 25) びまん性汎細気管支炎を概説できる。
- 26) 間質性肺炎の病理分類と臨床分類の対応について概略を理解できる。
- 27) 代表的なびまん性間質性肺疾患（特発性間質性肺炎，過敏性肺炎，サルコイドーシス，薬剤誘起性肺臓炎）について，病態生理，診断，鑑別疾患，治療方法，肺以外の他臓器病変について述べることができる。
- 28) 膠原病，全身性血管炎など全身疾患の一部分症として生じる肺病変についてその特徴と基礎疾患による治療方法，予後を述べることができる。
- 29) 塵肺と石綿肺を概説できる。
- 30) 体循環と比較した場合の肺循環の特殊性を理解できる。
- 31) 急性肺血拴塞栓症，慢性肺血拴塞栓性肺高血圧症の成因，リスクファクターを述べることができ，病態生理，診断，治療方法の原則が理解できる。
- 32) 肺高血圧症を概説できる。
- 33) 肺性心の原因，診断と治療を説明できる。
- 34) 急性呼吸窮迫症候群（ARDS）の原因，症候と治療を説明できる。
- 35) 肺動静脈奇形の診断と，治療方法が理解でき，合併症について述べるができる。
- 36) 呼吸の化学調節機構，神経調節機構，行動性調節機構について理解できる。
- 37) 呼吸調節障害の診断と治療の概略が理解できる。
- 38) 過換気症候群を概説できる。
- 39) 睡眠時無呼吸症候群の成因，病態生理，診断，治療の概略が理解できる。

- 40) 肺癌発症における喫煙の影響について理解できる。
- 41) 原発性肺癌の代表的な組織型を列挙し、それぞれの生物学的特徴、それに基づいた臨床的な特徴を述べることができる。
- 42) 肺癌の発見、確定診断、病期診断の方法を述べることができる。
- 43) 腫瘍随伴症候群（paraneoplastic syndrome）の定義を述べることができ、代表的なものを列挙することができる。
- 44) 肺癌に対する治療は支持療法と癌治療からなることを理解し、相互の関係について述べることができる。
- 45) 組織型、臨床病期、患者の全身状態に基づいた肺癌治療の原則を述べることができる。
- 46) 抗癌剤の作用機序を理解し、多剤併用療法、集学的治療（multi-modality therapy）の理論的根拠を述べることができる。
- 47) インフォームドコンセントについて理解する。
- 48) 肺癌に関する臨床試験の必要性とその実際について、科学のおよび倫理的側面から論じることができる。
- 49) 終末期医療の概念について理解を深める。
- 50) 転移性肺腫瘍のレントゲン診断と手術適応について述べるができる。
- 51) 肺良性腫瘍のレントゲン診断と手術適応について述べるができる。
- 52) 縦隔腫瘍の種類、発生部位、鑑別診断、治療方針について述べるができる。
- 53) 嚢胞性肺疾患（自然気胸、巨大肺嚢胞、びまん性肺気腫など）の手術適応、治療方法について述べるができる。
- 54) 重症筋無力症の外科的治療、周術期管理について述べるができる。
- 55) 胸膜炎の原因、症候、診断と治療を概説できる。
- 56) 急性呼吸不全と慢性呼吸不全の病態生理の特徴について対比論述することができる。
- 57) 低酸素血症をきたす病態生理を述べるができる。
- 58) 組織低酸素血症の臨床的意義を理解できる。
- 59) 急性呼吸不全、慢性呼吸不全に対する酸素療法の適応と方法の概略を述べるができる。
- 60) 在宅酸素療法の意義と適応が理解できる。
- 61) 肺移植の適応が理解できる。
- 62) 呼吸器系の加齢に伴う変化と老年者に好発する呼吸器疾患（COPD、嚢下性肺疾患）について病因、病態、診断、治療に関して説明できる。

- 6) 評価法
- 1) 出席・課題・発言（20%）
 - 2) ユニットテスト（80%）

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容 (太字はコアカリキュラム)	授業内容の key word	授業課題 (予習)
1	6月10日(火)	I	第三講義室	黒須克志	講義	肺区域解剖, 縦隔の解剖が理解できる 胸部単純レントゲン写真, 胸部CT写真において正常像, 異常像が得られる原理を理解できる。 気管支鏡検査(肺生検, 気管支肺胞洗浄法を含む)の目的と適応, 検査の概略, 合併症を理解できる。		
2	6月10日(火)	II	第三講義室	吉野一郎	講義	呼吸器外科学総論, 肺癌の診断と治療 気道の構造, 肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。		
3	6月11日(水)	I	第三講義室	渋谷 潔	講義	肺良性疾患の診断と治療が説明できる。		
4	6月11日(水)	II	第三講義室	中谷行雄	講義	呼吸器疾患の病理		
5	6月12日(木)	I	第三講義室	巽浩一郎	講義	呼吸不全の定義, 分類, 病態生理と主な原因を説明できる。 低酸素(血)症と高二酸化炭素(血)症の原因, 分類と診断を説明し, 治療を概説できる。肺の換気と(換気血流比)が血液ガスにおよぼす影響を説明できる。 肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。		
6	6月12日(木)	II	第三講義室	巽浩一郎	講義	呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。肺気量と肺・胸郭系の圧・容量関係(コンプライアンス)を説明できる。血液による酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みを説明できる。		

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容 (太字はコアカリキュラム)	授業内容の key word	授業課題 (予習)
7	6月17日(火)	I	第三講義室	廣島健三	講義	呼吸器疾患の病理		
8	6月17日(火)	II	第三講義室	廣島健三	講義	呼吸器疾患の病理		
9	6月18日(水)	I	組織実習室	中谷行雄 廣島健三 米盛葉子 大出貴士 河野俊彦	実習	病理実習 肺		
10	6月18日(水)	II	組織実習室	中谷行雄 廣島健三 米盛葉子 大出貴士 河野俊彦	実習	病理実習 肺		
11	6月23日(月)	II	第三講義室	田邊信宏	講義	肺循環の特徴を説明できる。肺性心の原因、診断と治療を説明できる。肺血栓塞栓症の原因、診断と治療を説明できる。		
12	6月23日(月)	III	第三講義室	猪狩英俊	講義	呼吸器感染症（下気道感染症，上気道感染症）の臨床症状・診断，治療，予防について理解する，代表的下気道感染症である肺炎について理解する，代表的上気道感染症であるインフルエンザについて理解する，喀痰グラム染色の診断的意義について理解する。		
13	6月24日(火)	I	第三講義室	滝口裕一	講義	原発性肺癌の分類，症候，診断と治療を説明できる。肺癌の疫学，喫煙との関連を説明できる。癌治療と支持療法の関連を説明できる。		
14	6月24日(火)	II	第三講義室	鈴木 実	臨床 講義	肺癌手術症例とビデオ供覧		

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容 (太字はコアカリキュラム)	授業内容の key word	授業課題 (予習)
15	6月25日(水)	I	第三講義室	滝口裕一	講義	間質性肺炎の病態、診断と治療を説明できる。びまん性肺疾患、間質性肺疾患の疾患概念を理解し、分類の概略を説明できる。胸部レントゲン写真、CT検査における、実質性陰影と間質性陰影の特徴を説明することができる。実際の症例において鑑別診断ができる。		
16	6月25日(水)	II	第三講義室	吉田成利	講義	縦隔腫瘍の診断と外科治療が説明できる。縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。		
17	6月26日(木)	II	第三講義室	巽 浩一郎	講義	慢性閉塞性呼吸機能障害の原因を列挙できる。慢性気管支炎の定義、診断と治療を説明できる。肺気腫の原因、診断と治療を説明できる。気管支喘息の病態生理、診断と治療を説明できる。		
18	6月26日(木)	III	第三講義室	山岸文雄 (非常勤講師)	講義	肺結核症の症候、診断、治療と届出手続きを説明できる。非結核性抗酸菌症を概説できる。		
19	6月27日(金)	I	第三講義室	国友史雄 (非常勤講師)	講義	じん肺、アスベスト関連疾患を中心に職業性肺疾患について学ぶ。じん肺は胸部X線、CTの画像を多く提出し、臨床像を明らかにしていきたい。また、環境暴露として環境タバコ煙、医師としての喫煙問題についても講義する。		

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容 (太字はコアカリキュラム)	授業内容の key word	授業課題 (予習)
20	6月27日(金)	Ⅱ	第三講義室	田邊信宏	臨床 講義	呼吸器系の主な症候と病態を説明できる。呼吸器系の主な臨床検査の目的、適応、異常所見を説明し、結果を解釈できる。肺高血圧症を概説できる。		
21	6月27日(金)	Ⅲ	第三講義室	米盛葉子 大出貴士	臨床 講義 (CPC)	CPC (肺腫瘍)。原発性肺癌の分類、症候、診断と治療を説明できる。		
22	7月14日(月)	I	組織実習室		試験			

7) 教 科 書

新臨床内科学
ハリソン内科学 第2版 (原著第16版)
呼吸器外科学 改定第3版 南山堂
蛍光気管支内視鏡 金原出版
南江堂 人体病理学 石倉浩 監訳 212-217
標準感染症学 医学書院
レジデントのための感染症診断マニュアル 医学書院
Diagnosis of Diseases of the Chest 4th edition Fraser, Muller, Colman, Pare, W.B. Saunders
Principles of Chest Roentgenology 2nd edition Felson, Weinstein, Spitz, W.B. Saunders
胸部のCT 池添潤平, 村田喜代史 メディカル・サイエンス・インターナショナル

循環器ユニット

- 1) ユニット名 循環器
2) ユニット責任者 小林 欣夫

4) ユニットの概要 循環器系は生命維持に必要な器官であり、病態生理の正しい理解に基づいた適格な診断と治療が求められる。循環器疾患はその頻度の多さ、緊急度、生命予後に瞬時に関わることから、将来の専攻分野を問わず、すべての学生に医療の基盤としての循環器の知識を身につけてもらうことが重要である。本コースでは、循環器疾患の病態生理への深い洞察力とエビデンスに基づいた適格な知識を得ることを教育方針として内科的ならびに外科的の両面から授業を行う。

21の単位からなり、心臓、循環系の構造と機能、心電図の判読、画像診断、心臓カテーテル検査、心不全の診断と治療、先天性心疾患、心臓弁膜疾患、心筋、心内膜、心外膜疾患、狭心症、心筋梗塞、不整脈、高血圧・低血圧、動脈疾患、静脈疾患と肺塞栓症、リンパ管疾患、心腫瘍、外傷心疾患の病理について学ぶ。それぞれの一般目標および個別目標は以下のごとくである。

5) ユニットの学習目標

1. 心臓, 循環系の構造と機能

一般目標 心臓, 動静脈系の解剖と生理を復習する

- 個別目標
- 1) 心臓の構造と分布する血管・神経を説明できる。
 - 2) 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。
 - 3) 心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。
 - 4) 興奮収縮連関を概説できる。
 - 5) 体循環, 肺循環と胎児循環を説明できる。
 - 6) 大動脈の枝を図示し, 分布域を概説できる。
 - 7) 頭頸部と四肢の主な動脈を図示し, 分布域を概説できる。
 - 8) 主な静脈を図示し, 門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる。
 - 9) 毛細血管における物質・水分交換を説明できる。
 - 10) 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。
 - 11) 心周期にともなう血行動態を説明できる。
 - 12) 心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。
 - 13) 主な臓器（脳, 心, 肺）の循環調節を概説できる。
 - 14) 血流の局所調節の機序を概説できる。
 - 15) 血圧調節の機序を説明できる。
 - 16) 運動時の循環反応とその機序を説明できる

2. 心電図の判読

一般目標 心臓の電気現象を理解した上で心電図を判読できる。

- 個別目標
- 1) 心臓の電気現象を理解する。
 - 2) 正常心電図を理解する。
 - 3) 心電図の異常波形が解読できる。
 - 4) 不整脈の心電図上の特徴を理解する。
 - 5) 運動負荷試験の種類と意義を理解する。

3. 画像診断, 心臓カテーテル検査

一般目標 循環器疾患の画像診断, 心臓カテーテル検査の方法と有用性を理解する。

- 個別目標
- 1) 胸部X線と心臓超音波検査の方法と意義を理解する。
 - 2) 心カテーテル検査（心内圧, 心機能, シヤント率の測定）と結果の解釈を説明できる。
 - 3) 心カテーテルの方法と適応を理解し, 異常所見を指摘できる。
 - 4) 冠動脈造影の方法と有用性を理解し, 異常所見を指摘できる。
 - 5) 心臓カテーテル検査の結果から循環器疾患の病態を把握できる。
 - 6) 心臓核医学検査の有用性を理解し異常所見を指摘できる。
 - 7) 心臓・血管X線CTの有用性を理解し, 異常所見を指摘できる。
 - 8) 心臓・血管MRIの有用性を理解する。
 - 9) 心臓PETの有用性を理解する。
 - 10) DSAの有用性を理解する。

4. 心不全の診断と治療

一般目標 心不全の定義と診断・治療について理解する。

- 個別目標
- 1) 心不全の定義・原因を理解する。

- 2) 左心不全, 右心不全の診断法および診断基準を理解する。
- 3) 左心不全, 右心不全の原因疾患と病態を把握できる。
- 4) 心不全の治療法について理解する。
- 5) 急性心不全と慢性心不全の診断を説明し, 治療を概説できる。
- 6) ショック, 循環不全の定義・原因・病態・診断および治療を理解する。
- 7) 肺高血圧症について理解する。

5. 先天性心疾患

一般目標 心血管の発生過程を理解した上で先天性心疾患とは何か, またその病態, 診断, 治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 心血管の発生学について理解する。
 - 2) 先天性心疾患の分類を知る。
 - 3) 先天性心疾患の診断法を理解する。
 - 4) 心房中隔欠損, 心室中隔欠損, 動脈管開存, ファロー四徴症の病態を理解する。
 - 5) 先天性心疾患の内科治療と予後について理解する。
 - 6) ファロー四徴症に対する Blalock-Taussig 短絡手術を理解する。
 - 7) チアノーゼ疾患の外科治療全般を理解する。
 - 8) 非チアノーゼ疾患の外科治療全般を理解する。

6. 心臓弁膜疾患

一般目標 心臓弁膜疾患 (特に僧房弁狭窄症, 僧帽弁閉鎖不全症, 僧帽弁逸脱症候群, 大動脈弁狭窄症, 大動脈弁閉鎖不全症, 三尖弁閉鎖不全症, 連合弁膜症) の原因, 病態, 診断および治療に関して理解する。

- 個別目標
- 1) リウマチ性心炎の病態, 診断, 治療法を理解する。
 - 2) 心臓弁膜疾患の種類および原因を理解する。
 - 3) 各種心臓弁膜疾患の診断法と特徴的な異常所見を述べる事が出来る。
 - 4) 大動脈弁閉鎖不全症の原因疾患となる Marfan 症候群について理解する。
 - 5) 各種心臓弁膜疾患の病態を理解する。
 - 6) 各種心臓弁膜疾患の治療法を理解する。
 - 7) 各種心臓弁膜疾患の予後を理解する。
 - 8) 弁狭窄疾患, 弁閉鎖不全疾患の外科治療を理解する。

7. 心筋, 心内膜, 心外膜疾患

一般目標 心筋・心膜疾患の原因・診断および治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 心筋炎の原因・診断・病態および治療について理解する。
 - 2) 急性心膜炎の原因・診断・病態および治療について理解する。
 - 3) 心タンポナーデの原因と診断を説明し, 治療を概説できる。
 - 4) 収縮性心膜炎の原因と診断を説明し, 治療を概説できる。
 - 5) 感染性心内膜炎の原因・診断・病態および治療について理解する。
 - 6) 特発性心筋症の分類および診断基準を理解する。
 - 7) 特発性心筋症の治療および予後について理解する。
 - 8) 二次性心筋疾患の原因疾患について理解する。

8. 狭心症

一般目標 狭心症の分類・病態・診断・治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 安定狭心症 (労作性, 冠撃縮性) の病態生理, 症候と診断を説明し, 治療を概説できる。

- 2) 不安定狭心症の病態生理, 症候と診断を説明し, 治療を概説できる。
- 3) 無痛性虚血性心疾患の病態
- 4) 狭心症の治療法を理解し, 治療選択ができる。a) 薬物療法について b) PCIについて
c) CABGについて
- 5) 冠動脈狭窄疾患の手術適応と外科治療を理解する。
- 6) 冠危険因子について理解し, その対策を述べることができる。

9. 心筋梗塞

一般目標 急性および陳旧性心筋梗塞の診断・病態および治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 急性および陳旧性心筋梗塞の診断・病態および治療を理解する。
 - 2) 心筋梗塞の二次予防のための抗凝固療法を理解する。
 - 3) 急性心筋梗塞の合併症（特に心筋梗塞後機械的合併症）とその治療を理解する。
 - 4) Dressler症候群について理解する。
 - 5) 心筋梗塞の合併症の外科治療を理解する。
 - 6) 心筋梗塞の予後を理解する。
 - 7) 心筋梗塞後のリハビリテーションを理解する。

10. 不整脈

一般目標 心臓の電気生理学を知った上で, 不整脈の種類・診断・治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 主な上室性および心室性不整脈の心電図上の特徴を説明できる。
 - 2) 致死的不整脈の心電図上の特徴を説明できる。
 - 3) 主な徐脈性不整脈（洞不全症候群, 房室ブロック）の心電図上の特徴を説明できる。
 - 4) 不整脈の治療法を理解する。a) 抗不整脈薬の特徴と使用法を理解する。b) ペースメーカー c) カテーテル・アブレーションの適応・方法および合併症を理解する。d) 直流除細動の適応・方法および合併症を理解する。

11. 高血圧・低血圧

一般目標 血圧異常の原因および治療法を理解する。

- 個別目標
- 1) 本態性高血圧症の疫学, 診断, 合併症と予後を説明し, 治療を概説できる。
 - 2) 二次性高血圧症（特に腎性高血圧症, 内分泌性高血圧症）の原因を列挙し, 診断を説明し, 治療を概説できる。
 - 3) 高血圧の診断基準を理解する。
 - 4) 高血圧緊急症・切迫症の診断, 治療法を理解する。
 - 5) 低血圧（特に起立性低血圧症 Shy-Drager症候群）を理解する。

12. 動脈疾患, 静脈疾患と肺塞栓症, リンパ管疾患

一般目標 大血管疾患・末梢血管疾患・静脈疾患・肺塞栓症・およびリンパ管疾患の原因・病態・診断および治療を理解する。

- 個別目標
- 1) 大動脈解離および大動脈瘤の診断, 内科および外科治療（特にBentall手術）を理解する。
 - 2) 大動脈炎の診断, 治療を理解する。
 - 3) 閉塞性動脈疾患（特にLeriche症候群）の診断, 治療を理解する。
 - 4) 末梢性動脈疾患（Buerger病, Raynaud症候群）の診断, 治療。
 - 5) 静脈血栓症の診断, 治療を理解する。
 - 6) 慢性肺動脈塞栓症の診断, 治療を理解する。
 - 7) 急性肺動脈塞栓症の診断, 治療を理解する。

8) Budd-Chiari 症候群の診断, 治療を理解する。

9) リンパ管疾患

13. 心腫瘍

一般目標 心腫瘍を理解する。

個別目標 1) 心腫瘍の種類 (特に粘液腫, 転移性腫瘍), 頻度, 診断, 治療を理解する。

14. 外傷

一般目標 心臓外傷, 血管外傷, 医療性外傷を理解する。

個別目標 1) 心臓外傷, 血管外傷, 医療性外傷の頻度, 診断, 治療を理解する。

15. 心疾患の病理

一般目標 心疾患の病理組織像を理解する。

- 個別目標
- 1) 肥大心の心筋変化を説明できる。
 - 2) 心不全に伴う全身の病理組織学的変化を説明できる。
 - 3) 弁膜および心内膜疾患の病理組織学的変化を説明できる。
 - 4) 心筋炎および心筋症の病理組織像を説明できる。
 - 5) 冠状動脈の粥状硬化とその急性変化を説明できる。
 - 6) 心筋梗塞における心筋の経時的変化を説明できる。

6) 評 価 法 出席 (10%)

医師国家試験出問題形式によるテスト (90%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	参考書 参照ページ
1	7月1日(火)	II	第三講義室	小室	講義	循環器学総論	心血管疾患, 診断法, EBM, 再生医療	
2	7月2日(水)	I	第三講義室	赤澤	講義	心血管系の解剖	左右心房, 心室, 大血管, 刺激伝導系, 冠状動脈	
3	7月2日(水)	II	第三講義室	南	講義	高血圧総論	疫学, 大規模臨床試験, 本態性高血圧, 二次性高血圧	p941-971
4	7月2日(水)	III	第三講義室	南	講義	高血圧各論	高血圧の治療	p972-994
5	7月3日(木)	II	第三講義室	長谷川	講義	ECG		
6	7月3日(木)	III	第三講義室	塩島	講義	症候	胸痛, 動悸, 労作時息切れ, 起座呼吸, 失神	p27-81
7	7月4日(金)	I	第三講義室	今牧	講義	虚血性心疾患の外科治療		
8	7月4日(金)	II	第三講義室	南野	講義	心脈管系の生理	心拍出量, 後負荷, 前負荷, 血圧	p443-p533

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	参考書 参照ページ
9	7月8日(火)	II	第三講義室	永井	講義	心不全		
10	7月9日(水)	I	第三講義室	高野	講義	心筋症, 感染性心内 膜炎, 心筋炎, 急性 心膜炎, 心タンポ ナーデ	拡張型心筋症, 肥大型心筋症, 不明熱, 奇脈, ウイルス性心筋 炎, 心筋生検	p1751-1806, p1823-1876
11	7月9日(水)	II	第三講義室	志村	講義	心臓弁膜症, 外傷と 血管の外科治療	人工弁, 生体 弁, 弁形成術, 人工血管置換 術, ベントール 手術	
12	7月9日(水)	III	第三講義室	上田	講義	不整脈	抗不整脈薬, 電気生理学的検 査, カテーテル アブレーション, ペースメーカー	p659-931
13	7月10日(木)	II	第三講義室	高橋	講義	先天性心疾患	VSD, ASD, エプスタイン奇 形, 大血管転位	p1505-1621
14	7月10日(木)	III	第三講義室	黒田	講義	心筋梗塞		
15	7月11日(金)	I	第三講義室	小林	講義	狭心症		
16	7月11日(金)	II	第三講義室	李	講義	エコー		
17	7月15日(火)	I	第三講義室	谷澤	講義	心疾患の病理	心不全細胞, nutmeg liver, 非 細菌性血栓性心 内膜炎, 心筋繊 維の錯綜配列, 粥腫内出血, 粥 腫斑破裂, 心筋 繊維の波状変 化, 収縮帯	
18	7月15日(火)	II	組織実習室	中谷, 谷澤, 廣島	実習	心臓, 血管	循環器疾患組織 像	
19	7月15日(火)	III	第三講義室	中川	講義	画像診断	胸部X線, CT, PET, RI, MRI	p273-358
20	7月15日(火)	IV	第三講義室	永井	講義	循環器疾患の再生医 療	心筋幹細胞, 組 織幹細胞, 骨格 筋芽細胞, tis- sue engineering	
21	7月16日(水)	I	第三講義室	船橋	講義	血管疾患と動脈硬 化, バージャー病	間欠性跛行, 大 動脈瘤	p1422-1504
22	9月1日(月)	I	組織実習室		試験			

7) 参 考 書 Braunwald E et al. Heart Disease a textbook of cardiovascular medicine
配 布 資 料 別添

頭頸部ユニット

- 1) ユニット名 頭頸部ユニット
2) ユニット責任者 丹沢秀樹(歯口科) 花澤豊行(耳鼻咽喉科)

- 4) ユニットの概要 頭頸部領域における種々の疾患の病因，発生機序，病態および薬物による治療原理を理解し，考察する能力を身につける。臨床における基本的技術を理解する。
頭頸部は複雑な解剖，機能が集積している。頭頸部ユニットは，感覚医学（聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚）と頭頸部外科を2本柱として幅広い分野を扱っている。歯科口腔外科，耳鼻咽喉科が分担し頭頸部領域における種々の疾患の病因，発生機序，病態および治療原理について解説する。

5) ユニットの学習目標

耳鼻咽喉科分

- 一般目標 頭頸部領域における種々の疾患の病因，発生機序，病態および治療原理を理解し，考察する能力を身につける。臨床における基本的技術を理解する。
- 個別目標
- 1) 頭頸部領域の臨床解剖を図示し，各部の機能を説明できる。
 - 2) 各種検査の原理を説明できる。
 - 3) 各種検査の実施方法と判定方法を説明できる。
 - 4) 画像を読影できるようになる。
 - 5) 臨床症状から考えられる疾患を想起し，鑑別診断に必要な検査を列記できる。
 - 6) 各疾患について診断基準，治療法の概略を列記することができる。
 - 7) 頭頸部悪性腫瘍の手術方法，代表的な再建法を説明できる。
 - 8) 頭頸部悪性腫瘍の治療に使用される各種化学療法薬の特徴と副作用およびその対応について説明できる。
 - 9) 頭頸部悪性腫瘍手術後の生理機能とリハビリテーションおよび社会復帰について説明できる。
 - 10) 頭頸部悪性腫瘍患者の心理と対応について説明できる。
 - 11) 癌の告知と informed consent について考える。
 - 12) 高度先進医療に触れる。

歯口科分

一般目標 口腔領域特有の各疾患の概念とその特殊性を認識し、その検査法・治療法を系統的に学ぶ。さらに顎顔面口腔領域は咀嚼・嚥下・発音等の重要な機能をつかさどる領域であり、審美性の点から同領域への治療が患者さんの社会的存在や人格にまで影響を与えることを理解する。口腔領域の高度先進医療を含め、今後の医学・医療がどのように発展する必要があるかを展望する。

- 個別目標
- 1) 口腔領域の各疾患の概念、病因、病態を系統的に述べることができる。
 - 2) 疾患の診断要点と必要な検査法があげられる。
 - 3) 歯科・口腔領域特有の検査法の内容を説明できる。
 - 4) 各種疾患に対応した治療法を述べるができる。
 - 5) 口腔領域の高度先進医療に触れる。

7) 評価法 筆記試験 (90%), 出席 (10%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授 業 テーマ	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	5月29日(木)	I	第三講義室	寺田	講義	鼻科学	臨床症状から考えられる疾患を想起し、鑑別診断に必要な検査を列記できる。各疾患について、主要徴候、必要な検査、診断基準、治療法の概略を学習する。	アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎、鼻出血、術後性頬部のう胞、嗅覚検査、鼻腔通气度検査、鼻汁中好酸球検査、アレルギー皮内テスト、鼻粘膜抗原誘発試験	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科 鈴木淳一編 医学書院 p237-244
2	5月29日(木)	II	第三講義室	堀口	講義	臨床耳科学	中耳炎を対象にその診断法、診断にいたる過程、保存治療、手術治療を学習する。	急性中耳炎、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、滲出性中耳炎、鼓室形成術	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科 鈴木淳一編 医学書院 p197-215
3	5月29日(木)	III	第三講義室	岡本	講義	上気道免疫	上気道の感染症と上気道の免疫機構について勉強する。	上気道、粘膜免疫、細菌感染、ウイルス感染、扁桃	New耳鼻咽喉科・頭頸部外科 森山、喜多村編 金原出版
4	6月5日(木)	I	第三講義室	杉本	講義	顔面神経	顔面神経麻痺の病態、評価、検査、予後診断について学習する。	顔面神経麻痺、部位診断	新臨床耳鼻咽喉科学 第2巻-耳 第7章 顔面神経の疾患 p216-250

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授 業 テ ー マ	授 業 内 容	授業内容の key word	授業課題
5	6月5日(木)	II	第三講義室	茶 菌	講義	咽頭, 唾 液腺	咽頭・口腔・唾 液腺の臨床解剖 を理解する。耳 鼻咽喉科で扱う 唾液腺疾患, 主 に唾液腺腫瘍に ついて, 診断・ 治療法を学ぶ。	唾液腺, 唾液 腺腫瘍	標準耳鼻咽喉 科・頭頸部外 科 鈴木淳一 編 医学書院 p251-272
6	6月9日(月)	II	第三講義室	鈴木	講義	前庭	聴覚・前庭に関 する臨床解剖を 理解する。聴 覚・前庭領域で 行われる検査の 原理を理解し, 実施方法を習得 する。聴覚・前 庭疾患の診断か ら治療にいた る過程を理解す る。治療法の 概略を理解する。	前庭, 平衡機 能	標準耳鼻咽喉 科・頭頸部外 科 鈴木淳一 編 医学書院 p386-397
7	6月9日(月)	III	第三講義室	留守	講義	聴覚	聴覚全般。主に 内耳・中耳にお ける聴覚生理を 理解し, 基本的 な聴覚検査法を 学習する。解剖 ・生理・検査 法を会得すること により主な聴 覚の異常につい て診断と治療を 理解できるように 学習する。	内耳, 中耳, 聴覚検査, 難 聴, 耳鳴	標準耳鼻咽喉 科・頭頸部外 科 鈴木淳一 編 医学書院 p197-215
8	6月13日(金)	I	第三講義室	丹沢	講義	歯口科 嚢胞, 腫 瘍	口腔領域に発生 する嚢胞, 良性 腫瘍, 悪性腫瘍 の病態と治療方 法	顎嚢胞, 軟組 織の嚢胞, 齒 原性腫瘍, 口 腔癌	予習: 口腔外 科学第2版: 宮崎 正監修 (医歯薬出版) p197, 357, 714
9	6月13日(金)	II	第三講義室	鶴澤	講義	歯口科 先天異常 および後 天異常	口腔領域にみら れる先天異常と 後天異常の病態 と治療方法	萌出異常, 裂 奇形, 顎変形 症, 顎口腔領 域の症候群	予習: 口腔外 科学第2版: 宮崎 正監修 (医歯薬出版) p41

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授 業 テ マ	授 業 内 容	授業内容の key word	授業課題
10	6月16日(月)	I	第三講義室	工藤	講義	小児耳鼻 咽喉科	小児に特有な耳 鼻咽喉科疾患に ついて学習す る。	遺伝性難聴, 滲出性中耳 炎, 扁桃肥 大, アデノイ ド, 喉頭狭 窄, 食道・気 管支異物	標準耳鼻咽喉 科・頭頸部外 科 鈴木淳一 編 医学書院 p369-370
11	6月16日(月)	II	第三講義室	工藤	講義	音声・言 語と聴力 障害	音声言語障害お よび聴力障害を 起こす疾患の主 要徴候, 必要な 検査, 診断基 準, 治療法の概 略を学習する。	音声・言語障 害, 聴力障害	標準耳鼻咽喉 科・頭頸部外 科 鈴木淳一 編 医学書院 p237-282
12	6月19日(木)	II	第三講義室	花澤	講義	喉頭科学	喉頭の解剖を理 解する。臨床症 状から考えられ る疾患を想起 し, 鑑別診断に 必要な検査, 治 療法の概略を学 習する。	喉頭, 声帯, 嗄声, 声帯ポ リープ, 声帯 結節, 喉頭癌	New耳鼻咽喉 科・頭頸部外 科 森山, 喜 多村編 金原 出版 頭頸部 腫瘍外来 今野昭義編 メディカル ビュー社
13	6月19日(木)	III	第三講義室	岡本	講義	頭頸部腫 瘍	最近の診断, 治 療法の進歩を踏 まえ, 実際にど のように診断し 治療法を計画し ていくのかを考 える。頭頸部腫 瘍にはどんなも のがあるか? 種 類は? 病理学的 には?	頭頸部腫瘍の 診断, 治療計 画, 集学的治 療, 再建手術	New耳鼻咽喉 科・頭頸部外 科 森山, 喜 多村編 金原 出版 頭頸部 腫瘍外来 今野昭義編 メディカル ビュー社
14	6月20日(金)	I	第三講義室	武川	講義	顎口腔の 炎症	歯牙関連の疾 患, 菌性感染症 の病態と治療方 法	う蝕歯, 歯周 病, 菌性上顎 洞炎, 顎骨の 炎症, 組織隙	予習: 口腔外 科学第2版: 宮崎 正監修 (医歯薬出版) p133
15	6月20日(金)	II	第三講義室	横江/椎 葉	講義	口腔顔面 外傷, 粘 膜・神経 疾患	口腔粘膜疾患, 神経疾患および 口腔領域に発生 する外傷の病態 と治療方法	口内炎, 角化 性病変, 三叉 神経痛, 神経 麻痺, 歯牙破 折, 脱臼, 顎 骨骨折, 開口 障害, 顎間固 定	予習: 口腔外 科学第2版: 宮崎 正監修 (医歯薬出版) p85, 177
16	7月7日(月)	I	組織実習室	全教員	試験				

* 予習: 最新口腔外科学第4版 (医歯薬出版)

内 分 泌 ユ ニ ッ ト

- 1) ユニット名 内分泌
2) ユニット責任者 龍野 一郎

4) ユニットの概要 内分泌系は神経系と並ぶ2大調節系の一つである。これら2つの調節系は生体の内部および外部環境を監視し、生体の活動に応じた調節を行うように指令を出している。内分泌系は古典的には血液中を循環して標的器官に到達し、その器官の機能を制御する化学物質ホルモンによってその指令をだしている。このホルモンの過剰や欠乏は容易に生体の代謝・ホメオスターシスを乱し、様々な病態を惹起する。本ユニットでは内分泌・代謝系の生体制御機構を学ぶとともに、その破綻である各種疾患の病態の理解を深め、その診断と治療法を学ぶ。

5) ユニットの学習目標

一般目標 内分泌代謝疾患の全身疾患としての病態を理解し、臨床的診断、またその治療法を習得する。

- 個別目標
- 1) 動脈硬化症 動脈硬化症の発症機序と診断方法を説明できる。
動脈硬化症の危険因子を説明できる。
動脈硬化症の一次予防および二次予防とその意義を説明できる。
動脈硬化症における高脂血症の意義を説明できる。高脂血症の発症機序兎唇団方法を説明できる。
家族性高脂血症の病的意義を説明できる。
高脂血症治療の意義を説明できる。
 - 2) 肥満症 肥満の評価法を説明できる。
肥満症の定義と診断法を説明できる。
肥満症の発症機序を説明できる。
動脈硬化症における肥満症の意義を説明できる。
肥満症の治療方針について説明できる。
メタボリックシンドロームの診断と治療の意義を説明できる。
肥満症の治療効果について説明できる。
 - 3) 糖尿病の病態 血糖調節のメカニズムを説明できる。
インスリン分泌機序を説明できる。
インスリン作用を説明できる。
インスリン抵抗性の病態を説明できる。
糖尿病の診断基準を説明できる。
糖尿病の分類について説明できる。
1型と2型糖尿病の違いを説明できる。

- 1 型糖尿病の成因を説明できる。
- 2 型糖尿病の成因を説明できる。
- 遺伝子異常による糖尿病について説明できる。
- 二次性糖尿病をおこす病態を説明できる。
- 4) 糖尿病の合併症 糖尿病性網膜症, 腎症, 神経障害, 大血管症について説明できる。
- 合併症の成因を説明できる。
- 合併症の病期分類を説明できる。
- 合併症進行抑制のための血糖値のコントロール基準を説明できる。
- 糖尿病患者における急性合併症について説明できる。
- 5) 糖尿病の治療 血糖コントロールの指標について説明できる。
- 食事療法, 運動療法について説明できる。
- 経口血糖降下薬の種類と作用について説明できる。血糖自己測定の方法を説明できる。
- インスリン療法の適応と注射法を説明できる。
- 血糖自己測定の方法を説明できる。
- 特殊な病態の血糖コントロールについて説明できる。
- 糖尿病患者に合併する高血圧症, 高脂血症の治療について説明できる。
- インスリノーマの診断治療について説明できる。
- 6) 視床下部・下垂体疾患
- 視床下部・下垂体の解剖学的構造が説明できる。
- 視床下部ホルモンによる下垂体前葉ホルモンの分泌調節機構が説明できる。
- 末端肥大症患者の成長ホルモン過剰と下垂体腫瘍に伴う臨床症状が説明できる。
- 末端肥大症患者の治療法が説明できる。
- 尿崩症の病因と治療法を説明できる。
- Graves's 病の病因と破壊性甲状腺炎の病態の差を説明できる。
- Graves's 病の治療について, 適応と副作用について説明できる。
- 甲状腺機能低下症について病態を説明できる。
- 7) 骨・カルシウム代謝
- 副甲状腺ホルモンと VitaminD による骨・腎でのカルシウム代謝を説明できる。
- 副甲状腺機能亢進症の病態と治療について説明できる。
- 悪性腫瘍関連高カルシウム血症と PTH related peptide について説明できる。
- 骨粗鬆症の病態と治療について説明できる。
- 尿酸代謝と高尿酸血症の病態が説明できる。
- 痛風と無症候性高尿酸血症の治療について説明できる。
- 8) 副腎疾患
- 副腎の解剖学的構造と画像診断における MRI の特徴を説明できる。
- クッシング症候群の病態と臨床症状が説明できる。
- 原発性アルドステロン症の病態と臨床症状が説明できる。
- 褐色細胞腫の病態と臨床症状が説明できる。
- 多発性内分泌腺腫症 (MEN I, II) について臨床の特徴が説明できる。
- 多発性内分泌腺腫症と遺伝子異常について説明できる。

- 9) 加齢医学 高齢者の心理・精神の変化を理解し、対応できる。
 加齢に伴う臓器の構造と機能の変化を説明できる。
 高齢者における病態・症候・治療の特異性を説明できる
 QOL（生活の質）を考慮した上で患者の治療目標を個別に設定できる。
 遺伝性早老症の発症機序を理解し、臨床的特徴を述べるができる。
 いわゆる老年症候群について理解し説明することができる。
 高齢者における総合機能評価（CGA）を説明できる。
- 10) 甲状腺外科 甲状腺腫瘍の診断法について説明できる。
 甲状腺良性腫瘍、甲状腺癌の病態が説明できる。
 甲状腺腫瘍の手術適応・手術術式について説明できる。
 甲状腺手術後の病態を説明できる。

6) 評価法 テスト（90%）、出席（10%）

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 教科書
1	8月25日(月)	I	第三講義室	武城	講義	動脈硬化症の病態と診断、高脂血症の病態と診断	粥状硬化、発症機序、高脂血症、診断、治療、EBM	内科学、 p423-426、 1009-1014、 1041-1044、 1064-1069、 1136-1140、第 2版。文光堂
2	8月25日(月)	II	第三講義室	武城	講義	肥満症の病態と診断	肥満、肥満症、診断、合併症、内臓脂肪、メタボリックシンドローム	内科学、 p988-993、 1069-1075、 1149-1153、第 2版、文光堂
3	8月26日(火)	I	第三講義室	龍野	講義	視床下部・下垂体疾患と甲状腺疾患	尿崩症・末端肥大症・Graves病・破壊性甲状腺炎・Hashimoto病	ハリソン p2067-2078； 2094-2096； 2102-2107； 2110-2126。 Williams p219-243； 374-405； 423-447。 病態で学ぶ内分 泌学 p1-20；129-137。

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 教科書
4	8月26日(火)	II	第三講義室	龍野	講義	骨Ca代謝と尿酸代謝	原発性副甲状腺機能亢進症・悪性腫瘍関連高Ca血症・骨粗鬆症・痛風・高尿酸血症	ハリソン p2264-2280; 2287-2291; 2040-2042. Williams p1323-1341; 1384-1393. 病態で学ぶ内分泌学 p104-108; 113-116.
5	8月27日(水)	I	第三講義室	横手	講義	老年医学入門／老化から老年者診療まで	老年医学, サクセスフルエイジング, 老化, 寿命, 早老症候群, 老年症候群, 高齢者総合機能評価(CGA), 再生医療	Principle of Geriatric Medicine & Gerontology, 老年病のとりえかた, 新細胞増殖因子のバイオロジー
6	8月27日(水)	II	第三講義室	岸本	講義	病理 内分泌	下垂体, 副甲状腺, 副腎, 膵内分泌腫瘍, カルチノイド腫瘍	人体病理学 p329-347
7	8月28日(木)	I	組織実習室	岸本	実習	病理実習 内分泌		実習資料
8	8月28日(木)	II	組織実習室	岸本	実習	病理実習 内分泌		実習資料
9	8月29日(金)	I	第三講義室	西川 (龍野)	講義	副腎疾患と多発性内分泌腺腫症	クッシング症候群, 原発性アルドステロン症・褐色細胞腫・MEN I型・MEN II型	ハリソン p2136-2152; 2159-2163. Williams p525-540; p555-578; p1717-1747. 病態で学ぶ内分泌学 p29-44; p46-50.
10	8月29日(金)	II	第三講義室	長嶋	講義	甲状腺の外科	甲状腺腫瘍・甲状腺癌・診断法・手術適応・手術術式・術後合併症	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 教科書
11	9月1日(月)	II	第三講義室	桜井	講義	糖尿病の病態と診断	1型糖尿病, 2型糖尿病 診断基準, 診断分類, 病態, インスリン分泌, インスリン抵抗性, 糖代謝	内科学, ダイナミックメディスン, ジョスリン「糖尿病学」
12	9月2日(火)	I	第三講義室	桜井	講義	糖尿病の治療	生活習慣の改善, 運動療法, 食事療法, 薬物療法, インスリン療法, インスリンノーマ	内科学, ダイナミックメディスン, ジョスリン「糖尿病学」
13	9月2日(火)	II	第三講義室	横手	講義	糖尿病の合併症	糖尿病性合併症, 糖尿病性網膜症, 糖尿病性腎症, 糖尿病性神経障害, 大血管症, 糖尿病ケトアシドーシス, 非ケトン性高浸透圧性糖尿病性昏睡, 低血糖	内科学, ダイナミックメディスン, ジョスリン「糖尿病学」
14	9月24日(水)	I	組織実習室	龍野		試験		

- 7) 教 科 書 ハリソン「内科学」第15版 メデイカルサイエンスインターナショナル
 Williams Textbook of Endocrinology (10th edition) Laren, SAUNDERS
 「病態で学ぶ内分泌学」 監訳 宮地幸隆他, 丸善
 内科学, 第2版, 文光堂
 ダイナミックメディスン 西村書店
 ジョスリン「糖尿病学」第二版 医学書院MYW
 Principle of Geriatric Medicine & Gerontology (5th ed.), Hazzard et al, McGraw Hill
 標準外科学／小柳仁, 松野正紀, 北島政樹編, 医学書院
 NEW外科学／出月康夫, 古瀬彰, 杉町圭蔵編, 南江堂
 病理「人体病理学」 石倉浩監訳, 南江堂
- 配 布 資 料 別添

アレルギー・膠原病ユニット

- 1) ユニット名 アレルギー・膠原病
2) ユニット責任者 渡邊紀彦

4) ユニットの概要 アレルギー疾患、膠原病・自己免疫疾患は免疫系の異常による全身性の疾患であり、アレルギー・膠原病学はこれら疾患の病因や病態を究明し、診断と治療を総合的に進める臨床医学の1つの重要な分野である。アレルギー疾患、膠原病の病態、診断、治療を理解するためには、免疫学をはじめ病理学、生理学、薬理学など基礎医学全般の習得理解が必須である。その上で各アレルギー疾患、膠原病についての病因、病態生理、診断と治療に必要な基本的知識を習得し、代表的な疾患について臨床実習を通じて学習する。

5) ユニットの学習目標

- 一般目標 アレルギー疾患の発症機構と病態生理について理解する。
- 個別目標
- 1) 免疫系の構成と免疫担当細胞（リンパ球と抗原提示細胞）の役割を理解する。
 - 2) アレルギー疾患の発症に関与する因子を説明できる。
 - 3) アレルギー性炎症、アレルギー反応の4型、IgE抗体産生、好酸球増多について理解する。
 - 4) アレルギーのin vitroとin vivo診断法について理解する。
 - 5) アレルギー性炎症の免疫療法と抗炎症療法について理解する。
- 一般目標 気管支喘息の成因、病態、診断、治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 気管支喘息の病態と発症機序を理解する。
 - 2) 気管支喘息の臨床症状、検査法、診断について説明できる。
 - 3) 気管支喘息の病型、重症度、鑑別診断を説明できる。
 - 4) 気管支喘息の治療ガイドラインと長期管理について理解する。
 - 5) 気管支喘息の治療薬と減感作療法について説明できる。
- 一般目標 気管支喘息関連疾患の成因、病態、診断、治療について理解する。
- 個別目標
- 1) アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の病態、臨床症状、診断、治療について理解する。
 - 2) アレルギー性肉芽腫性血管炎の病態、臨床症状、診断、治療について理解する。
 - 3) アスピリン喘息の病態、臨床的特徴、診断、治療について理解する。
- 一般目標 アナフィラキシーの成因、病態、診断、治療について理解する。
- 個別目標
- 1) アナフィラキシーの原因物質と病態を説明できる。
 - 2) アナフィラキシーの臨床症状を説明できる。
 - 3) アナフィラキシーの治療法を説明できる。
 - 4) アナフィラキシーの予防と検査方法を説明できる。

- 5) IgE非依存性アナフィラキシーについて理解する。
- 一般目標 過敏性肺炎の成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 過敏性肺炎の病態と原因抗原について説明できる。
 - 2) 過敏性肺炎の診断と検査法について説明できる。
 - 3) 過敏性肺炎の症候，臨床経過，鑑別診断について説明できる。
 - 4) 過敏性肺炎の治療方針とステロイド治療の適応を説明できる。
- 一般目標 好酸球増多症候群（Hyper eosinophilic syndrome）の成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 好酸球増多症候群の病態と臓器傷害機序について説明できる
 - 2) 好酸球増多症候群の症候，診断，鑑別診断について説明できる。
 - 3) 好酸球増多症候群の治療法を説明できる。
 - 4) PIE症候群について説明できる。
- 一般目標 薬物アレルギーの成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 薬物アレルギーの病態と臓器傷害機序について説明できる。
 - 2) 薬物アレルギーの病型と臨床症状について説明できる。
 - 3) 薬物アレルギーの診断と検査方法を説明できる。
 - 4) 薬物アレルギーの治療法を説明できる。
- 一般目標 膠原病・自己免疫疾患の発症機構と病態生理について理解する。
- 個別目標
- 1) 膠原病の概念，免疫病理について理解する。
 - 2) 自己免疫疾患の発症機構，リンパ球活性化，臓器傷害機序について理解する。
 - 3) 自己抗体の特異性と診断的意義を説明できる。
- 一般目標 膠原病および類縁疾患の主要症状を病態生理をもとに理解する。
- 個別目標
- 1) 膠原病の臨床症状，臓器病変，検査所見から診断を説明できる。
 - 2) 皮疹と不明熱の鑑別診断を説明できる。
 - 3) ステロイドと免疫抑制剤の使用法と副作用について説明できる。
 - 4) 日和見感染症の特徴，病因，臨床症状，治療を説明できる。
- 一般目標 全身性エリテマトーデス（SLE）の成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) SLEの主要症候，臨床経過，鑑別診断について説明できる。
 - 2) SLEの臓器病変の分類と活動性の評価について説明できる。
 - 3) SLEの自己抗体について説明できる。
 - 4) CNSループスの症候，病態，診断，検査法，治療について理解する。
 - 5) SLEの治療法の変遷と予後について理解する。
 - 6) SLEのステロイド治療の適応と投与法を説明できる。
 - 7) SLEの免疫抑制剤による治療の適応と投与法を説明できる。
- 一般目標 多発性筋炎・皮膚筋炎の成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 多発性筋炎・皮膚筋炎を臨床症状と検査所見から診断できる。
 - 2) 多発性筋炎・皮膚筋炎の病型，病因，重症度を説明できる。
 - 3) 多発性筋炎・皮膚筋炎の間質性肺炎および他臓器病変，癌との関連について理解する。
 - 4) 多発性筋炎・皮膚筋炎の自己抗体について説明できる。
 - 5) 多発性筋炎・皮膚筋炎のステロイドと免疫抑制剤による治療の適応と投与法を説明できる。

- 一般目標 全身性硬化症の成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 全身性硬化症を臨床症状と検査所見から診断できる。
 - 2) 全身性硬化症の病型，病因，重症度を説明できる。
 - 3) 全身性硬化症の肺線維化，血管病変および他臓器病変について理解する。
 - 4) 全身性硬化症の自己抗体と臓器病変について説明できる。
 - 5) 全身性硬化症のステロイド治療の適応と投与法を説明できる。
- 一般目標 慢性関節リウマチの成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 慢性関節リウマチの臨床症状，検査所見，X線所見から診断できる。
 - 2) 慢性関節リウマチの病型，重症度，臨床経過を説明できる。
 - 3) 慢性関節リウマチの肺線維化と他臓器病変について理解する。
 - 4) 慢性関節リウマチの薬物治療について説明できる。
 - 5) 慢性関節リウマチの外科的治療，リハビリテーションについて理解する。
 - 6) 悪性関節リウマチの病態，臓器病変，診断法，治療について理解する。
- 一般目標 血管炎の成因，病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) 血管炎の主要症状と分類を説明できる。
 - 2) 多発性動脈炎の成因，病態，診断，治療について理解する。
 - 3) 顕微鏡的多発血管炎，ANCA関連血管炎，Wegener肉芽腫症と自己抗体の意義について説明できる。
 - 4) 大動脈炎症候群の成因，病態，診断，治療について説明できる。
 - 5) 血管炎のステロイドおよび免疫抑制剤による治療の適応と投与法を説明できる。
- 一般目標 シェーグレン症候群の病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) シェーグレン症候群を臨床症状と検査所見から診断できる。
 - 2) シェーグレン症候群の検査法について説明できる。
 - 3) シェーグレン症候群の合併症について説明できる。
- 一般目標 混合性結合組織病（MCTD）の病態，診断，治療について理解する。
- 個別目標
- 1) MCTDを臨床症状と検査所見から診断できる。
 - 2) MCTDの臓器病変と自己抗体について説明できる。
 - 3) MCTDの治療について説明できる。
- 6) 評価法 出席・課題・発言（20%），筆記試験（80%）

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	8月25日(月)	Ⅲ	第三講義室	中島	講義	アレルギー疾患の成因と診断，特徴	アレルギー性炎症，Th 2細胞，IL-4，IL-5，IgE抗体産生，好酸球増多	下記参考書の該当ページ
2	8月25日(月)	Ⅳ	第三講義室	中島	講義	気管支喘息	気道炎症，気道過敏性，吸入ステロイド，気管支拡張薬	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
3	8月27日(水)	Ⅲ	第三講義室	須藤	講義	気管支喘息関連疾患, 過敏性肺炎	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症, アレルギー性肉芽腫性血管炎, アスピリン喘息, 夏型過敏性肺炎	
4	8月27日(水)	Ⅳ	第三講義室	中島	講義	アナフィラキシー, 薬物アレルギー, 他のアレルギー疾患	アナフィラキシーの原因物質, IgE抗体, 肥満細胞, 好塩基球, メディエータ, 薬物アレルギーの病型	
5	8月28日(木)	Ⅲ	第三講義室	渡邊	講義	膠原病, 自己免疫疾患の成因と診断, 自己抗体の種類と臨床的意義	自己免疫応答, 自己抗原, トレランス, 自己抗体	
6	8月28日(木)	Ⅳ	第三講義室	渡邊	講義	全身性エリテマトーデス	ループス腎炎の病型, CNSループス, 自己抗体, ステロイド治療	
7	8月29日(金)	Ⅲ	第三講義室	加々美	講義	多発性筋炎, 皮膚筋炎, 強皮症	筋炎の分類, 自己抗体, 間質性肺炎, 肺線維症	
8	8月29日(金)	Ⅳ	第三講義室	廣瀬	講義	その他の膠原病・膠原病類縁疾患 (MCTD, 成人スチル病, シェーグレン症候群, ベーチェット病, 抗リン脂質症候群)	レイノー徴候, 炎症反応, 手指腫脹, 乾燥症状, 血栓症状	
9	9月3日(水)	Ⅰ	第三講義室	倉沢和宏 (非常勤講師)	講義	関節リウマチ	滑膜炎, リウマチ因子, TNF, 血管炎	
10	9月3日(水)	Ⅱ	第三講義室	鈴木	講義	関節リウマチの画像診断, 外科的治療, リハビリテーション	関節リウマチの手術適応, 術式	

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
11	9月5日(金)	I	第三講義室	池田	講義	大動脈炎, 多発動脈炎, 他の血管炎	血管炎の分類, 高安血管炎, 多発性動脈炎, 顕微鏡的多発血管炎, ANCA 関連血管炎, Wegener 肉芽腫症	
12	9月5日(金)	II	第三講義室	岸本	CPC	膠原病のCPC		CPC 資料
13	9月29日(月)	I	組織実習室	アレ膠内整外	試験			

- 7) 参 考 書 「臨床アレルギー学」宮本昭正監修, 南江堂
「総合アレルギー学」福田健編, 南山堂
「リウマチ入門」アメリカ関節炎財団編
「内科学」杉本恒明/矢崎義雄編, 朝倉書店

腎・泌尿器ユニット

- 1) ユニット名 腎・泌尿器
2) ユニット責任者 小川 真 今本 敬

- 4) ユニットの概要 腎・泌尿器系臓器の最も重要な役割は体液の恒常性維持である。腎が、莫大な血漿の中から代謝上不要となった老廃物質や、水・電解質を選択して尿を作り、これが左右の尿管を通過して膀胱に蓄積され、適切な時期に体外に排泄されることにより、はじめてその機能は果たされ、社会的な生活も可能となる。したがってこのシステムの傷害は、基本的な生命の維持、さらには社会生活に重大な影響を及ぼす。本コースでは、このシステムが傷害された場合に生じる病態を学ぶとともに、これらの傷害を惹起する多彩な疾患の症候・診断・治療法について学習する。

腎・泌尿器臓器の構造と機能を理解し、これらの臓器の解剖学的・機能学的異常に基づく病態と、診断・治療に関する知識を習得する。

5) ユニットの学習目標

一般目標 泌尿器臓器の構造と機能を理解し、その異常によってもたらされる病態を理解し、主な腎・泌尿器疾患の診断・治療を学ぶ。

- 個別目標
- 1) 腎・泌尿器系臓器の構造の概要を説明できる。
 - 2) 腎・泌尿器系臓器の生理的機能の概要を説明できる。
 - 3) 腎に作用するホルモン・血管作動性物質の作用を説明できる。
 - 4) 糸球体濾過機能検査の概要を説明できる。
 - 5) 腎生検の適応とその病理組織診断法の概要を説明できる。
 - 6) 尿細管機能検査の概要を説明できる。
 - 7) 原発性糸球体疾患の原因、症候、診断、治療について説明できる。
 - 8) ネフローゼ症候群の病態、診断、治療の概要を説明できる。
 - 9) 全身性疾患による腎障害の原因と治療について説明できる。
 - 10) 水・電解質異常の原因、症候、診断、治療の概要について説明できる。
 - 11) 酸塩基平衡異常の診断と治療の概要について説明できる。
 - 12) 尿細管・間質性腎疾患の原因・病態・診断・治療の概要を説明できる。
 - 13) 急性腎不全の原因・症候・診断・治療の概要を説明できる。
 - 14) 慢性腎不全の原因・症候・診断・治療の概要を説明できる。
 - 15) 腎不全の治療（透析・腹膜還流・移植）の概要を説明できる。
 - 16) 尿路感染症・腎盂腎炎の症候・診断・治療について説明できる。
 - 17) 腎・尿路系の主な先天性疾患の症候・診断・治療について説明出来る。

- 18) 腎・泌尿器系臓器外傷の症候・診断・治療について説明出来る。
 19) 腎・泌尿器系の悪性腫瘍の症候・診断と治療について説明出来る。
 20) 尿路結石症の症候・診断・治療について説明できる。
 21) 排尿・蓄尿障害の症候・診断・治療について説明できる。
 22) 前立腺疾患の症候・診断・治療について説明できる。

6) 評価法 CBTタイプのテスト (100%)。

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	9月4日(木)	I	第三講義室	泌尿器	講義	泌尿器科先天性疾患	嚢胞腎, 馬蹄腎, 腎盂尿管移行部閉塞症, 重複腎盂尿管, 膀胱尿管逆流症, 尿道下裂	標準泌尿器科 先天性および小 児泌尿器科疾患
2	9月4日(木)	II	第三講義室	泌尿器	講義	尿路感染症	腎盂腎炎, 膀胱炎, 前立腺炎, 精巣上体炎, STD	標準泌尿器科 尿路・性器の炎 症性疾患
3	9月8日(月)	II	第三講義室	泌尿器	講義	排尿および蓄尿の障害	神経因性膀胱(核上性, 核下性, 末梢性), 前立腺肥大症, 過活動膀胱	標準泌尿器科 下部尿路機能障 害
4	9月8日(月)	III	第三講義室	泌尿器	講義	泌尿器科外傷	腎外傷, 尿管損傷, 膀胱損傷, 尿道損傷	標準泌尿器科 尿路・性器の損 傷と異物
5	9月9日(火)	I	第三講義室	小川	講義	腎臓の構造と機能	ネフロン各部の構造と機能, 糸球体濾過機能の機序, 尿管再吸収機序	標準腎臓病学 疾患各論 I 6 ネフローゼ 症候群
6	9月9日(火)	II	第三講義室	上田	講義	原発性糸球体腎炎とネフローゼ症候群	急性糸球体腎炎, 慢性糸球体腎炎ネフローゼ症候群の発症機序, 病理学的特徴, 病態生理, 治療法の概要	標準腎臓病学 疾患各論 I 6 ネフローゼ 症候群 疾患各論 II 9 原発性糸球 体疾病
7	9月10日(水)	I	第三講義室	泌尿器	講義	泌尿器科悪性疾患 I	腎盂尿管癌, 膀胱癌	標準泌尿器科 尿路・性器の損 傷と異物

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
8	9月10日(水)	Ⅱ	第三講義室	泌尿器	講義	泌尿器科悪性疾患Ⅱ	腎癌, 副腎癌	標準泌尿器科 泌尿器科の腫瘍
9	9月10日(水)	Ⅲ	第三講義室	泌尿器	講義	尿路結石症	上部尿路結石症, 下部尿路結石症, 蔞酸カルシウム結石, 尿酸結石, 感染性結石, 体外衝撃波結石破碎術	標準泌尿器科 尿路結石症
10	9月11日(木)	Ⅰ	第三講義室	岸本	講義	尿路系腫瘍の病理	腎癌, 膀胱癌	「人体病理学」 南江堂 p374, p378
11	9月11日(木)	Ⅱ	第三講義室	秋草	講義	糸球体腎炎の病理	糸球体腎炎	「人体病理学」 南江堂 p350-371
12	9月12日(金)	Ⅰ	第三講義室	小川	講義	高血圧と腎血管病変	血圧と腎臓, 虚血性腎疾患, 腎硬化症, 腎血管性高血圧	標準腎臓病学 疾患各論Ⅱ 11 腎血管性疾患
13	9月12日(金)	Ⅱ	第三講義室	上田	講義	薬剤と尿細管・間質性腎疾患	急性尿細管間質性腎炎, 慢性尿細管間質性腎炎, 中毒性腎症, 薬剤性腎症	標準泌尿器科 泌尿器科の腫瘍
14	9月16日(火)	Ⅰ	第三講義室	小川	講義	水・電解質・酸塩基平衡異常	脱水, 溢水, 低ナトリウム血症, 高ナトリウム血症, アシドーシス, アルカローシス	体液異常と腎臓の病態生理メ ディカル・サイ エンス・イン ターナショナル カローシス
15	9月16日(火)	Ⅱ	第三講義室	上田	講義	全身性疾患と腎障害	糖尿病性腎症, ループス腎炎, ANCA関連腎症, アミロイドーシス, 腎血管性疾患	標準腎臓病学 疾患各論Ⅱ 10 尿細管間質性腎炎
16	9月18日(木)	Ⅰ	組織実習室	岸本	病理学実習	病理組織標本の顕微鏡観察		
17	9月18日(木)	Ⅱ	組織実習室	岸本	病理学実習	病理組織標本の顕微鏡観察		

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
18	9月19日(金)	I	第三講義室	小川	講義	慢性腎不全と急性腎不全	腎不全の鑑別 (腎前性, 腎実 質性, 腎後性) 急性腎不全(尿 細管壊死, 乏尿 期, 利尿期) 慢性腎不全(腎 性貧血, 尿毒 症, 腎性骨異栄 養症, 血液透 析)	標準腎臓病学 疾患各論 I 7 急性腎不全 疾患各論 I 8 慢性腎不全
19	9月19日(金)	II	第三講義室	岸本	CPC	剖検症例検討		
20	10月6日(月)	I	第三講義室	試験	試験			

7) 教 科 書

標準腎臓病学 医学書院
腎臓病学 (NIM lecture) 第3版 医学書院
標準泌尿器科学 第7版 医学書院
人体病理学 南江堂
新病理学各論 南山堂

参 考 書

尿路結石症外来 Medical view
体液異常と腎臓の病態生理 メディカル・サイエンス・インターナショナル
よくわかる病態生理4 腎疾患・水電解質異常

生殖・周産期・乳房ユニット

- 1) ユニット名 生殖・周産期・乳房
2) ユニット責任者 生水 真紀夫

4) ユニットの概要 生殖，妊娠，分娩および哺乳は哺乳類であるヒトの種の保存に必須の古来変わらぬ現象である。しかし少子高齢化社会の到来，社会環境の欧米化に伴い乳癌，卵巣癌，子宮体癌の増加など疾病の変化は著明である。また体外受精・胚移植等の生殖医療技術の進歩は目覚ましく，医の倫理を含めて新たな対応が求められている。本ユニットでは生殖・周産期・乳房の形態，発生，発育およびその生理，病理，病態の基礎的知識と共に現代社会のニーズに対応した実際の臨床を学ぶ。

5) ユニットの学習目標

一般目標 生殖系の構造と機能を理解し，生殖器及び乳房に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。妊娠，分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに，母性保健，生殖医療のあり方を学ぶ。

- 個別目標
- 1) ① 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。
② 男性生殖器の発育の過程を説明できる。
③ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。
④ 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。
⑤ 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。
⑥ 精巣と前立腺の検査法（超音波検査，CT，MRI）を説明し，結果を解釈できる。
 - 2) ① 男性不妊を概説できる。
② 精液検査所見を説明できる。
③ 勃起障害と射精障害を概説できる。
 - 3) ① 下部尿路排尿障害を説明できる。
② 前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。
③ 前立腺癌の診断と治療を説明できる。
 - 4) ① 精巣癌を概説できる。
 - 5) ① 女性生殖器（外陰，会陰，膣，子宮，子宮支持組織，卵巣，卵管，骨盤骨，骨盤底，Douglas窩，Bratholin腺，Skene腺）の形態と機能を説明できる。
② 女性生殖器の発育の過程を説明できる。
 - 6) ① 性周期（排卵，子宮内膜の周期性変化，月経，性器外周期，基礎体温）発現と排卵の機序を説明できる。
 - 7) ① 思春期における生殖器の成熟（二次性徴，月経開始，発育急伸（growth spurt））について

て説明できる。

- ② 月経異常の原因と病態を説明できる。
- ③ 卵巣機能障害を概説できる。
- 8) ① 不妊症の系統診断と治療（含む体外受精）を説明できる。
- 9) ① 子宮筋腫・子宮腺筋症の症候，診断と治療を概説できる。
 - ② 子宮内膜症の症候，診断と治療を説明できる。
- 10) ① 子宮癌の症候，診断と治療を概説できる。
 - ② 女性の性ホルモンの合成・代謝経路作用を説明できる。
- 11) ① 卵巣腫瘍の分類と症候，診断と治療を概説できる。
- 12) ① 外陰，膣と骨盤内感染症の症候，診断と治療を説明できる。
 - ② 絨毛性疾患（胞状奇胎，絨毛癌）の診断，治療と管理を説明できる。
- 13) ① 妊娠に伴う身体的変化を概説できる。
 - ② 妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。
 - ③ 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。
 - ④ 正常妊娠の経過を説明できる。
- 14) ① 妊娠の診断法を説明できる。
 - ② 正常分娩の経過を説明できる。
 - ③ 産褥の過程を説明できる。
- 15) ① 胎児発育・成熟・生理機能の検査について説明できる。
- 16) ① 妊娠の異常（流産，子宮外妊娠，妊娠中毒症）について説明できる。
- 17) ① 妊娠の異常（多胎妊娠，前置胎盤，過期妊娠）について説明できる。
- 18) ① 分娩の異常（児頭骨盤不均衡，骨盤位，弛緩出血）について説明できる。
- 19) ① 産科的救急治療・処置ならびに産褥の異常について説明できる。
- 20) ① 乳房の構造と機能を説明できる。
 - ② 成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。
 - ③ 乳房の診察の要点と手順を説明できる。
 - ④ 乳房腫瘍の画像診断（乳房撮影，超音波検査など）を概説できる。
 - ⑤ 乳頭異常分泌と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な原因を列挙できる。
- 21) ① 良性乳腺疾患の種類を列挙できる。
 - ② 乳癌の危険因子，症候，診断法について説明できる。
 - ③ 乳癌の治療法について説明できる。

6) 評 価 法 試験 (80%)，出席 (20%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
1	9月29日(月)	IV	第三講義室	乳腺甲状腺 外科長嶋	講義	乳房の構造と機能, 成長に伴う乳房の変 化, 乳腺に対するホル モンの作用, 良性 乳腺疾患, 乳房腫 瘍, 乳房の腫脹・疼 痛・変形		
2	9月29日(月)	V	第三講義室	乳腺甲状腺 外科長嶋	講義	乳癌の危険因子・症 候・診断・治療と予 後		
3	10月1日(水)	I	第三講義室	泌尿器科 市川	講義	男性生殖器の発育, 形態と機能, 検査 法, アンドロロジー	Wolf管, 精細 管, 直腸診, 超 音波検査	標準泌尿器科学 第7版
4	10月1日(水)	II	第三講義室	泌尿器科 市川	講義	男性不妊症, 男性性 機能障害	精液検査, 無精 子症, 精索静脈 瘤, 勃起障害, PDE 5 阻害薬, 射精障害	標準泌尿器科学 第7版
5	10月2日(木)	I	第三講義室	泌尿器科 市川	講義	前立腺肥大症, 前立 腺癌	尿流測定, 国際 前立腺症状スコ ア, PSA, 内分 泌療法, 前立腺 肥大症, 前立腺 癌	標準泌尿器科学 第7版, 前立腺 癌スクリーニン グ AtoZ
6	10月2日(木)	II	第三講義室	泌尿器科 市川	講義	停留精巣, 陰囊内疾 患, 精巣悪性腫瘍	停留精巣, セミ ノーマ, 非セミ ノーマ, 精索捻 転症	標準泌尿器科学 第7版
7	10月3日(金)	I	第三講義室	産科婦人科 生水	講義	妊娠・分娩・産褥で の母体の解剖学的変 化・形態学的変化, 妊娠に伴う身体的変 化, 胎児胎盤系の発 達過程での機能・形 態的变化, 正常妊娠 の経過	妊娠・分娩・産 褥, 解剖学的変 化・形態学的変 化, 妊娠に伴う 身体的変化, 胎 児胎盤系, 正常 妊娠	a p242-270
8	10月3日(金)	II	第三講義室	産科婦人科 生水	講義	妊娠の診断法, 正常 分娩の経過, 産褥の 過程	血中ホルモン (hCG), 超音 波断層法, 悪 心・嘔吐, 回旋	a p271-278
9	10月6日(月)	II	第三講義室	産科婦人科 生水	講義	胎児・胎盤検査法の 意義	超音波検査法, 分娩監視装置	b p1095-1110, p1111-1139

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
10	10月6日(月)	Ⅲ	第三講義室	産科婦人科 生水	講義	主な異常妊娠の病態 1	流早産, 子宮外 妊娠, 妊娠中毒 症	予習: b p689-727, 自習課題: b p883-910, p567-618
11	10月7日(火)	I	第三講義室	産科婦人科 生水	講義	主な異常妊娠の病態 2	多胎妊娠, 前置 胎盤, 常位胎盤 早期剥離, 過期 妊娠, 偶発合併 症	予習: b p765-810, 自習課題: b p509-535, p620-635, p1141-1513
12	10月7日(火)	Ⅱ	第三講義室	産科婦人科 生水	講義	主な異常分娩の病態	微弱陣痛, 児頭 骨盤不均衡, 骨 盤位, 回旋異 常, 弛緩出血, 分娩損傷	予習: Williams Ob- stetrics 21th edi- tion p509-535, 自習課題: Williams Ob- stetrics 21th edi- tion p425-450, p451-467, p635-652
13	10月8日(水)	I	第三講義室	産科婦人科 生水	講義	産科救急の病態と治 療, 主な異常産褥の 病態	帝王切開術, 吸 引分娩, 産科出 血DIC, 子 宮 復古不全, 産褥 熱	予習: b p537-563, p486-506, 自習課題: b p652-663, p671-688
14	10月8日(水)	Ⅱ	第三講義室	産科婦人科 松井	講義	女性生殖器の形態と 機能, 生殖腺の発生 と性分化, 女性生殖 器の発育, 女性内外 生殖器の先天異常	外性器, 内性 器, Muller管, SRY, テストス テロン, Muller 管抑制因子, 原 始生殖細胞	a p2-8, p49-50
15	10月9日(木)	I	第三講義室	産科婦人科 松井	講義	性周期発現と排卵の 機序	FSH, LH, 卵 胞, 卵巢周期, 子宮周期	a p10-48
16	10月9日(木)	Ⅱ	第三講義室	産科婦人科 松井	講義	思春期, 閉経, 月経 異常	二次性徴, 無月 経, ホルモン補 充療法	a p10-48
17	10月10日(金)	I	第三講義室	産科婦人科 木原	講義	不妊症の系統診断と 治療	不妊症, 人工授 精, 体外受精, 胚移植	a p175-199

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
18	10月10日(金)	Ⅱ	第三講義室	産科婦人科 松井	講義	子宮筋腫・子宮腺筋症の症候, 診断と治療, 子宮内膜症の症候, 診断と治療, 腹痛, 貧血, 性交痛	子宮筋腫・子宮腺筋症, 子宮内膜症, 腹痛, 貧血, 性交痛	a p86-112
19	10月10日(金)	Ⅲ	第三講義室	産科婦人科 松井	講義	子宮癌の症候, 診断と治療	子宮頸癌, 子宮体癌, 不正性器出血	a p77-86
20	10月14日(火)	Ⅰ	第三講義室	産科婦人科 松井	講義	卵巣腫瘍の分類と症候, 診断と治療, 腹部膨隆, 腫瘤	良性卵巣腫瘍, 悪性卵巣腫瘍	a p123-139
21	10月14日(火)	Ⅱ	第三講義室	産科婦人科 松井	講義	外陰, 膣と骨盤内感染症の症候, 診断と治療, 絨毛性疾患の診断, 治療と管理, 膣分泌物の増量	外陰炎, 膣炎, 骨盤内感染症の症候, 絨毛性疾患の診断, 膣分泌物	a p61-69, p152-162
22	10月15日(水)	Ⅰ	第三講義室	病態病理 石田	講義	病理 乳腺	乳腺腫瘍, 線維嚢胞性変化	「人体病理学」 石倉浩監訳, 南江堂 p421-431
23	10月15日(水)	Ⅱ	第三講義室	病態病理 窪沢	病理	男性生殖器	精巣, 前立腺の病理	「人体病理学」 石倉浩監訳, 南江堂 p383-p393
24	10月16日(木)	Ⅰ	第三講義室	病態病理 永井	講義	子宮の病理	異形成, HPV, 剥離細胞像	「人体病理学」 南江堂 p395-415
25	10月16日(木)	Ⅱ	第三講義室	病態病理 永井	講義	卵巣の病理	卵巣腫瘍	「人体病理学」 南江堂 p395-415
26	10月17日(金)	Ⅰ	組織実習室	病態病理 永井・岸本	実習	病理標本観察		
27	10月17日(金)	Ⅱ	組織実習室	病態病理 永井・岸本	実習	病理標本観察		
28	11月10日(月)	Ⅰ	組織実習室	全教員	試験			

* : 予 習 : 標準産科婦人科学第2版(a), Williams Obstetrics 21th edition(b)

自習課題 : Current Obstetrics & Gynecologic Diagnosis & Treatment 9th Edition, Novak's Gynecology 12th Edition

- 7) 教科書 標準産科婦人科学第2版, 望月真人監修, 医学書院
LANGE Williams Obstetrics 21th ed,
標準外科学／小柳仁, 松野正紀, 北島政樹編, 医学書院
NEW外科学／出月康夫, 古瀬彰, 杉町圭蔵編, 南江堂
標準泌尿器科学第7版／小磯謙吉監修, 医学書院
前立腺癌スクリーニング A to Z／市川智彦, 鈴木和浩編, メジカルビュー社
前立腺癌のすべて／伊藤晴夫編, メジカルビュー社
「人体病理学」 石倉浩監訳, 南江堂
- 参考書 授業課題 (予習：標準産科婦人科学第2版 (a), Williams Obstetrics 21th edition (b)
自習課題：Current Obstetrics & Gynecologic Diagnosis & Treatment 9th Edition,
Novak's Gynecology 12th Edition)

麻酔・救急ユニット

- 1) ユニット名 麻酔・救急
- 2) ユニット責任者
- 3) ユニット期間 9月17日～10月27日

5) ユニットの概要 麻酔は、当初手術中の痛みに代表される苦痛を軽減する方法の開発から始まった。現在は痛みのみならず、周術期の呼吸・循環管理、これらを可能にするためのモニターの開発など様々な分野へと進化してきた。手術中の疼痛管理に関しても、当初は笑気・エーテルなどによる吸入麻酔が主体であったが、局所麻酔薬を用いた各種ブロックや硬膜外麻酔・腰椎麻酔などが行われるようになってきている。これらの技術を基礎に、最近では危機管理に関する研究、痛みに関してはペインクリニック・緩和医療など多岐にわたって発展してきている。また、救急医学の本質は、生命危機に陥った患者の救命処置とそれに引き続く重症患者管理（critical care）と位置付けられる。医学の発達に伴い、本来全ての医師が施行できなければならない救命処置や全身管理が、専門化・細分化された医学の中でないがしろにされていた。これを専門に行う救急医が誕生し、その学問的裏付けとしての救急医学が発展してきたのは時代の必然性といえる。救急医学では、心肺蘇生、クリティカル・ケア、集中治療、侵襲に対する生体反応、外傷、中毒、災害医療など多彩な側面をもっている。今回の講義では、時間の関係で現在の麻酔・救急の現状を網羅することは出来ないが、臨床実習を行うにあたって最低必要な知識を理解できるように、基礎医学で学んだ知識を基に学習していくこととなる。

6) ユニットの学習目標

一般目標 周術期に生じる病態を理解し、その管理法の実際を学ぶ。また、救急患者の初療に必要な、救急蘇生法、呼吸・循環管理、輸液・栄養管理について理解する。また、ショックやSIRS・敗血症、外傷、熱傷、中毒、急性臓器不全、などの病態について理解する。さらに、これらの病態に対する人工補助療法をはじめとする治療法について理解する。

- 個別目標
- 1) 麻酔の歴史を学ぶことによって、麻酔の概念を理解する。
 - 2) 呼吸管理の概念と意義を理解する。
 - 3) 麻酔に伴う循環動態の変動を理解する。
 - 4) 麻酔の機序と麻酔器の構造を理解する。
 - 5) モニタリングの麻酔における有用性を理解する。
 - 6) 術前患者管理の重要性を理解する。
 - 7) 吸入麻酔法・静脈麻酔法を理解する。
 - 8) 筋弛緩薬の種類と作用機序、臨床における使用上注意すべき事柄を理解する。

- 9) 局所麻酔薬の作用機序・臨床使用法を理解する。
- 10) 全身麻酔の合併症と術後患者管理を理解する。
- 11) 痛みの整理・薬理を理解する。
- 12) 痛みに関する基礎知識に基づいた痛みの治療法（ペインクリニック）を理解する。
- 13) 救急蘇生法の目的、適応を理解する。
- 14) 一次救命処置、二次救命処置の施行方法について理解する。
- 15) 救急患者の診断のための、緊急検査・緊急画像診断について理解する。
- 16) ショック・SIRS・敗血症の病態を理解し、これらの病態に対する治療について理解する。
- 17) 外傷・熱傷の病態と治療について理解する。
- 18) 急性中毒、環境異常による病態について理解する。
- 19) 災害医療とトリアージについて理解する。
- 20) 重症患者の呼吸・循環管理について理解する。
- 21) 重症患者の輸液・栄養管理について理解する。
- 22) 急性腎不全、急性肝不全の病態を理解し、これらに対する人工補助療法について理解する。
- 23) 救急患者の診断のための、緊急検査・緊急画像診断について理解する。
- 24) 救急外来でよく遭遇する症候と、その対応について理解する。
- 25) 病院前救護（プレホスピタル・ケア）について理解する。
- 26) 末期医療・緩和医療の現状を理解する。

- 7) 評価法
- 1) 授業の出席、発言状況（10%）
 - 2) ユニット試験（90%）

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
1	9月17日(水)	I	第三講義室	西野	講義	麻酔の概念と麻酔薬・麻酔前投薬	麻酔の歴史、鎮静、鎮痛、筋弛緩、健忘、鎮静薬、全身麻酔、局所麻酔	p3-82
2	9月17日(水)	II	第三講義室	西野	講義	吸入麻酔・静脈麻酔の適応と気管内挿管	吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、筋弛緩薬、上気道	p83-147
3	9月22日(月)	II	第三講義室	磯野	講義	バイタルサインの見方	血圧、脈拍、体温、心電図、尿量	p173-247
4	9月22日(月)	III	第三講義室	磯野	講義	手術の危険因子と術後合併症	術前合併症、出血、低酸素血症、誤嚥、睡眠時無呼吸症候群	p173-247
5	9月24日(水)	II	第三講義室	篠塚	講義	各科麻酔	腹部外科、胸部外科、心血管外科、脳神経外科、小児外科、産科	p227-317

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
6	9月25日(木)	I	第三講義室	青江	講義	局所麻酔, 硬膜外麻酔, 腰椎麻酔	アミド型・エステル型局所麻酔薬, differential block, 硬膜外腔, 穿刺方法, loss of resistance, 硬膜外モルヒネ注入, 黄靱帯, Jacoby線	p148-172
7	9月25日(木)	II	第三講義室	織田	講義	救急蘇生法	心肺停止, 救急蘇生法, 一次救命処置, 二次救命処置, ガイドライン2005	p135-158 (標救), p178-186 (集)
8	9月26日(金)	I	第三講義室	織田	講義	外傷・熱傷・トリアージ	多発外傷, 外傷初療, JATEC, 熱傷面積, 熱傷の初期治療, 災害医療, トリアージ	p288-388 (標救), p405-444 (集)
9	9月26日(金)	II	第三講義室	貞広	講義	中毒・環境異常	救命処置, 中毒起因物質の同定, 胃洗浄, 活性炭, 解毒薬, 血液吸着, 低体温, 熱中症	p389-425 (標救), p445-469 (集)
10	9月29日(月)	II	第三講義室	織田	講義	ショック・SIRS・敗血症	ショックの分類, SIRS, CARS, サイトカイン, 敗血症, 多臓器不全	p20-32 (標救), p331-378 (集)
11	9月29日(月)	III	第三講義室	仲村	講義	重症患者管理 I 呼吸・循環管理	ARDS, 人工呼吸管理, 血行動態モニタリング, fluid resuscitation, 組織酸素代謝, 循環管理用薬剤	p159-171 (標救), p221-235 (標救), p120-141 (集), p231-265 (集)
12	9月30日(火)	I	第三講義室	貞広	講義	重症患者管理 II 輸液・栄養管理	輸液法, 中心静脈栄養 (TPN), 経腸栄養, 病態別栄養管理	p172-182 (標救), p259-263 (標救), p39-48 (集), p151-156 (集)

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
13	9月30日(火)	Ⅱ	第三講義室	織田	講義	重症患者管理Ⅲ 腎不全・肝不全対策	急性腎不全, 急性肝不全, 劇症肝炎, 持続的血液濾過透析, 血漿交換, 肝移植	p210-214 (標救), p252-255 (標救), p142-150 (集), p266-287 (集)
14	10月27日(月)	Ⅰ	組織実習室		テスト			

*予習：「標準麻酔学」 医学書院；「標準救急医学」 医学書院；「集中治療医学」 集潤社

- 8) 教科書 「標準救急医学」 日本救急医学会監修, 医学書院
「集中治療医学」 日本集中治療医学会編, 秀潤社
「標準麻酔科学」 吉村望監修, 医学書院
- 参 考 書 「Intensive Care Medicine 5th ed.」 Rippe JM, et al eds. Little, Brown and Company, Boston
「AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2005 日本語版」 American Heart Association, Inc., 中山書店
「救急蘇生法の指針 (医療従事者用)」 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修, へるす出版
「[[改訂] 外傷初期診療ガイドラインJATEC」 日本外傷学会・日本救急医学会監修, へるす出版
「Anesthesia」 5th edition, Editor : RD Miller, Churchill Livingstone
世界保健機関編・武田文和訳：がんの痛みからの解放－WHO方式がん疼痛治療法 第2版 金原出版, 1996
- ホームページ 日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会：<http://www.qqzaidan.jp/qqsosei/index.htm>

視 覚 ユ ニ ッ ト

- 1) ユニット名 視覚
2) ユニット責任者 山本修一

4) ユニットの概要 ヒトは社会において、90%以上の情報を視覚で得ているいわれ、その見るという生理的メカニズム、情報の伝達する視覚路、それが障害される疾患について学ぶ。

5) ユニットの学習目標

一般目標 視覚生理、視覚器およびその付属器の解剖、視覚障害をきたす疾患および視覚付属器疾患の診断・治療を学ぶ。

- 個別目標
- 1) 視力、屈折の定義、測定法を述べ、結果の記載ができる。
 - 2) 視野の定義、測定法を述べ、結果の解釈ができる。
 - 3) 色覚、光覚、調節の定義、検査法を述べ、結果の解釈ができる。
 - 4) 眼およびその付属器の解剖を図示できる。
 - 5) 角膜、結膜疾患を分類し、その治療法を説明できる。
 - 6) 白内障手術の手順を図示できる。
 - 7) 緑内障を定義、分類し、治療法を説明できる
 - 8) 視路疾患を分類し、その局所診断ができる。
 - 9) 対光反応の遠心路、求心路を図示でき、瞳孔異常を分類できる。
 - 10) 眼球運動障害の検査法、原因を説明できる。
 - 11) ぶどう膜炎を分類し、治療法を説明できる。
 - 12) 糖尿病網膜症を病態生理を解釈し、病期分類し、治療法を説明できる。
 - 13) 網膜血管障害による病態を列挙し、その治療法を説明できる。
 - 14) 全身疾患と眼疾患との関連を列挙できる。
 - 15) 加齢黄斑変性による病態を分類し、その治療法を説明できる。
 - 16) 網膜色素変性の特徴を列挙し、分類できる。
 - 17) 網膜剥離の病態生理を解釈し、その治療法を説明できる。
 - 18) 眼瞼、眼窩腫瘍を列挙し、その治療法を説明できる。

6) 評価法 筆記試験 (100%)。

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授 業 内 容	授業内容の key word	授業課題
1	12月3日(水)	I	第三講義室	山本	講義	視覚生理	視力, 屈折, 調節, 視野, 色覚, 光覚	
2	12月3日(水)	II	第三講義室	菅原	講義	角膜, 結膜, 水晶体	結膜炎, 角膜混濁, 角膜感染症, 白内障, 白内障手術	
3	12月4日(木)	I	第三講義室	菅原	講義	緑内障	原発開放隅角緑内障, 原発閉塞隅角緑内障, 続発緑内障, 線維柱帯切除術, 眼圧, 視野	
4	12月4日(木)	II	第三講義室	四倉	講義	ぶどう膜炎	サルコイドーシス, 原田病, ベーチェット病, ヘルペスウイルス	
5	12月11日(木)	I	第三講義室	四倉	講義	眼瞼, 眼窩疾患	眼瞼腫瘍, 眼窩腫瘍, 眼窩底骨折	
6	12月11日(木)	II	第三講義室	菅原	講義	神経眼科	視路と視野 対光反応, 瞳孔異常, 眼球運動障害	
7	12月12日(金)	I	第三講義室	山本	講義	網膜血管障害, 全身疾患との関連	糖尿病網膜症, 網膜動脈閉塞症, 網膜静脈閉塞症, 網膜色素変性	
8	12月12日(金)	II	第三講義室	三田村	講義	網膜剥離, 加齢黄斑変性	網膜剥離, 加齢黄斑変性	
9	1月13日(火)	I	組織実習室	四倉	試験			

7) 教 科 書 講義録 眼・視覚学 (山本修一, 大鹿哲郎編, メジカルビュー社)

成長・発達ユニット

- 1) ユニット名 成長と発達
2) ユニット責任者 下条直樹・菱木知郎

4) ユニットの概要 実際の臨床の場で患者を目の前にして、その病態を正しく把握し、適切な治療方針が立てられるように、疾患の成り立ちと症状の関係、そして、診断・治療に至る重要な原則について講義する。その為には定型的な画像をできるだけ示し、疾患の理解と記憶を容易にするように努める。具体的には小児の生理・病理・栄養・発育・疾患の存段・経過・治療・予後・予防などの基礎知識を身につける。

5) ユニットの学習目標

一般目標 病態を正しく把握し、適切な治療方針が立てられるように、疾患の成り立ちと症状の関係、そして、診断・治療の原則を説明できる。

- 個別目標
- 1 1) 日本の小児保健の現状と問題点を説明できる。
 - 2 1) 突然死と乳幼児の発達過程に伴う急性腹症の病態を理解し、診断治療を行なうための基礎知識を身につけることができる。
 - 3 1) 小児期の正常な精神発達について説明できる。
 - 4 1) 新生児黄疸で生理的か病的か説明できる。
 - 5 1) 胎児の生理的特徴とその異常を説明できる。
2) 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。
 - 6 1) 乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。
2) 小児の栄養上の問題点を列挙できる。
3) 小児の正常値を理解する。
 - 7 1) 小児アレルギー疾患の特徴を説明できる。
2) 小児気管支喘息の病態と治療について説明できる。
3) 食物アレルギーの病態と治療について説明できる。

- 8 1) 胎児期の循環・呼吸の生理的特徴と出生児の変化を説明できる。
- 9 1) 悪性固形腫瘍の種類と頻度を説明できる。
2) 悪性固形腫瘍の診断と治療の流れを説明できる。
3) 神経芽腫の生物学的特徴を説明できる。
- 10 1) 小児の免疫発達と感染症の関係を概説できる。
2) 先天性免疫不全症の病態, 診断と治療を説明できる。
- 11 1) 小児期での内分泌臓器とその働きを説明できる。
2) 低身長の原因を挙げることができる。
3) 小児期糖尿病の特徴を説明できる。
- 12 1) 遺伝子異常の概念を説明できる。
2) 主な染色体異常症の症状を説明できる。
3) 生命倫理の概念を説明できる。
- 13 1) 新生児救急疾患の診断から治療までの流れを説明できる。
- 14 1) 消化管の発生過程を理解し, その異常に基づく疾患を列挙し, その病態を理解することができる。
- 15 1) 小児期の糸球体疾患と急性腎不全の臨床と病態, 学校検尿の実際について説明できる。
- 16 1) 新生児期から小児期の腫瘍病理を理解できる
- 17 1) 小児期特有の感染症の症状・診断法・治療を説明できる。
- 18 1) 急性白血病の病態, 症候, 診断, 治療と予後を説明できる。
- 19 1) 正常の新生児の呼吸循環状態を説明できる。
2) 新生児早期に呼吸困難を呈する疾患を列挙できる。
- 20 1) 主な先天性心臓疾患を列挙できる。
2) 発生異常を理解し, 血行動態が説明できる。
3) 川崎病の症状が説明できる
- 21 1) 乳幼児・小児の正常の運動発達を説明できる。
2) 代表的な小児神経疾患について説明できる
- 22 1) 新生児マスキングの意義について説明できる。
2) 新生児マスキングの対象疾患を列挙し説明できる。

6) 評価法 筆記試験 100%

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 予習, 参考図書
1	11月18日(火)	I	第3講義室	下条	講義	小児の生理, 栄養, 正常値, 診察法	新生児・乳幼児・小児期・思春期の生理的成長・発達, 乳幼児の保育・栄養法, 小児期の栄養, 小児の正常値の理解	通常の小児科の教科書で可

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 予習, 参考図書
2	11月18日(火)	II	第3講義室	齋藤	講義	消化器の発生異常 消化器の発生過程と その異常に基づく病 態	消化管閉鎖, 鎖 肛, H病	標準小児外科 p95-161
3	11月19日(水)	I	第3講義室	河野	講義	小児アレルギー疾患 小児アレルギー疾患 の病態と臨床像, 治 療	アトピー性皮膚 炎, 食物アレル ギー, 気管支喘 息	通常の小児科の 教科書で可
4	11月19日(水)	II	第3講義室	下条	講義	免疫系の発達とその 異常	免疫能の発達, 先天性免疫不全 症, 小児期の膠 原病	通常の小児科の 教科書で可
5	11月20日(木)	I	第3講義室	菱木	講義	乳幼児の発達と急性 腹症・突然死 乳幼 児の発達過程に伴う 急性腹症と突然死	突然死, 腸重積	標準小児外科 p121-123
6	11月20日(木)	II	第3講義室	照井	講義	新生児の呼吸障害	胎児循環遺残, 肺低形成, 呼吸 窮迫症候群	新生児学入門 (医学書院)
7	11月21日(金)	I	第3講義室	下条	講義	乳幼児, 小児の運動 発達, 神経・筋疾患	運動発達, 神 経・筋疾患	通常の小児科の 教科書で可
8	11月21日(金)	II	第3講義室	長田	講義	胎内発育とその評価 法 胎児の生理的特 徴と胎内発育。	胎内発育	通常の小児科の 教科書で可
9	11月25日(火)	I	第3講義室	石和田	講義	胎児期と新生児期の 循環・呼吸生理	サーファクタン ト・動脈管	通常の小児科の 教科書で可
10	11月25日(火)	II	第3講義室	齋藤	講義	新生児における黄疸 生理的黄疸と病的黄 疸の鑑別	遷延性黄疸・胆 道閉鎖症・先天 性胆道拡張症	新生児学入門 (医学書院)
11	11月26日(水)	I	第3講義室	石和田	講義	小児保健 我が国の 小児保健の現状と問 題点, その国際比較	母子保健・予防 医学・国際小児 保健	通常の小児科の 教科書で可
12	11月26日(水)	II	第3講義室	寺井	講義	小児循環器疾患	ファロー四徴 症, 完全大血管 転位, 川崎病	臨床発達心臓病 学
13	11月27日(木)	I	第3講義室	石和田	講義	小児感染症	髄膜炎・肺炎・ 尿路感染症・発 疹性疾患	通常の教科書で 可
14	11月27日(木)	II	第3講義室	堀江	講義	小児疾患の病理: 新生児期諸疾患と小 児腫瘍を中心として	呼吸窮迫症 候群, 脳室 上衣下出血, Hirschsprung 病, 神経芽腫, Wilms腫瘍	小児外科病理学 (文光堂)

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題 予習, 参考図書
15	11月27日(木)	Ⅲ	第3講義室	菱木	講義	悪性固形腫瘍 小児悪性固形腫瘍の種類, 頻度, 診断, 治療方法	神経芽腫, ウイルムス腫瘍, 肝芽腫	標準小児外科学 p194-222
16	11月28日(金)	I	第3講義室	佐藤	講義	小児血液腫瘍疾患と化学療法	貧血, 白血病, 補助療法	通常の小児科の教科書で可
17	11月28日(金)	Ⅱ	第3講義室	佐々木	講義	小児期内分泌疾患	成長ホルモン分泌不全性低身長, 性早熟症, 甲状腺疾患, 糖尿病	通常の小児科の教科書で可
18	11月28日(金)	Ⅲ	第3講義室	皆川	講義	先天異常と遺伝性疾患 遺伝子異常の概説と遺伝性疾患の概念	遺伝子異常, ダウン症候群, 奇形徴候, ゲノム刷り込み, 自己決定権	通常の教科書で可
19	12月1日(月)	I	第3講義室	皆川	講義	新生児マスキリーニングと先天代謝異常等 新生児マスキリーニングの意義と現状および対象疾患を概説	マスキリーニング, フェニルケトン尿症, クレチン症, 先天性副腎皮質過形成症	通常の小児科の教科書で可
20	12月1日(月)	Ⅱ	第3講義室	吉田	講義	新生児救急疾患 実際の症例をもとに新生児救急疾患の診断から治療までの流れを学ぶ	消化管穿孔, 腹膜炎, 腹壁異常	標準小児外科学 (医学書院) 新生児学入門 (医学書院)
21	12月2日(火)	I	第3講義室	中里	講義	精神発達とその異常	精神発達, 発達障害	通常の小児科の教科書で可
22	12月2日(火)	Ⅱ	第3講義室	倉山	講義	小児期腎疾患 糸球体疾患と急性腎不全の臨床と病態, 学校検尿の実際について	血尿, 蛋白尿, 学校検尿	専門医のための腎臓病学 (医学書院)
23	12月22日(月)	I	組織実習室		試験			

精神・神経ユニット

- 1) ユニット名 精神・神経
2) ユニット責任者 桑原 聡 伊豫 雅臣 佐伯 直勝

4) ユニットの概要 将来どの分野に進むにせよ、内科系・外科系に並ぶものとして、精神・神経系の基本的疾患の病態機序、臨床症候、検査法とその解釈および治療の知識は必須である。能動的学習（グループ発表を含む）を通してその知識を獲得する。精神・神経系疾患では他の分野に比べ正確な問診により症状を的確に把握することが特に重要であるので、その手法を学び、その結果に基づいた診察、検査を心がける訓練を受ける。以上の基本的態度を踏まえ、精神医学領域では「人の心」を理解する原点を学ぶこと、神経内科学領域では「神経の働き」の理解の上に正しい診断と理にかなった治療を追求する精神を学ぶこと、脳神経外科学領域では外科的手法を用いて生命の維持と神経機能は回復を目指す治療学の精神を学ぶことをそれぞれ最も高い目標として掲げる。

精神・神経系の基本的疾患を通じて、精神・神経系の理解を深める。

5) ユニットの学習目標

一般目標 精神・神経系の基本的疾患の病態機序、臨床症候、検査法とその解釈および治療の知識を獲得する。

個別目標

- (神経内科)
- 1) 問診のとり方を理解し、自分で行える。
 - 2) 運動系および反射の診断学を学び、診察法を説明できる。
 - 3) 感覚系および脳神経系の診断学を学び、診察法を説明できる。
 - 4) 脳血管障害の分類を説明できる。画像診断について、具体的症例の判断が出来る。基本的治療法を説明できる。
 - 5) パーキンソン病およびその他の錐体外路系疾患の分類、病態機序、臨床症候、診断と治療について説明できる。

- 6) 運動ニューロン疾患及び脊髄小脳変性症の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 7) 脊髄疾患の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 8) 髄膜刺激徴候, 髄液検査について理解し, 脳炎・髄膜炎の診断と治療を説明できる。
- 9) 脱髄疾患の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 10) 末梢神経疾患分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 11) 筋および神経筋接合部疾患の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 12) 代謝・中毒性疾患の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 13) 自律神経疾患の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 14) 痴呆性疾患の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 15) 機能的疾患(頭痛, めまい, けいれん)の分類, 病態機序, 臨床症候, 診断と治療について説明できる。
- 16) 高次大脳機能の症候学を理解し, 失語, 失行, 失認を説明できる。

個別目標

- (精神科)
- 1) 精神科面接によって精神状態を評価できる。
 - 2) 精神科診断分類法(多軸診断システムを含む)について説明できる。
 - 3) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律について説明できる。
 - 4) 不安性障害(パニック障害・全般性不安障害・恐怖症)の病態・症候・診断・治療について説明できる。
 - 5) 外傷後ストレス障害, 適応障害の病態・症候・診断・治療について説明できる。
 - 6) 急性精神病状態(幻覚・妄想等)について説明できる。
 - 7) 統合失調症(精神分裂病)急性期の診断及び救急治療について説明できる。
 - 8) 統合失調症(精神分裂病)慢性期の症候及び診断について説明できる。
 - 9) 大うつ病の病態・症候・診断・治療について説明できる。
 - 10) 気分変調性障害の病態・症候・診断・治療について説明できる。
 - 11) 双極性気分障害の病態・症候・診断・治療について説明できる。
 - 12) 器質性精神病の概念と診断について説明できる。
 - 13) 症状性精神病の概念と診断について説明できる。
 - 14) せん妄の診断と治療について説明できる。
 - 15) 中毒性精神病(急性中毒・離脱症状)の概念と診断について説明できる。
 - 16) アルコール依存症・アルコール精神病の病態・症候(合併症含む)・診断・治療について説明できる。
 - 17) 薬物の乱用・依存・離脱の病態と症候について説明できる。
 - 18) 心身症の概念・診断・治療について説明できる。
 - 19) 神経性無食欲症と神経性大食症の病態・症候・診断・治療について説明できる。
 - 20) 高齢者の心理的特長について説明できる。
 - 21) 痴呆の原因・症候・診断・治療について説明できる。
 - 22) 非器質性老年期精神障害の診断と治療上の問題について説明できる。
 - 23) リエゾン・コンサルテーション精神医学の概念と方法について説明できる。
 - 24) 不眠症の分類・診断・治療について説明できる。
 - 25) 主な脳内神経伝達物質とその作用について説明できる。

- 26) 抗精神病薬の作用機序と統合失調症の病態との関連を説明できる。
- 27) 抗うつ薬及び感情調整薬の作用機序と気分障害の病態との関連を説明できる。
- 28) 抗不安薬の作用機序と臨床適応について説明できる。

個別目標

- (脳神経外科)
- 1) 意識障害の鑑別と頭蓋内圧亢進の神経学的評価ができる。
 - 2) 正常と病的な状態での頭蓋内圧・脳血流などの頭蓋内環境を説明できる。
 - 3) CT・MR・その他の画像診断で代表的疾病を判読できる。
 - 4) 脳血管障害に含まれる種々の病態および外科的治療の適応を説明できる。
 - 5) 破裂動脈瘤の臨床像, 続発する病態, その治療法を述べることができる。
 - 6) 未破裂動脈瘤の自然歴を理解し, 治療の選択肢を列挙できる。
 - 7) 脳梗塞の病態を説明し, 治療法を述べることができる。
 - 8) 頸動脈狭窄症の病態を説明し, 治療適応・治療法について説明できる。
 - 9) 良性脳腫瘍の分類と臨床像, その治療法を述べることができる。
 - 10) 間脳下垂体系腫瘍の代謝・内分泌学的影響について説明できる。
 - 11) 悪性脳腫瘍の分類と臨床像, その治療法を述べることができる。
 - 12) 脳腫瘍に対する化学療法と放射線治療の一般的理論を述べることができる。
 - 13) 神経外傷のメカニズムと続発する病態を説明し, 対処法を概説できる。
 - 14) 機能的脳神経外科疾患の分類を述べ, 病態を理解し, その治療法を説明できる。
 - 15) 神経内視鏡の適応疾患と治療法について説明できる。
 - 16) 脊椎・脊髄疾患の手術適応と手術法について説明できる。
 - 17) パーキンソン病の外科的治療法とその適応について説明できる。

- 6) 評価法 ユニット講義最終日に筆記試験を行う。脳神経外科では, 毎回講義の終了時にミニテストを行い学生に理解度を評価する予定である。
- 1) 評価は試験にて行う (100%)。

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時限	場 所	担当	担当 教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	10月20日(月)	II	第三講義室	精神科	伊豫	講義	精神科総論	面接・多軸診断・精神保健福祉法	①標準精神医学 (p2-35, 69-79, 157-185) ②カプラン臨床精神医学テキスト (1-18, 246-294, 313-356)*
2	10月20日(月)	III	第三講義室	精神科	伊豫	講義	不安性障害	パニック障害・強迫性障害・外傷後ストレス障害	①p186-206, p229-239 ②p641-697
3	10月21日(火)	I	第三講義室	精神科	伊豫 (岡田)	講義	老年精神医学	痴呆性疾患	①p303-329, p330-338 ②p357-409

	授業実施日	時 限	場 所	担当	担当 教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
4	10月21日(火)	II	第三講義室	精神科	伊豫	講義	その他の神経症性 障害・心身症	身体表現性障 害・解離性障 害・適応障 害・心身症	①p186-206, p229-239 ②p641-697, p698-747, p857-861, p886-906
5	10月22日(水)	I	第三講義室	精神科	伊豫 (渡邊)	講義	器質的精神障害	器質性精神 病・症状性精 神病・せん妄	①p330-354 ②p357-409
6	10月22日(水)	II	第三講義室	精神科	伊豫	講義	統合失調症 I	統合失調症	①p240-259 ②p517-549, p550-581
7	10月23日(木)	I	第三講義室	神経内科	桑原聡	講義	神経内科総論 ①神経疾患へのア プローチ②病歴の 取り方	初発症状, 発 症様式, 進行 様式, 随伴症 状等	①必携神経内 科診療ハンド ブック p3-5 ②臨床神経内 科学(4版) p3-11
8	10月23日(木)	II	第三講義室	神経内科	桑原聡	講義	神経内科総論 ③症候へのアプ ローチ	運動麻痺, 意 識障害, 歩行 障害, 不随意 運動等	①p5-39 ②p63-193
9	10月23日(木)	III	第三講義室	神経内科	川口直樹	講義	脳血管障害	脳梗塞とその 症候(片麻 痺, 失語, 失 行, 失認)	①p173-201 ②p228-245
10	10月24日(金)	I	第三講義室	神経内科	朝比奈 正人	講義	錐体外路疾患 (パーキンソン 病他)	パーキンソン 病, 進行性核 上性麻痺, ハ ンチントン病	①p231-241, p267-272, p90-98 ②p305-322
11	10月24日(金)	II	第三講義室	神経内科	朝比奈 正人	講義	認知症	アルツハイ マー病, レ ヴィー小体型 認知症, 脳血 管性認知症	①p45-51, 256-266 ②p40-51, 213-227
12	10月24日(金)	III	第三講義室	神経内科	桑原聡	講義	末梢神経疾患	ギランバレー 症候群, 糖尿 病性ニューロ パチー	②P457-475
13	10月27日(月)	II	第三講義室	精神科	伊豫	講義	摂食障害	神経性無食欲 症・神経性大 食症	①p295-297 ②p798-816
14	10月27日(月)	III	第三講義室	精神科	伊豫 (森)	講義	気分障害 I (うつ病)	気分障害・大 うつ病性障害	①p260-281 ②p582-640
15	10月27日(月)	IV	第三講義室	神経内科	朝比奈 正人	講義	自律神経疾患	起立性低血 圧, 排尿排便 障害, 多系統 萎縮症	①p341-345 ②p194-212, p659-672, p476-484, p35-39

	授業実施日	時限	場 所	担当	担当 教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
16	10月27日(月)	V	第三講義室	神経内科	朝比奈 正人	講義	脊髄疾患	脊髄の症候, 脊髄炎, 脊髄 症, 脊髄血管 障害	①p299-314, p217-228 ②p435-456, p272-278, p388-399
17	10月28日(火)	I	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	脳神経外科総論	頭痛の鑑別, 意識障害の評 価, 頭蓋内圧 亢進, 脳浮腫	
18	10月28日(火)	II	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	神経画像診断	頭 部・ 頸 部 レントゲン 写 真, CT スキャン, MRI, 脳血 管撮影	
19	10月28日(火)	III	第三講義室	神経内科	森雅裕	講義	頭痛, めまい	片頭痛, 緊張 型頭痛, 良性 発作性めまい	①p62-71 ②p282-304
20	10月28日(火)	IV	第三講義室	神経内科	森雅裕	講義	脳炎・髄膜炎	単純ヘルペス 脳 炎, 細菌 性・ウイルス 性・真菌性・ 結核性髄膜 炎, 髄膜刺激 症状, 髄液検 査	①P246-271
21	10月28日(火)	V	第三講義室	神経内科	森雅裕	講義	多発性硬化症およ び関連疾患	多発性硬化 症, 急性散在 性脳脊髄炎	①217-230 ②p273-278
22	11月4日(火)	I	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	良性脳腫瘍	髄膜腫, 神経 鞘腫, 下垂体 腺腫	
23	11月4日(火)	II	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	悪性脳腫瘍	神経膠腫, 転 移性脳腫瘍, 化学療法, 放 射線療法	
24	11月5日(水)	I	第三講義室	精神科	伊豫 (深見)	講義	統合失調症Ⅱ	統合失調症	①p240-259 ②p517-549, p550-581
25	11月5日(水)	II	第三講義室	精神科	伊豫 (藤崎)	講義	気分障害Ⅱ (双極性障害)	気分障害・双 極性障害	①p260-281 ②p582-640
26	11月5日(水)	III	第三講義室	精神科	伊豫	講義	精神科治療学 (精神薬理)	抗精神病薬・ 抗うつ薬・気 分安定薬・抗 不安薬・睡眠 薬	①p118-135 ②p1048-1225

	授業実施日	時 限	場 所	担当	担当 教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
27	11月6日(木)	I	第三講義室	神経内科	川口直樹	講義	てんかん・睡眠障 害	大発作, 小発 作, 複雑部分 発作, 不眠, 過眠	①p35-44 ②289-296
28	11月6日(木)	II	第三講義室	神経内科	川口直樹	講義	筋および神経筋接 合部疾患	筋ジストロ フィー, 筋 炎, 重症筋無 力症, ラン バート・イー トン症候群	①p323-340 ②p485-494
29	11月7日(金)	I	第三講義室	神経内科	川口直樹	講義	筋萎縮性側索硬化 症および脊髄小脳 変性症	筋萎縮性側索 硬化症および その他の運動 ニューロン疾 患, 脊髄小脳 変性症	①p242-255 ②p414-434, p479-480
30	11月7日(金)	II	第三講義室	神経内科	桑原聡	講義	内科疾患による神 経障害	血 液 疾 患, 肝・腎疾患, 膠原病, 内分 泌疾患	①p399-414 ②518-543
31	11月10日(月)	II	第三講義室	精神科	伊豫 (宮武)	講義	アルコール・薬物 依存	物 質 関 連 障 害・アルコー ル精神病・覚 せい剤精神病	①p383-402 ②p420-516
32	11月11日(火)	I	第三講義室	診断病理 神経疾患	大出	講義	神経疾患(1)	中枢神経系の 解剖生理学的 特徴, 神経細 胞の特徴, 神 経細胞の障 害, 神経膠反 応, 脳浮腫と 頭蓋内圧亢 進, 頭蓋内出 血, 脳梗塞 (脳軟化症), 高血圧, 頭部 外傷, 脱髄, 疾患(多発性 硬化症), 変 性疾患(アル ツハイマー 病, 新萎縮性 側索硬化症)	

	授業実施日	時 限	場 所	担当	担当 教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
33	11月11日(火)	Ⅱ	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	脳血管障害Ⅰ	くも膜下出血, 脳動脈瘤, 脳動静脈奇形, クリッピング術, ガンマナイフ	
34	11月12日(水)	Ⅰ	第三講義室	腫瘍病理 神経疾患	張ヶ谷	講義	神経疾患(2)	脳腫瘍の病理, 星状細胞腫, 膠芽腫, 上衣腫, 神経節細胞腫, 中枢性神経細胞腫, 神経芽腫, 髄芽腫, 原始神経外胚葉性腫瘍	
35	11月12日(水)	Ⅱ	組織実習室	腫瘍病理 実習神経	川名	実習	神経疾患実習	脳梗塞, 膠芽腫, 髄膜腫, 神経芽腫	
36	11月13日(木)	Ⅰ	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	脳血管障害Ⅱ	脳内出血, 脳梗塞, 血管内治療	
37	11月13日(木)	Ⅱ	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	頭部外傷・水頭症	頭部外傷, 水頭症, 神経内視鏡	
38	11月14日(金)	Ⅰ	第三講義室	精神科	伊豫 (長谷川)	講義	心理療法, 心理検査		①p105-113, p136-147 ②p191-206, p995-1047
39	11月14日(金)	Ⅱ	第三講義室	脳神経外科	佐伯	講義	機能的疾患他	てんかん, 片側顔面けいれん, 三叉神経痛	
40	11月17日(月)	Ⅱ	第三講義室	精神科	伊豫 (渡邊)	講義	リエゾン・コンサルテーション精神医学, 睡眠障害	コンサルテーション・リエゾン・睡眠覚醒障害	①p149-156. p355-364 ②p817-843. p906-914
41	11月17日(月)	Ⅲ	第三講義室	精神科	伊豫	講義	青年期精神医学, 人格障害	発達障害・知的障害・注意欠陥多動性障害・人格障害	①p207-228, p282-302 ②p1238-1411
42	12月15日(月)	Ⅰ	組織実習室	脳神経外科・精神科・神経内科・病理		試験			

7) 参 考 書

精神科 *②には精神保健福祉法は載っていないので、①を参照すること。

① 標準精神医学（第2版） 野村総一郎・樋口輝彦編 医学書院 2001年

② カプラン臨床精神医学テキスト（第2版） 井上令一・四宮滋子監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2004年

脳神経外科

① 脳神経外科学 太田富雄 金芳堂

② 脳神経外科学必修講義 松谷稚生 メディカルビュー社

③ 脳神経外科手術アトラス 山浦晶 医学書院

④ 脳神経外科学大系 山浦晶 他 中山書店

神経内科

① 必携神経内科診療ハンドブック 服部孝道編 南江堂 2003年

② 臨床神経内科学（第4版） 平山恵造編 南山堂 2000年

③ MERRITT'S NEUROLOGY（第10版） Lewis P Rowland 編 LiPPincott Williams & Wilkins 2000年

④ 神経内科シークレット（第2版） 服部孝道監訳 2006年

皮膚・形成ユニット

- 1) ユニット名 皮膚・形成
2) ユニット責任者 一瀬正治, 松江弘之

4) ユニットの概要 (皮膚科)

ヒトの体を覆う皮膚は、体重の16%をも占める人体で最大の臓器である。水分の保持、体温の調整、微生物の侵入や物理的刺激からの保護など、生体が生命現象を維持するために内と外とを隔てるという重要な役割を担うとともに、感覚器として外界の情報を伝え、スキンシップという言葉に代表されるように人間の営みを支えている。皮膚の状態を適切に把握するためには、皮膚・粘膜を観察し、情報を読み取り、そこに起こっている変化を論理的に類推する能力が必要である。このためには、皮膚の構造と機能を理解するとともに、病理学、生理学、細菌学、免疫学そして分子生物学的な知識を総合して、皮膚を場として生じている変化の病因・病態を考える能力を養う必要がある。

(形成外科)

形成外科は身体表面と、それに近い組織・器官の先天異常と後天性欠損に対し、形態的、機能的、精神的再建をはかり、社会復帰を目的とする外科学である。具体的には損傷された組織を移植などの技法を用いて元に戻す再建外科と、再建されるものがより正常に、またより美しくあるべきという美容外科の2本柱からなっており、その守備範囲は全身に及ぶ。形成外科の目的を達するためには外科系全般の知識が必要とされるが、創傷治癒など外科総論をはじめ、組織移植などの基礎的な諸問題を学習した後、治療を行うための形成外科の諸手技の原理を理解する。さらに形成外科で取り扱う実際の疾患の治療を学び、再建外科における他の外科系各科との関連を理解する。

5) ユニットの学習目標

皮膚科

一般目標 病因・病態を理解し、皮膚病変に対する医学的知識を習得する。

個別目標 皮膚の構造と機能

皮膚の構造を説明できる。

皮膚に存在する細胞とその機能を説明できる。

表皮基底膜の構造を説明できる。

発疹の性状、診断および治療

原発疹、続発疹を説明できる。

代表的な病理組織像の用語を理解する。

直接顕鏡で真菌を同定できる。

光線テスト，パッチテストの手技の実際を理解する。

硝子圧法での所見を説明できる。

ステロイド外用剤の副作用を説明できる。

湿疹・皮膚炎，蕁麻疹・痒疹・皮膚そう痒症

湿疹三角を理解する。

湿疹・皮膚炎に分類される代表的な疾患名を挙げられる。

アトピー性皮膚炎の合併症と鑑別疾患を理解する。

蕁麻疹の病態を説明できる。

紅斑・紅皮症，血管炎・紫斑

紅斑を来す代表的な疾患名を挙げられる。

多形紅斑と呼ばれる皮疹を理解する。

血管炎の病理組織像と臨床像との相関を理解する。

紫斑を来す病態を説明できる。

薬疹，物理化学的皮膚障害・光線過敏症

服薬歴をきちんと聴取することの重要性を理解する。

重症型薬疹を説明できる。

紫外線とその予防策について説明できる。

色素性乾皮症の病態を説明できる。

膠原病および類縁疾患

各種疾患の診断基準を覚える。

それぞれの疾患に伴う皮膚症状を理解する。

水疱症・膿胞症

代表的な疾患の病態を理解する。

表皮細胞間および表皮基底膜の構造から疾患の病態を説明できる。

角化症

代表的な疾患名を挙げられる。

それぞれの疾患の病態を理解する。

乾癬の組織像を説明できる。

付属器疾患，色素異常症，代謝異常症，母斑と神経皮膚症候群，全身と皮膚

代表的な疾患名を挙げられる。

それぞれの疾患の病態を理解する。

ざ瘡に対する生活指導ができる。

糖尿病に伴う皮膚病変を理解する。

皮膚の良性腫瘍，上皮系悪性腫瘍

自然退縮することがある血管腫としない血管腫を説明できる。

それぞれの皮膚悪性腫瘍の視診のポイントを理解する。

それぞれの皮膚悪性腫瘍の組織学的診断を理解する。

TNM分類とそれに基づいた治療法を説明できる。

間葉系悪性腫瘍, リンパ腫

代表的な疾患名を挙げられる。

それぞれの疾患の病態を理解する。

それぞれの疾患の組織学的診断を理解する。

ウイルス感染症, 細菌感染症, 抗酸菌感染症, 性感染症, 虫による皮膚疾患

代表的な疾患名を挙げられる。

それぞれの疾患の病態を理解する。

該当する疾患では学校保健法での規定を説明できる。

真菌症

代表的な疾患名を挙げられる。

菌学的特徴を踏まえて, それぞれの疾患の病態を理解する。

皮膚免疫学

皮膚を場とした免疫反応を理解する。

真皮結合織・皮下脂肪織の疾患

代表的な疾患名を挙げられる。

それぞれの疾患の病態を理解する。

形成外科

一般目標	形成外科の目的, 対象および基本手術手技を理解し, 実際に取り扱う基本的疾患およびその治療法について学ぶ。
個別目標	<p>形成外科総論</p> <ol style="list-style-type: none">1) 形成外科の目的を説明できる。2) 形成外科の対象を列挙できる。3) 形成外科の治療法を列挙できる。4) 形成外科で取り扱う基本的な疾患を列挙し, その治療法について説明できる。 <p>創傷治癒</p> <ol style="list-style-type: none">5) 創傷を分類できる。6) 創傷治癒現象について述べることができる。 <p>基本手技</p> <ol style="list-style-type: none">7) 形成外科で行う縫合法について述べることができる。8) 皮下剥離の意義および範囲, 層について説明できる。9) z-形成術の概念および適応について説明できる。 <p>植皮術</p> <ol style="list-style-type: none">10) 植皮術の種類および適応について述べることができる。11) 遊離分層植皮術と遊離全層植皮術の相違点について述べることができる。12) 遊離植皮術と有茎植皮(皮弁)術の相違点および適応について説明できる。13) 皮弁生着のメカニズムを説明できる。 <p>体表先天異常</p> <ol style="list-style-type: none">14) 先天異常と遺伝の関係を説明できる。15) 先天異常の発生, 特に口唇裂・口蓋裂について説明できる。16) 口唇裂・口蓋裂の治療について説明できる。17) 主な体表先天異常について説明できる。18) 様々な体表先天異常の治療法を理解する。 <p>外傷</p> <ol style="list-style-type: none">19) 顔面外傷における問題点を列挙できる。20) 熱傷の重傷度および深達度, 局所治療などについて述べることができる。21) 褥創の成因および治療について述べることができる。22) 慢性放射線潰瘍の治療について述べることができる。

- 悪性腫瘍の再建 23) 悪性腫瘍摘出後の再建法および再建材料について述べることができる。
24) 悪性腫瘍摘出後再建における術前術後の患者のQOLの変化を述べることができる。
- 美容外科 25) 美容外科の意義を述べることができる。
26) 美容外科の特殊性について述べることができる。
27) 対象疾患を列挙できる。
28) 適応禁忌患者につき述べることができる。

6) 評価法 授業の出席状況30%, テスト70%による。

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
1	12月5日(金)	I	第三講義室	松江弘之	講義 (皮膚科)	皮膚の構造と機能		
2	12月5日(金)	II	第三講義室	島田眞路 (山梨大)	講義 (皮膚科)	膠原病および類縁疾患		
3	12月8日(月)	II	第三講義室	松江弘之	講義 (皮膚科)	発疹の性状, 診断および治療		
4	12月8日(月)	III	第三講義室	神戸直智	講義 (皮膚科)	湿疹・皮膚炎, 蕁麻疹・痒疹・皮膚そう痒症		
5	12月9日(火)	I	第三講義室	松江弘之	講義 (皮膚科)	水疱症・膿胞症		
6	12月9日(火)	II	第三講義室	松江弘之	講義 (皮膚科)	間葉系悪性腫瘍, リンパ腫		
7	12月10日(水)	I	第三講義室	宇谷厚志 (京都大)	講義 (皮膚科)	真皮結合織・皮下脂肪織の疾患		
8	12月10日(水)	II	第三講義室	鎌田憲明	講義 (皮膚科)	角化症		
9	12月15日(月)	II	第三講義室	外川八英	講義 (皮膚科)	皮膚の良性腫瘍, 上皮系悪性腫瘍		
10	12月15日(月)	III	第三講義室	神戸直智	講義 (皮膚科)	紅斑・紅皮症, 血管炎・紫斑		
11	12月16日(火)	I	第三講義室	吉本信也	講義 (形成外科)	形成外科の概念, 形成外科手術の基本, 創傷治癒, 美容外科	形成外科, 目的, 対象疾患, 治療法, 皮下剥離, 縫合法, 創傷治癒, 意義, 特殊性, 適応, 禁忌, 対象疾患, インプラント	p2-28, p92-102, p280-306

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題*
12	12月16日(火)	II	第三講義室	重原岳雄	講義 (形成外科)	悪性腫瘍摘出後欠損 の再建外科	前腕皮弁, 腹 直筋皮弁, 遊 離空腸, 広 背筋皮弁, 大 腿皮弁, 肩 甲(骨)皮弁, 遊離腓骨移植	p270-278
13	12月17日(水)	I	第三講義室	鎌田憲明	講義 (皮膚科)	薬疹, 物理化学的皮 膚障害・光線過敏症		
14	12月17日(水)	II	第三講義室	鎌田憲明	講義 (皮膚科)	付属器疾患, 色素異 常症, 代謝異常症, 母斑と神経皮膚症候 群, 全身と皮膚		
15	12月18日(木)	I	第三講義室	力久直昭	講義 (形成外科)	外傷の再建外科	顔面神経麻 痺, 外傷性刺 青, 顔面, 熱 傷, 褥瘡, 慢 性放射線潰瘍	p103-112
16	12月18日(木)	II	第三講義室	松本文明	講義 (形成外科)	植皮術, その他の移 植術	分層植皮術, 全層植皮術, 網状植皮術, 採皮, 皮弁	p29-67
17	12月18日(木)	III	第三講義室	宇田川晃一	講義 (形成外科)	体表先天異常の再建 外科	先天異常, 遺 伝, 発生, 症 例提示, 治療, 手術	p170-238
18	12月19日(金)	I	第三講義室	神戸直智	講義 (皮膚科)	ウイルス感染症, 細 菌感染症, 抗酸菌感 染症, 性感染症, 虫 による皮膚疾患		
19	12月19日(金)	II	第三講義室	岩澤真理	講義 (皮膚科)	真菌症		
20	12月19日(金)	III	第三講義室	松江弘之	講義 (皮膚科)	皮膚免疫学		
21	1月9日(金)	III	組織実習室	松江, 一瀬	試験			

* 予習：「標準形成外科学」医学書院

7) 教科書・参考書 (皮膚科)

あたらしい皮膚科学 中山書店 (清水 宏 著)

<http://www.derm-hokudai.jp/textbook/index.html>

皮膚病アトラス 文光堂 (西山茂夫 著)

(形成外科)

① 標準形成外科学 第4版, 鬼塚卓弥監修, 医学書院

② 形成外科手術書 改訂第4版, 鬼塚卓弥著, 南江堂

③ Plastic Surgery Mathes編, W.B. Saunders

医療と社会 I

- I 科目(コース)名 医療と社会 I
- II コースの概要
並びに学習目標 社会における医療の実践を予防医学, 環境医学, 医療経済学の観点から理解し, 考察できる能力を身に付ける。さらに, 法律上問題となる医学的事項を考究に, 理解する能力を身に付ける。
- III 科目(コース)責任者
- IV 対象学年 4年
- V 構成ユニット
- | ユニット | ユニット責任者 |
|---------|---------|
| 医療経済情報学 | 高林 克日己 |
| 衛生学 | 諏訪園 靖 |
| 公衆衛生学 | 羽田 明 |
| 法医学 | 岩瀬 博太郎 |

医療経済情報学ユニット

- 1) ユニット名 医療経済情報学
2) ユニット責任者 高林 克己

- 4) ユニットの概要 医療のマクロ的共通環境である制度と経済、及びその基盤となる情報学について学ぶ。将来の医療を担い手として現場の実務のみでなく、社会的、国際的な視野をもって医療を遂行できるように基礎知識を習得する。

5) ユニットの学習目標

一般目標 現在の医療経済を国際的視野に立って理解し、この環境のもとでの病院管理の基本事項を理解し、その基盤となる病院情報システム・電子カルテについての意義を説明できる。

- 個別目標
- 1) 医療経済を国際的な視点から理解し、わが国の特徴を述べることができる。
 - 2) 医療経済と医療サービスの今日的課題を列挙できる。
 - 3) 医療情報の開示に関する制度、倫理を説明できる。
 - 4) 記載原則に則って診療録を記載できる。
 - 5) 病院情報システムの構成要素を理解している。
 - 6) 医療情報システムのユーザとしての行動規範を身につけている。
 - 7) 病院内の情報共有の意味を説明できる。
 - 8) ICD, SNOMED, UNLS, READ, DRGなどの構造を説明できる。
 - 9) 医学用語の現状と標準化の課題を説明できる。
 - 10) 分類と用語、コードと命名法等の役割を説明できる。
 - 11) 対象データの精度と例数の関係を意識してデータ収集計画を立てられる。
 - 12) 感度と特異度について説明できる。
 - 13) ベイズの定理を用いて事後確率を計算できる。
 - 14) ROC, 効用値について説明できる。
 - 15) インターネットの構造と機能について説明できる。
 - 16) 情報セキュリティの基本技術を理解している。
 - 17) プライバシー保護と個人情報保護法を理解している。
 - 18) セキュリティポリシーについて説明できる。
 - 19) 地域連携と情報共有の重要性を説明できる

- 6) 評価法 筆記試験 (80%), 出席 (20%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
1	6月30日(月)	Ⅱ	第三講義室	鈴木講師	講義	情報学の基礎	情報通信・セキュリティ	
2	7月1日(火)	Ⅰ	第三講義室	鈴木講師	講義	病院情報システム	オーダエントリー・標準化	
3	7月3日(木)	Ⅰ	第三講義室	高林教授	講義	電子カルテとEHR (保健情報システム)	電子カルテ	
4	7月7日(月)	Ⅱ	第三講義室	高林教授	講義	医療判断学とAI	ベイズの定理	
5	7月8日(火)	Ⅰ	第三講義室	藤田准教授	講義	地域医療連携・医療 経営・経済学	地域連携・医療	
6	7月10日(木)	Ⅰ	第三講義室	高林教授	講義	医療情報の二次利用 と倫理	個人情報	
7	9月8日(月)	Ⅰ	組織実習室	鈴木講師	試験			

7) 教 科 書 医療情報 医療情報システム編 篠原出版新社

衛生学ユニット

- 1) ユニット名 衛生学ユニット
2) ユニット責任者 環境労働衛生学助教授

4) ユニットの概要 「講義」では概論，概説で環境衛生学および産業保健に関する一般的知識を習得後，各ユニットで学習し，医療と社会に関して具体的に理解を深める。

「実習」では企業見学実習および環境測定実習を受講し，講義ならびに本で学んだ内容を実際に確認し，理解を深める。

医療と社会に関する詳細を理解するために，環境衛生学，労働衛生学を中心とした5つの講義ユニットと2つの実習ユニットを準備した。地球規模の環境汚染問題，人口構成の老齢化を背景とした医療費増加の問題，医療現場における医療過誤やプライバシー問題等，近年のわが国における医療問題に真摯に向き合うために，社会医学，予防医学的観点からの医学教育はますます重要となっている。

「講義」1（社会・環境と健康）：小林悦子，2（喫煙習慣と疾病）：宮本俊明，3（保健，医療，福祉と介護の制度）：木内夏生，4（産業保健）：諏訪園靖，5（診療情報）：岩間章介，6（臨床研究と医療）：渡 三佳

「実習」7（企業見学実習）：諏訪園靖，8（環境測定実習）：小林悦子

5) ユニットの学習目標

一般目標 ユニット1：社会・環境と健康：社会と健康・疾病との関係や地域医療について，個体および集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について理解する。

ユニット2：喫煙習慣と疾病：喫煙習慣に関連した疾病の種類，病態と予防治療について理解する。

ユニット3：保健，医療，福祉と介護の制度保健：医療，福祉，介護の制度の内容を理解する。

ユニット4：労働者の健康管理や健康づくりに関して理解する。

ユニット5：診療情報：医療情報の利用方法，情報管理とプライバシー保護について理解する。

ユニット6：臨床研究と医療：副作用報告，有害事象報告の意義について学ぶとともに，厚生行政について理解する。

ユニット7：（企業見学実習）：講義ならびに本で学んだ内容を実際に確認し，理解を深める。

ユニット8：(環境測定実習)：講義ならびに本で学んだ内容を実際に確認し、理解を深める。

- 個別目標
- 1) 1) 健康の定義について説明できる。2) 健康と疾病との関係を説明できる。3) 社会と健康との関係を説明できる。
 - 2) 1) 環境と適応について説明できる。2) 主体環境系について説明できる。3) 環境基準と環境影響評価について説明できる。4) 公害と環境保全について説明できる。5) シックハウス症候群について説明できる。
 - 3) 1) 個人の生きがいと健康との関係を説明できる。2) コミュニティと健康との関係を説明できる。3) 都市環境と健康との関係を説明できる。4) 都市の国際化と健康との関係を説明できる。
 - 4) 1) 地域保健医療計画について説明できる。2) へき地医療について説明できる。3) プライマリーケアについて説明できる。4) 地域保健と医師の役割について説明できる。
 - 5) 1) 有害物質の健康影響について説明できる。2) 環境発癌物質について説明できる。3) 内分泌攪乱物質について説明できる。4) 地球環境の変化, 生態循環, 生物濃縮と健康問題について説明できる。
 - 6) 1) 喫煙と疾病について説明できる。2) 禁煙指導について説明できる。
 - 7) 1) 医療保険と公費医療について説明できる。2) 国民医療費の収支と将来予測について説明できる。3) 国際医療の概要について説明できる。
 - 8) 1) 産業保健の意義について説明できる。2) 産業環境と健康影響について説明できる。3) 労働者の健康管理について説明できる。
 - 9) 1) 診療諸記録の種類について説明できる。2) 医療情報の利用方法について説明できる。3) 情報管理とプライバシー保護について説明できる。4) 電子化された診療情報の作成と管理の概要を説明できる。
 - 10) 1) 副作用報告の意義について説明できる。2) 有害事象報告の意義について説明できる。3) 薬物に関する法令と医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。4) 厚生行政の概要を説明できる。
 - 11) 1) 産業衛生学的視点で労働現場を観察できる。

6) 評価法 出席・課題・発言 (40%), 期末筆記テスト (60%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容のkey word	授業課題
講義1	1月7日(水)	I	第三講義室	小林	講義	健康, 障害と疾病の概念についての考え方を衛生・公衆衛生学の歴史を踏まえて説明する。	健康, 障害, 疾病	衛生・公衆衛生学「人類と健康」杏林書院 p1~8
講義2	1月7日(水)	II	第三講義室	小林	講義	環境と健康・疾病との関係について諸モデルに基づいて説明する。	環境と適応, 主体環境系, 環境基準, 環境影響評価	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p1~4

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
講義 3	1月14日(水)	I	第三講義室	小林	講義	環境衛生学概論①として、空気と健康について正常成分の変化と異常成分の混入、水と健康について上水、下水に分けて説明する。	酸素、二酸化炭素、一酸化炭素、硫酸化物、窒素酸化物、オキシダント、浮遊粒子状物質、上水、下水、水質基準	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p5~14
講義 4	1月14日(水)	II	第三講義室	小林	講義	環境衛生学概論②として温熱環境、気象、放射線と健康について説明する。	温熱条件、気象病、季節病、電離放射線、非電離放射線	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p16~27
講義 5	1月14日(水)	III	第三講義室	小林	講義	環境衛生学概論③として、環境破壊の問題を公害と環境保全の面から説明する。	廃棄物処理、大気汚染、水質汚濁、地盤沈下、悪臭、土壌汚染、農薬汚染、化学物質汚染、騒音、振動	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p40~58
講義 6	1月19日(月)	I	第三講義室	大久保	講義	生態系の変化が健康と生活に与える影響について、具体的事象をまじえて説明する。	有害物質、環境発癌物質、内分泌攪乱物質	
講義 7	1月19日(月)	II	第三講義室	高野	講義	社会構造と健康・疾病との関係（都市環境を含む）について日本のみならず、世界の発展途上国における調査結果を踏まえて説明する。	コミュニティ、地域社会、都市環境	
講義 8	1月21日(水)	I	第三講義室	木内	講義	国際医療の概要について人類生態学的観点から説明する。	国際医療、国際保健、人類生態学	
講義 9	1月21日(水)	II	第三講義室	木内	講義	医療保険と公費医療および介護保険について説明する。国民医療費の収支と将来予測について説明する。	医療保険、公費医療、介護保険、国民医療費、人口	
講義 10	1月26日(月)	III	第三講義室	宮本	講義	喫煙と疾病の関係と禁煙指導について、企業の具体的例をあげて説明する。	生活習慣病、喫煙、禁煙指導	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
講義 11	1月26日(月)	Ⅳ	第三講義室	渡辺	講義	地域医療の機能と体制についてプライマリーケアの面から説明する。	地域医療, プライマリーケア	
講義 12	1月28日(水)	Ⅰ	第三講義室	諏訪園	講義	産業保健の概説①として, 産業保健の意義と内容について説明する。	産業保健, 職業病	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p121~130
講義 13	1月28日(水)	Ⅱ	第三講義室	諏訪園	講義	産業保健の概説②として, 産業保健の意義と内容について説明する。	量-反応関係, 量-反応関係	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p121~130
講義 14	2月2日(月)	Ⅱ	第三講義室	諏訪園	講義	産業保健の概説③として, 産業保健と健康影響について説明する。	産業中毒	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p145~155
講義 15	2月4日(水)	Ⅰ	第三講義室	諏訪園	講義	産業保健の概説④として, 産業保健と健康影響について説明する。	職業性疾患の要因	衛生・公衆衛生学「環境と健康」杏林書院 p156~176
講義 16	2月4日(水)	Ⅱ	第三講義室	荘司	講義	労働者の健康管理についてその歴史および実務に分けて説明する。	産業医, 健康管理, 作業管理, 作業環境管理	
講義 17	2月9日(月)	Ⅰ	第三講義室	坂田	講義	健康づくりについて国民栄養の面から説明する。	健康づくり, 国民栄養	
講義 18	2月9日(月)	Ⅱ	第三講義室	岩間	講義	診療情報として医療情報の利用方法, 情報管理とプライバシー保護について説明する。	医療情報, プライバシー保護	
講義 19	2月18日(水)	Ⅰ	第三講義室	渡	講義	副作用報告, 有害事象報告の意義について説明するとともに, 厚生行政についても説明する。	副作用報告, 有害事象報告, 厚生行政	
講義 20	2月23日(月)	Ⅰ	組織実習室	諏訪園, 小林	試験			
授業時間 Ⅰ 8:50~10:20 Ⅱ 10:30~12:00 Ⅲ 12:50~14:20 Ⅳ 14:30~16:00 Ⅴ 16:10~17:40								

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
実習1	1月14日(水)	Ⅳ ・ Ⅴ	第三講義室	諏訪園, 小林	実習	企業見学と環境測定 実習 説明会	労働環境, 作業 現場, 一般環境	
実習2	1月21日(水)	Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ	第三講義室 および企業 場	諏訪園, 小林	実習	企業見学と環境測定 実習	労働環境, 作業 現場, 一般環境	
実習3	1月28日(水)	Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ	第三講義室 および企業 場	諏訪園, 小林	実習	企業見学と環境測定 実習	労働環境, 作業 現場, 一般環境	
実習4	2月4日(水)	Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ	第三講義室 および企業 場	諏訪園, 小林	実習	企業見学と環境測定 実習	労働環境, 作業 現場, 一般環境	
実習5	2月9日(月)	Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ	第三講義室 および企業 場	諏訪園, 小林	実習	企業見学と環境測定 実習	労働環境, 作業 現場, 一般環境	
実習6	2月18日(水)	Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ	第三講義室	諏訪園, 小林	実習	発表会		

授業時間 I 8:50~10:20 II 10:30~12:00
 III 12:50~14:20 IV 14:30~16:00
 V 16:10~17:40

- 7) 教科書 衛生・公衆衛生学 「環境と健康」「人類と健康」 杏林書院
 参考書 公衆衛生マニュアル 南山堂
 配布資料 講義用資料 (別添)
 実習書 (別添)

公衆衛生学ユニット

1) ユニット名 公衆衛生学

2) ユニット責任者 羽田 明

4) ユニットの概要 公衆衛生学で担当する分野は、疫学、母子保健、学校保健、感染症、成人・老人保健、地域医療、衛生行政、国際保健、医の倫理などである。それぞれの分野の基本的内容を理解し、わが国のこれまでの問題点がどの様に解決され、行政施策に反映されてきたかを理解する。また、国際的視点からわが国の公衆衛生を考え、今後のとるべき方向を理解する。

5) ユニットの学習目標

一般目標 健康増進とは、一般に疾病の予防から積極的な健康づくりまでの幅広い概念であるが、公衆衛生学は健康増進の方法を研究し、それを実践する学問である。衛生学では主に環境保健、産業保健からアプローチするのに対し、公衆衛生では、母子保健、学校保健、成人・老人保健、感染症などから健康増進を考える。また、各種衛生法規および行政のシステムを理解し、今後の問題点を考え、問題解決の方法を考察できるようにする。

個別目標

- 1) 健康の定義を説明できる。公衆衛生の課題と今後の展望について述べる事ができる。
- 2) Evidence-Based Medicine (EBM) について、実践方法を説明する事ができる。医の倫理について説明できる。
- 3) 疫学的方法について説明できる。
- 4) 地域がん登録について説明する事ができる。
- 5) 疫学調査について説明する事ができる。
- 6) 厚生労働省、都道府県、市町村における公衆衛生の仕組み、地域保健法について説明する事ができる。
- 7) 介護保険について説明する事ができる。
- 8) 高齢者や障害者に関する福祉について説明する事ができる。
- 9) わが国の国際保健への取り組みについて説明する事ができる。
- 10) がんの疫学に必要な統計手法について説明する事ができる。
- 11) コンピュータを使った統計解析法について説明する事ができる。
- 12) 高齢者福祉と高齢者医療について説明できる。
- 13) 生命倫理の歴史、現行の指針などについて説明できる。
- 14) 介護予防、在宅介護、施設介護について説明できる。
- 15) わが国における各種がんの疫学について説明できる。
- 16) 予防医学の概念とその実践について説明できる。
- 17) 感染の3因子とその対策について説明できる。
- 18) 感染症の予防について説明できる。
- 19) 母子保健、学校保健について説明できる。
- 20) 試験

6) 評価法 CBTタイプおよび記述による筆記試験(90%)、出席(10%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授 業 内 容	授業内容の key word	授 業 課 題
1	1月5日(月)	Ⅱ	第三講義室	羽田	講義	公衆衛生とは。健康。	健 康 の 定 義, QOL, 公衆衛 生の定義	
2	1月5日(月)	Ⅲ	第三講義室	羽田	講義	EBMについて, 生 命倫理	EBMとは。コク ラン計画。	
3	1月7日(水)	Ⅲ	第三講義室	鈴木	講義	疫学概念と方法(1)	疫学の目的, 疫 学的因果関係, 疫学指標, 疫学 的研究法1	
4	1月7日(水)	Ⅳ	第三講義室	鈴木	講義	疫学概念と方法(2)	疫学的方法 2, 対象と標 本, 臨床疫学, 医療の評価手 法, 臨床検査の 評価法	
5	1月8日(木)	Ⅰ	第三講義室	三上	講義	日本のがんの現況と わが国がん対策をめ ぐる諸問題	地域がん登録, 環境モニタリン グとリスク評 価, 検診評価と コホート追跡, 疫学研究と個人 情報保護	
6	1月8日(木)	Ⅱ	第三講義室	小倉	講義	公衆衛生行政(1)	医療資源と医療 サービス	
7	1月15日(水)	Ⅰ	第三講義室	加藤	講義	国際保健	JICA, NPO, ODA, 結 核, AIDS, ポリオ, 環境問題	
8	1月15日(水)	Ⅱ	第三講義室	近藤	講義	高齢者医療・福祉に ついて(2)	障害・痴呆	
9	1月19日(月)	Ⅲ	第三講義室	近藤	講義	高齢者医療・福祉に ついて(1)	介護保険	
10	1月19日(月)	Ⅳ	第三講義室	鈴木	講義	疫学概念と方法(3)	疫学に用いられ る統計手法	
11	1月22日(木)	Ⅰ	第三講義室	三上	講義	がんの疫学と統計手 法について	年 齢 調 整 の 方 法, 生存率の計 算, 生命表法と カプラン・マイ ヤー法, 相対危 険度とオッズ 比。寄与危険	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
12	1月22日(木)	Ⅱ	第三講義室	羽田	講義	生命倫理	ヘルシンキ宣言, 歴史, 脳死, 臓器移植, 遺伝子診断, ターミナルケア	
13	1月26日(月)	Ⅰ	第三講義室	小倉	講義	公衆衛生行政(2)	高齢者福祉と高齢者医療, 健康日本21, 健康増進法	
14	1月26日(月)	Ⅱ	第三講義室	近藤	講義	高齢者医療・福祉について(3)	介護予防, 在宅, 施設	
15	1月29日(木)	Ⅰ	第三講義室	三上	講義	各種がんの疫学	胃がんとピロリ菌感染, 大腸がんのリスク, 肺がんと成果習慣, 乳がんの疫学, 子宮がんとHPV感染, 肝臓がんと肝炎ウイルス, 甲状腺がんの話題	
16	1月29日(木)	Ⅱ	第三講義室	羽田	講義	予防医学	予防医学の概念, ヘルスプロモーション, 健康日本21, 生活習慣病	
17	2月2日(月)	Ⅲ	第三講義室	羽田	講義	疫学統計, 母子保健, 学校保健	保険統計の意義。母子保健, 学校保健	
18	2月2日(月)	Ⅳ	第三講義室	池上	講義	感染症とその疫学	感染成立の要件, 流行, 所用感染症の疫学	
19	2月5日(木)	Ⅰ	第三講義室	池上	講義	感染症の予防	感染症サーベイランス, 感染症予防法, 予防接種, 消毒と滅菌	
20	2月16日(月)	Ⅰ	第三講義室	全教員	テスト			

- 7) 参 考 書 「国民衛生の動向」 厚生統計協会
「シンプル衛生公衆衛生学2008」 鈴木庄亮, 久道 茂 南江堂
「数学いらずの医科統計学」 津崎晃一 監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル

法 医 学 ユ ニ ッ ト

- 1) ユニット名 法医学
2) ユニット責任者 岩瀬 博太郎

- 4) ユニットの概要 法医学は、医学および自然科学を基礎として法律上の問題を研究し、またこれを鑑定する学問である。法医学で行われる司法解剖の主たる目的は、死因の鑑定であるが、臨床医にとっても、死体検案書および死因診断書作成に当って、死因の判定は重要な意義がある。なぜなら、現行のわが国の制度下では、一般臨床医が多くの異状死体の死因判定を行っており、死体を検案する臨床医が、死体取扱や死因論について正しい知識を有していないと、死因や異状死届出に関して誤判定をし、それが大きな社会問題となることがあるためである。従って、本コースでは、死因論や、医師が届け出るべき異状死の定義など、臨床医にとっても必要不可欠な知識を修得することを主たる目的とする。また、法医学において行われている個人識別の方法に関しても学び、合わせて臨床医に必要な血液型に関する知識とその方法を、講義および実習を通して修得する。

死因論、各種損傷、内因性急死、中毒、個人識別、死体検案の方法など、法医学全般にわたる知識を修得する。

5) ユニットの学習目標

一般目標 法医学全般を理解する。

- 個別目標
- 1) 法学とはどんな特徴を持った学問であるかを知る。
 - 2) 異状死体とはどのような死体か説明できる。
 - 3) 各種死体現象を説明できる。
 - 4) 損傷全般に関して説明できる。
 - 5) 鈍器による損傷に関して説明できる。
 - 6) 鋭器による損傷を説明できる。
 - 7) 銃器による損傷を説明できる。
 - 8) 交通事故による損傷を説明できる。
 - 9) 成傷器、成傷機転を表す損傷を説明できる。
 - 10) 法医学的窒息全般に関して説明できる。
 - 11) 各種の窒息死に関して説明できる。
 - 12) 異常環境下の障害について説明できる。
 - 13) 嬰児殺について説明できる。
 - 14) 児童虐待について説明できる。
 - 15) 成人および小児の突然死、急死について説明できる。
 - 16) 中毒に関する一般的事項を説明できる。
 - 17) 各種中毒について説明できる。
 - 18) 血液型全般に関して説明できる。
 - 19) 各種赤血球型について説明できる。
 - 20) 白血球型について説明できる。

21) 個人識別の目的と方法を説明できる。

22) 物体検査の目的と方法を説明できる。

6) 評 価 法 出席および課題レポート作成 (40%) および期末テスト (60%)

ユニット授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授 業 内 容	授 業 内 容 の key word	授 業 課 題
1	1月6日(火)	II	第三講義室	岩瀬	講義	法医学総論1 日本の死因究明制度	司法解剖, 行政 解剖, 異状死	
2	1月9日(金)	I	第三講義室	岩瀬	講義	法医学総論2 日本の死因究明制度 の問題点	司法検視, 行政 検視, 検案	
3	1月9日(金)	II	第三講義室	石原	講義	医師と政治の関わり	国会, 議員立 法, 法整備	
4	1月13日(火)	II	第三講義室	早川	講義	内因性急死1 異状死体の届出。内 因死と外因死の区 別。急死の機序と診 断。臓器別の急死す る疾患。	急死, 突然死, 内因死, 外因死	
5	1月20日(火)	I	第三講義室	岩瀬	講義	法医学総論3 法医学の目的	司法解剖, 行政 解剖, 承諾解 剖, 死体解剖保 存法, 刑事訴訟 法	
6	1月20日(火)	II	第三講義室	岩瀬	講義	法医学総論4 法医学の目的	司法解剖, 行政 解剖, 承諾解 剖, 死体解剖保 存法, 刑事訴訟 法	
7	1月23日(金)	I	第三講義室	佐藤	講義	中毒総論 毒物の定義。毒物の 分類法。毒物の分析 法。中毒死の死体所 見。検査試料の取扱 の方法。	中毒, 毒物, 致 死量	
8	1月23日(金)	II	第三講義室	佐藤	講義	中毒各論 青酸中毒, エタノー ル中毒, 向精神薬中 毒における症状と診 断。	中毒, 青酸中 毒, エタノー ル中毒, 向精神薬 中毒, 一酸化炭 素中毒, 硫化水 素中毒, 農薬中 毒	

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業 種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
9	1月27日(火)	I	第三講義室	岩瀬	講義	医師と法1	守秘義務, 届出義務	
10	1月27日(火)	II	第三講義室	岩瀬	講義	医師と法2	守秘義務, 届出義務	
11	1月30日(金)	I	第三講義室	岩瀬	講義	死体現象 早期, 晩期, 異常死 体現象と死後経過時 間。	死斑, 乾燥, 血 液就下, 死体硬 直, 腐敗, 死 蝋, ミイラ	
12	1月30日(金)	II	第三講義室	岩瀬	講義	異常環境による死 焼死, 熱傷死, 凍 死, 感電死。	焼死, 熱傷死, 火傷血腫, 電流 斑	
13	2月3日(火)	I	第三講義室	茂谷	講義	個人識別 硬組織による個人識 別の方法。各種物体 検査。	咬耗度, DNA フィンガープリ ント法, PCR, 渦状紋, 蹄状 紋, 弓状紋, 変 体紋	
14	2月3日(火)	II	第三講義室	山田	講義	法歯学 個人識別における法 歯学の意義。歯によ る個人識別の方法。	デンタルチャー ト, ラセミ化 法, 咬耗度	
15	2月6日(金)	I	第三講義室	岩瀬	講義	窒息1 法医学的窒息の定 義。縊頸, 扼頸。	縊頸, 扼頸, 窒 息の3徴, 溢血 点	
16	2月6日(金)	II	第三講義室	岩瀬	講義	窒息2 絞頸, 溺死, 胸郭運 動障害による窒息。	絞頸, 溺死, シャウムピル ツ, 溺死肺, Paltauf斑, 漂母 皮化, 蟬脱。壊 機試験	
17	2月10日(火)	I	第三講義室	岩瀬	講義	損傷1 損傷総論	創の性状, 創 口, 創縁, 創 洞, 創の所見の 取りかた	
18	2月10日(火)	II	第三講義室	矢島	講義	損傷2 鋭器損傷の定義。各 種鋭器損傷の特徴。	刺創, 切創, 割 創, 刺切創	
19	2月13日(金)	I	第三講義室	早川	講義	損傷3 鈍器損傷の定義。各 種鈍器損傷の特徴。 銃器損傷。	皮下出血, 圧迫 痕, 挫創, 裂 創, 表皮剥脱, 接射, 近射, 遠 射	

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
20	2月13日(金)	II	第三講義室	早川	講義	損傷4 交通事故損傷。頭部損傷。	一次損傷, 二次損傷, 轢過損傷, 頭蓋底骨折, 破裂骨折, 屈曲骨折, 脳ヘルニア, 頭蓋内出血	
21	2月17日(火)	I	第三講義室	岩瀬	講義	幼児虐待と嬰兒殺被虐待児症候群。児童虐待の状況。児童虐待に対する対応。嬰兒の成熟度の判定法。生産・死産の判定法。	shaken baby syndrome, 児童福祉, 肺浮遊試験	
22	2月17日(火)	II	第三講義室	岩瀬	講義	医療訴訟 民事訴訟と刑事訴訟における医療過誤。医療過誤発生時の対処。	行政訴訟, 刑法, 民法, 異状死ガイドライン	
23	2月20日(金)	I	第三講義室	武市	講義	医療における危機管理1	医療事故, 医療関連死, 刑事訴訟, 民事訴訟	
24	2月20日(金)	II	第三講義室	武市	講義	医療における危機管理2	医療事故, 医療関連死, 刑事訴訟, 民事訴訟	
1	1月23日(金)	III・IV	第一実習室	全教員	実習	デンタルチャート実習 デンタルチャートによる個人識別	デンタルチャート, 咬耗度	
2	1月30日(金)	III・IV	第一実習室	全教員	実習	血液型検査 全血法による血液型検査。表試験, 裏試験。	表試験, 裏試験	
3	2月6日(金)	III・IV	第一実習室	全教員	実習	血痕からの血液型判定 血痕の証明と壊機試験による血液型判定。	ロイコマラカイトグリーン, 分離試験	
4	2月13日(金)	III・IV	第一実習室	全教員	実習	鑑定書作成実習 ケーススタディーによる死体検案書作成の実際。	鑑定書, 死因論	

	授業実施日	時限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業課題
5	2月20日(金)	Ⅲ・Ⅳ	第一実習室	全教員	実習	死体検案書実習 ケーススタディーによる死体検案書作成の実際。	内因死, 外因死, 死亡診断書, 死体検案書	
	2月27日(金)	I	組織実習室		試験			

- 7) 教科書 「エッセンシャル法医学」 高取健彦編, 医歯薬出版社
- 参考書 「現代の法医学」 四方一郎, 永野耐造著, 金原出版
「死因究明～葬られた真実」 柳原三佳, 講談社
「実例に学ぶ医療事故」 押田茂實, 児玉安司, 鈴木利廣編, 医学書院
「焼かれる前に語れ」 岩瀬博太郎, 柳原三佳, WAVE 出版
- 配布資料 別添
実習書 (別添)

病 理 学 実 習

I 担 当	腫瘍病理・病態病理・診断病理・医学部附属病院病理部
II 学 習 目 標 (G I O)	各ユニットで学ぶ疾患のうち代表的なものの病理形態所見を観察し、異常所見を学習する。各疾患における各病理像を把握し、形態的变化の背景にある病態を理解する。
III 対 象 学 年	4年
実 習 場 所	組織学実習室

必 要 物 品 等	筆記用具，色鉛筆等
評 価 法	実習レポートおよび前期後期各1回の試験
参 考 書	組織病理学アトラス（文光堂）
目 的	各臓器，組織における奇形，炎症性疾患，変性疾患，代謝疾患，腫瘍における病変の組織像を学び，病院における病理診断の意義を学ぶ。組織像を通して疾患の成り立ちや，本態を考え，また，病変によって生ずる様々な臨床症状や検査データの異常を考察する。更に，分子異常とその細胞内外の局在偏奇を考慮しながら疾患の本態を分子レベルで論理的にとらえる要素を身につける。

病 態 と 診 療 Ⅱ

- I コースの概要並びに学習目標 (G I O) 臨床医学を実践するために、種々の疾病の病因、病態生理、症状の発生機序および薬物による治療原理を理解し、考察する能力を身につける。
- II 科目 (コース) 責 任 者
- III 対 象 学 年 4 年
- 1) ユニット名 臨床チュートリアル (臨床病態治療学演習)
- 2) ユニット責任者
- 3) ユニット期間

- 5) ユニットの概要 患者に関連する事象 (問題) を領域、学科に限定されない統合的な学習、少人数によるチーム学習を通して自主的に理解、解決していくことにより、医師として必要な学識、技能、態度と継続的な自己学習能力、問題解決能力を身に付ける。

6) ユニットのアウトカム

一般目標 統合的な学習、少人数によるチーム学習を通して患者に関する様々な問題を理解、解決していくことにより、医師として必要な学識、技能、態度と継続的な自己学習能力、問題解決能力を身に付ける。

PBL終了時、学生は

- 1) 学習した疾患の概念、病態、診察、検査、診断、治療、予後について述べることができる。
- 2) 様々な事象から問題点を抽出できる。
- 3) 問題点を重要度、緊急度に応じて類別できる。
- 4) 討論を通して問題点の解決を図ることができる。
- 5) 問題点を整理し、解決すべき論点を明確にできる。
- 6) 論点の解決法を述べることができる。

- 7) 論点を自己学習により概念・原理まで考察できる。
- 8) 書籍, 教科書, 文献, IT検索などにより必要な情報収集を自ら行える。
- 9) 得られた情報から論点の解決を自ら図ることができる。
- 10) 論点に関する自己学習内容を系統立てて説明し, 討議することができる。
- 11) 調べた情報を基に論点に関するレポートを作成できる。
- 12) 自己学習とグループ討議により論点を解決できる。
- 13) 症候をもとに概念マップを作成できる。
- 14) 症候から診断にいたる臨床推論を適切に行える。
- 15) チーム学習を協調的に行える。

7) 評 価 法 チュートリアル中の観察記録, チュートリアル終了後の変形論述試験 (Modified Essay Question, MEQ) 等の結果を総合的に判断する。

2008年臨床チュートリアル履修案内

I 目 標

学生は、患者に関連する事象（問題）を領域、学科に限定されない統合的な学習、少人数によるチーム学習を通して理解、解決することにより、医師として必要な学識、コミュニケーション技能、円滑な人間関係と継続的な自己学習能力、問題解決能力を修得する。

II 学習の進め方

1) 1回目のチュートリアル

① 自己紹介

お互いを理解するために自己紹介をチュータと学生で行う。(アイスブレイキング)

② 役割分担

チュートリアルを円滑に進めるために、司会、書記（ホワイトボード記載）、記録者（討論内容）を決める。この役割はチュートリアルごとに変更し、全員が分担する。記録者は、討論内容をまとめて次回チュートリアルまでに全員に配布する。

③ 論点抽出

a) 事象 (Facts)

あらかじめ配布してある課題シートを読んで、患者に関係するあらゆる事象、及びシートから自由な発想で思いつくこと、疑問に思うこと、学習してみたいことなどをチーム全員で話し合い、抽出し、ホワイトボードの一番左の列に横書きに書きだしていく。

b) 整理

ホワイトボードに書かれた様々な事象、問題の中から、お互いの討論を通して自分たちが現在持っている知識、経験では解決出来ない事柄(論点)を明確にする。これらの事柄には、実際には課題シートに書かれていないが、理解を深めていく、あるいは問題解決などに必要な基礎、臨床医学的情報も含まれる。症候に関してはその病態を解剖学、生理学、生化学などに基づいて考察する。

c) 仮説 (Hypothesis, HYPO)

この段階で得られた情報から考えられる疾患をリストアップして、模造紙に書いていく。

疾患を病因別、臓器別に系統立てて、もれなくリストする。(例：病因別に分類 Vascular, Inflammation, Neoplasm, Degeneration/Deficiency, Intoxication/Idiopathic, Congenital, Allergy/Autoimmune, Trauma, Endocrine/Metabolic, Psychiatryを VINDICATE-P と憶える)

④ 論点整理

a) 必要な情報 (Need to know, NTK)

さらに疾患を鑑別していくために必要な病歴、検査等の情報を考察し、それらを別の模造紙に記載する。

b) 新たな情報

論点の抽出、整理が終了し、HYPO、NTKを記載した後に、次のシートがチュータから配布される。シートから得られる新たなFactsでNTKに関連する情報(病歴、検査結果など)はNTKに書き込み(最初のNTKと区別するため、マジックの色を変える)、それ以外のFactsはホワイトボードに書き加えていく。最初のシート同様に論点を整理する。さらに疾患を絞り込んでいくのに必要な新たなNTKをリストアップし、模造紙に書き加える。新たな情報を基にHYPOでリストされた疾患の可能性について考察する。それぞれの疾患について、可能性が高くなれば↑、低くなれば↓、変わらなければ→などで整理していく。

病歴を漏れなく挙げるために LQQTSA (Location 部位, Quality 性状, Quantity 程度, Timing 時間, Setting

状況, Factors 憎悪/寛快因子, Associated Manifestations 随伴症状) で考える。疼痛に関しては OPQRST (Onset 発症, Provocation/Palliative Factors 憎悪/寛快因子, Quality, Region, Severity, Temporal Characteristics 時間的特徴) で考える。

c) 学習項目 (Learning issues, LIs)

チュートリアルで解決できなかった論点, 学習を進めていく上で必要な情報などを次回チュートリアルまでに学習し, 調べて来るべき学習項目として, 優先順位をつけてホワイトボードの2列目に書き出す。これらの学習項目をお互いに関連付けて整理し, 5から7項目くらいにまとめ, 全員で自己学習する。学生は各自最低1項目については責任を持って調べ, 次回チュートリアルでその学習内容をレポートとして他の学生及びチュータに配布, 解説する。全員でその論点について討議し, 問題の解決を図る。

⑤ 評価

チュータは, 毎回チュートリアル実施中及び終了時に学生のチュートリアルにおけるパフォーマンスを評価する。最終チュートリアル終了後に各学習項目と作成資料を5段階評価する。

学生による自己評価も同様の項目で行う。学生は, その日のチュートリアルを振り返って自己評価を行い, この評価シートにその日のチュートリアルの感想, 意見などを伝言板の余白部分に記載してチュータへ提出する。チュータはそれに対する回答を伝言板に記載して, 次回チュートリアル開始時に学生へ返却する。回答はe-メールによっても学生に伝達される。メールを使って学生は個別に質問などをすることができる。

理由のない遅刻, 欠席は減点される。

⑥ 自己学習

チュートリアルにより学生が自ら作成した学習項目を次回までに下記のような手段により学習してくる。この自己学習を通して様々な症候の病態生理, 疾患を基礎医学 (解剖学, 組織学, 生理学, 生化学, 病理学など) を振り返りながら考察し, 理解, 整理していく。症候, 検査データ等の情報を解析, 統合して疾患を鑑別診断し, その疾患の治療, 予後を倫理的, 社会医学的な側面も考慮して考察する。

学習手段:

- a) 外国語・日本語教科書 (最新版) (各自購入, 図書館, 各診療科)
- b) 外国語・日本語専門書, 専門雑誌 (研究室, 図書館, 各診療科, リソースパーソン)
- c) 電子化された医学中央雑誌の検索による関連論文, 特集, 総説 (図書館, 各診療科)
- d) Medline等の検索による外国語・日本語関連論文, 特集, 総説 (図書館)
- e) インターネット (Up to Dateなど) による関連情報

資料作成に際しては情報を単に書き写すだけでなく, 課題を理解, 考察して次回のチュートリアルで自らの言葉で説明し, 質問にも適切に答えられるように学習する。図書館利用に際しては他の学生も同じ教科書を利用する可能性があるため, 必要部分をコピーして教科書を出来るだけ借り出さない。関連した領域の系統講義も行われる。基礎・臨床医学教室の教官 (リソースパーソン) にも質問, 相談が出来る。その際は, 必ずアポイントメントをとってから行くこと。

2) 2回目以降のチュートリアル

① 討論

自己学習してきた事柄を発表し, 相互の討論を通して論点を解決していく。

この過程で, ホワイトボードを使用し, 討論の内容を明確にし, 全員が理解できるようにする。不明な点, 疑問に思える点は積極的に質問し, 全員の理解に役立てる。学習して理解できた知識を統合し, 基本的あるいは高次の概念や原理を考察するように努める。症候についてはその病態生理を基礎医学的知識に基づいて解説する。理解を深めるために, 説明は教科書, ノートを読んで行うのではなく, 自らの言葉で行う。その場で確

認できない、あるいは解決できない論点がある場合は、結論を急がず、次回チュートリアルまでのLIとする。討論の経過でそれ以降の課題シートが提示され、新たな論点の抽出を行う。

② 整理

論点の解決、整理が進んだ段階で、再度、学習して理解できた知識を統合して、患者の有する諸問題を解決し、患者を全人的（倫理的、心理社会的、社会医学的）な視点からもう一度とらえ直してみる。

③ 概念マップ作成

最終チュートリアルで、課題の主要な症候をもとに各自作成した概念マップを発表し、ユニットで修得した知識の体系を各自整理し、確認する。

Ⅲ 授業内容・日程

チュートリアル・ガイダンス（4/18）

ユニット1）消化器

ユニット2）血液

ユニット3）呼吸器

ユニット4）循環器

ユニット5）内分泌

ユニット6）腎・泌尿器

ユニット7）女性・生殖

ユニット8）精神・神経

ユニット9）成長・発達

U-1) (4/21~5/16)	U-2) (5/19~6/6)	U-3) (6/9~6/27)	U-4) (6/30~7/18)	U-5) (9/1~9/19)	U-6) (9/22~10/17)	U-7) (10/20~11/14)	U-8) (11/17~12/5)	U-9) (12/8~12/25)
消化器	血液	呼吸器	循環器	内分泌・アレルギー	腎・泌尿器	女性・生殖	精神・神経	成長・発達

担当診療科の都合により上記スケジュールは変更されることがある。

	I	II	III	IV	V
月	講義	講義	TUT	TUT	TUT
火	講義	講義	臨床入門	臨床入門	臨床入門
水	講義	講義	TUT	TUT	TUT
木	講義	講義	TUT	TUT	TUT
金	講義	講義	TUT	TUT	TUT

学生は14チームに分かれ（7～8名/チーム）全9ユニット（上記）を行う。臨床チュートリアル（TUT）はユニット（系統講義のユニットとは必ずしも一致しない）を構成する関連担当各科の責任において1ユニットを週1回（原則的にⅢ，Ⅳ，Ⅴ時限の2コマ、それ以外のTUTは自己学習時間にあてる）3週間で行い、9ユニットを通年で終了する。ユニット4）終了後、チーム分けを再度行い、後期は異なるメンバーでチュートリアルを行う。

Ⅳ 評価

チュータは、チュートリアルごとに各学習項目の達成度を評価表によりチェックし（観察記録）、最終チュー

トリアル終了後に各学習項目の達成度と学生の作成資料を評価する。チュートリアルの最終評価は、各チュートリアル終了時に行われる客観的論述試験、チュータによる観察記録を総合的に評価して行う。理由のない遅刻、欠席は減点される。

チュータ、チュートリアルに対する学生による評価は、チュートリアル終了後に行う。その結果は匿名でチュータに返却されチュートリアル教育の改善に利用される。

* 5段階評価： 1：不可， 2：可， 3：良， 4：優， 5：秀

V 約束事項

- 1) 学生，チュータともチュートリアル開始，終了時間を厳守する
- 2) 学生，チュータともお互いに敬意をはらい，相手を中傷するような発言を慎む
- 3) 学生はお互いにベストな情報をチュートリアルで報告し，積極的に発言し，チーム全体のレベルアップに貢献する
- 4) 討論に際しては内容（問題点，方法，結果，結論など）をその日の記録者が記載し，全員に次回のチュートリアルまでに配布する
- 5) チュートリアル中は携帯電話のスイッチを切る

平成20年度 臨床医学総論（臨床入門）

履修年次：4年 授業期間：平成20年4月～平成21年3月

No	テーマ	実習責任者	連絡先
0	ガイダンス	織田（救急集中治療医学）	71095 odas@faculty.chiba-u.jp
1	コミュニケーションⅠ	田川（総合医療教育研修センター）	71130 masami@faculty.chiba-u.jp
2	①コミュニケーションⅡ	田川（総合医療教育研修センター）	71130 masami@faculty.chiba-u.jp
	②腹部診察（正常・異常・直腸シミュレーター）	白鳥（先端応用外科学）	72186 swan@faculty.chiba-u.jp
	③腹部X線・画像診断	山本（放射線部）	72724 seikichi@faculty.chiba-u.jp
3	血液像	中世古（血液内科）	72041 chiaki-nakaseko@faculty.chiba-u.jp
4	呼吸器診断学	巽（加齢呼吸器病態制御学）	72132 tatsumi@faculty.chiba-u.jp
5	循環器診断学	中川（循環病態医科学）	72095 knakagawa@faculty.chiba-u.jp
6	①胸部診察（正常・呼吸音シミュレーター）	笠原（加齢呼吸器病態制御学）	72135 ykasa@faculty.chiba-u.jp
	②胸部X線	山本（放射線部）	72724 seikichi@faculty.chiba-u.jp
	③コミュニケーションⅢ	田川（総合医療教育研修センター）	71130 masami@faculty.chiba-u.jp
7	①胸部診察（心音シミュレーター）	小林（冠動脈疾患治療部）	71122 yoshio.kobayashi@wonder.ocn.ne.jp
	②頭頸部診察	花澤（頭頸部腫瘍学）	72461 thanazawa@faculty.chiba-u.jp
	③全身状態・バイタルサイン	高橋（総合診療部）	71279 toko@ra3.so-net.ne.jp
8	①診療録POMR	高林（企画情報部）	71312 takaba@ho.chiba-u.ac.jp
	②面接から診療録記載	高林（企画情報部）	71312 takaba@ho.chiba-u.ac.jp
9	薬剤	北田（薬剤部）	71323 kitada@ho.chiba-u.ac.jp
10	消毒法	竹内（手術部）	71068 datakenc@faculty.chiba-u.jp
11	神経診断学	朝比奈（神経内科学）	72603 asahina@faculty.chiba-u.jp
12	手洗い実習	竹内（手術部）	71068 datakenc@faculty.chiba-u.jp
13	①乳腺	長嶋（乳腺・甲状腺外科）	72269 nagasima-cib@umin.ac.jp
	②婦人科診察	三橋（生殖機能病態学）	72641 antira@faculty.chiba-u.jp
	③採血・注射	白鳥（先端応用外科学）	72186 swan@faculty.chiba-u.jp
14	①神経診察Ⅰ（中枢神経）	内山（神経内科）	72607 uchiyama@faculty.chiba-u.jp
	②神経診察Ⅱ（末梢神経・運動器）	中川（整形外科）	72384 konakag@faculty.chiba-u.jp
	③救急蘇生法	貞廣（集中治療部）	71096 sadahiro-t@umin.ac.jp
15	コミュニケーションⅣ-1（教育）	田川（総合医療教育研修センター）	71130 masami@faculty.chiba-u.jp
16	コミュニケーションⅣ-2 （悪い知らせ・医療倫理）	田川（総合医療教育研修センター）	71130 masami@faculty.chiba-u.jp
17	コミュニケーションⅤ（入院患者面接）	吉川（肝胆膵重粒子線治療学）	72004 yoshikawa@faculty.chiba-u.jp
18	①外科手技	須田（肝胆膵外科）	72234 k-suda@faculty.chiba-u.jp
	②コミュニケーションⅣ-3（インフォームド コンセント・患者教育・悪い知らせ）	田川（総合医療教育研修センター）	71130 masami@faculty.chiba-u.jp
19	チーム医療1	朝比奈（リハビリテーション部）	71257 asahi-to-yuuhi@faculty.chiba-u.jp
20	チーム医療2	朝比奈（リハビリテーション部）	71257 asahi-to-yuuhi@faculty.chiba-u.jp
21	OSCE（実技試験）	織田（救急集中治療医学）	71095 odas@faculty.chiba-u.jp

注：□はそれぞれ2～3グループに分かれて、ローテーションで実習を行う。

臨床医学総論（臨床入門）

- ゴ ー ル 医学部4年生は、臨床入門の講義、実習により、全人的医療を実践できる医師を目指した臨床実習を円滑に行うことのできる臨床能力と、卒後研修に必要な臨床技能の基礎を修得する。
- 目 標 1 患者中心の医療を行う態度、並びに医療面接、身体診察法、基本的検査法、治療手技、医療文書作成などの診療技能を修得する。
- 目 標 2 「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目」（社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構）を修得する。
- 目 標 3 模擬患者、シミュレータ、事例、患者シナリオなどを活用して実習を行い、患者を理解し、安全に診療行為を行うために必要とされる能力を修得する。
- 評 価 単位認定は、年度末に実施する客観的臨床能力試験（OSCE）により行う。OSCEは医療面接、身体診察、検査手技などの各個人の臨床能力を、課題ごとに試験官が評価基準に従って客観的に評価する実技試験である。共用試験OSCEの課題を含めて実施、評価する。どのような課題においても5年次からの臨床実習を行うのに必要とされる技能レベルに達していることを合格基準とする。
- 責 任 者

<参考資料>

千葉大学医学部学生の臨床実習での針刺し事故に対する対応

針刺し事故あるいは感染事故とは血液等付着した針，メスなどによる皮膚穿刺，切傷，ならびにHIV（+）血液，精液，腹水等による粘膜汚染である。

基本原則

必要経費は当事者の学生が全額一時負担し，「学研災付帯学生生活総合保険」及び「医学生教育研究賠償責任保険（医学賠）」の引受保険会社に当事者自身で請求する。

事故発生時初期対応

1. 医療行為中断に対する対応：説明，応援の要請。
2. 汚染部の洗浄：直ちに流水で十分に洗い流す。さらにエタノール，次亜塩素酸で皮膚，穿刺部の消毒，イソジンガーグルによる口腔内消毒を行う。
3. ただちに指導医の指示を仰ぐ。

事務上の取り扱い（千葉大学医学部附属病院内での場合）

1. 当事者は附属病院受付で私費扱いの受診手続きを行い，事故後の検査，予防処置を受ける。（健康保険は併用しない。）時間外の場合は，診療部門の責任者またはICTリンクドクターの指示により，時間外受付で私費扱いの診療手続きをする。
2. 汚染源となった患者に追加検査が必要な場合は，当事者学生は受付で患者名の私費扱いの会計箋を発行してもらい，検査及び支払いを行う。（患者自身の医療上の会計と別にする。）保険による支払いは，医学生教育研究賠償責任保険（医学賠）の保険に加入する必要がある。
3. 当事者は，事故後「学研災付帯学生生活総合保険」は「学生生活総合保険相談デスク（TEL 0120-811-806 受付・土日祝を除く9：30～17：00）」及び「医学生教育研究賠償責任保険（医学賠）」は「東京海上日動学校保険コーナー（TEL 0120-868-066 受付・平日9：00～17：00）」へ事故の報告をし，必要書類を取り寄せ（一部学務グループに書類有）記載後，授業担当教員，事務担当印を押印の上，必要書類と領収書を関係する保険会社へ提出する。診療事務上の不明な点については医学部附属病院医事課外来係に，「学研災付帯学生生活総合保険」及び「医学生教育研究賠償責任保険（医学賠）」については医学部学務グループ（学生生活担当 内線5035）に問い合わせること。

他病院での実習中に起こった事故の場合の医療上の対応は，各病院の取り決めに準じる。必要経費の負担は上記基本原則に従い，汚染源の患者に対する検査費用を含め全額学生が支払い，上記保険会社に請求する。

1. コミュニケーション I

実 習 名	コミュニケーション I
実 習 責 任 者	
実 習 日 ・ 時 限	2008.4.8 IV～V時限（詳細は後日連絡）
実 習 場 所	第一講堂
学 生 グ ル ー プ	全員
方 法	講義
教 材	配布資料
協 力 者	模擬患者
目 標 1	医療面接の役割を説明できる。
目 標 2	患者の話をよく聞くことの意義を説明でき、実践できる。
目 標 3	非言語的コミュニケーションの重要性を説明できる。
目 標 4	初診外来での医療面接の基本的構造を説明できる。
該 当 学 習 評 価 項 目	I 共通評価項目, II 医療面接
キ ー ワ ー ド	医療面接, コミュニケーション, 模擬患者
必 要 物 品 等	白衣, 名札
教 科 書 ・ 参 考 資 料	Cohen-Cole SA: メディカルインタビュー 三つの役割軸モデルによるアプローチ。飯島克巳 Bates B: A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.21-34

2-①. コミュニケーションⅡ

実 習 名	コミュニケーションⅡ		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	内科, 小児科, 婦人科, 形成・美容外科		
実 習 日・時 限	2008.4.15 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.4.22 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.5.13 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3A	3B	3C
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	第三講堂		
方 法	ロールプレイ		
教 材	ケースシナリオ		
協 力 者	模擬患者		
目 標 1	導入から次の検査の説明まで, 医療面接が行なえる。		
目 標 2	患者に対する共感的態度をとることができる。		
該当学習評価項目	Ⅰ 共通評価項目, Ⅱ 医療面接		
キ ー ワ ー ド	医療面接, コミュニケーション, 模擬患者		
予 習 項 目	4月8日配布資料の理解		
必 要 物 品 等	白衣, 名札, 4月8日配布資料		
教科書・参考資料	Cohen-Cole SA: メディカルインタビュー 三つの役割軸モデルによるアプローチ。飯島克巳 Bates B: A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.21-34		

2-②. 腹 部 診 察

実 習 名	腹部診察（正常・異常・直腸シミュレーター・導尿）		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	食道・胃腸外科，消化器内科，泌尿器科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.4.15 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.4.22 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.5.13 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）
学 生 グ ル ー プ	3B	3C	3A
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	第3講義室 *講義終了後，生理実習室にて実習		
方 法	シミュレーション実習		
教 材	ビデオ，直腸診モデル，導尿モデル		
協 力 者	学生同士		
目 標 1	腹痛を中心とする腹部症状の機序と原因疾患を理解し，それらに対応する腹部所見の診察法を修得する。		
目 標 2	視診・聴診・打診・触診を順序だてて行える。		
該当学習評価項目	Ⅰ診察に関する共通の学習・評価項目，Ⅴ腹部診察		
キ ー ワ ー ド	視診，聴診，打診，触診		
関連ユニット	消化器・栄養ユニット		
予 習 項 目	配付予定資料		
必 要 物 品 等	白衣，聴診器，名札		
教科書・参考資料	総合内科診断学 垂井清一郎 編，朝倉書店（2000），pp57-74		

2-③. 腹 部 X 線

実 習 名	腹部X線・画像診断		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	放射線科, 消化器内科, 腎臓内科, 食道・胃腸外科, 乳腺・甲状腺外科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.4.15 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.4.22 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.5.13 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
実 習 場 所	放射線科長室・第1内科臨床研究室・第2外科臨床研究室に分かれて集合する。		
学 生 グ ル ー プ	3C	3A	3B ※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。
方 法	講義, 事例検討		
教 材	腹部レントゲン写真		
協 力 者	なし		
目 標 1	腹部病変が疑われた時のX線撮影法について理解し, 説明できる。		
目 標 2	腹部の正常X線解剖を理解し, 説明する事ができる。		
目 標 3	異常な腸管ガス像について理解し, 説明することができる。		
目 標 4	腹部の石灰化について理解し, 説明することができる。		
目 標 5	異常な軟部組織陰影について理解し, 説明することができる。		
キ ー ワ ー ド	腹部, レントゲン		
予 習 項 目	正常解剖		
必 要 物 品 等	半切レントゲンフィルム (放射線科で用意)		
教科書・参考資料	腹部単純X線写真のよみ方 大場 覚著 中外医学社		

3. 血 液 像

実 習 名	血液像
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	血液内科
実 習 日 ・ 時 限	2008.5.20 Ⅲ～Ⅴ時限（詳細は後日連絡）
実 習 場 所	第一講堂
学 生 グ ル ー プ	全員
方 法	演習
教 材	配付資料
協 力 者	なし
目 標 1	正常末梢血液像について説明できる。
目 標 2	異常末梢血液像について所見を述べ、鑑別診断をあげることが出来る。
目 標 3	正常骨髓像について説明できる。
目 標 4	異常骨髓像について所見を述べ、鑑別診断をあげることが出来る。
キ ー ワ ー ド	末梢血液像、骨髓像、白血病、再生不良性貧血、多発性骨髓腫
予 習 項 目	標準血液病学
必 要 物 品 等	なし
教科書・参考資料	標準血液病学：口絵p5-p16

4. 呼 吸 器 診 断 学

実 習 名	呼吸器診断学
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	呼吸器内科
実 習 日 ・ 時 限	2008.5.27 Ⅲ時限
実 習 場 所	第3講義室
学生グループ	全員
方 法	講義
教 材	プリント
目 標 1	呼吸器，循環器診察に必要な胸部の基本的病態生理学が説明できる。
目 標 2	胸部診察の臨床的意義が説明できる。
目 標 3	心臓の診察の臨床的意義が説明できる。
該当学習評価項目	Ⅳ胸部診察
キ ー ワ ー ド	胸部聴打診，呼吸音，心音，副雑音，胸部病態生理学
関連ユニット	呼吸器ユニット，医学序説ユニット，臨床入門6 - ①胸部診察
予 習 項 目	医学序説
必 要 物 品 等	聴診器
教科書・参考資料	内科診断学 南江堂 p.155-230 Bates B : A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.209-260

5. 循環器診断学

実習名	循環器診断学
実習責任者	
指導担当診療科・部	循環器内科
実習日・時限	2008.5.27 IV時限（詳細は後日連絡）
実習場所	第3講義室
学生グループ	全員
方法	講義
教材	パソコン・CD
目標 1	正常心音のメカニズムを説明し，診察できる。
目標 2	心音の異常と心雑音について疾患と関連付けて説明し，診察できる。
キーワード	心音，心雑音
関連ユニット	循環器
必要物品等	白衣，名札，聴診器
教科書・参考資料	なし

6-①. 胸 部 診 察

実 習 名	胸部診察（正常・呼吸音シミュレーター）		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	呼吸器内科，循環器内科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.6.3	2008.6.10	2008.6.17
	15:00集合，15:00～16:00と16:00～17:00で，診察とシミュレータ実習を交代して行う。		
学 生 グ ル ー プ	3A	3B	3C
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	呼吸器内科外来・生理検査部肺機能検査室・総合医療教育研修センターに分かれて集合する。		
方 法	お互いに診察		
教 材	Mr. Lung		
目 標 1	呼吸器，循環器診察に必要な胸部の基本的解剖学が説明できる。		
目 標 2	診察に適した，身だしなみができ，模擬患者との対応・コミュニケーションが適切に行え，所見を患者に説明できる。		
目 標 3	背面を含む胸部の視診，触診，聴診，打診ができ，所見について臨床的意義が説明できる。		
目 標 4	心臓の診察の視診，聴診ができ，臨床的意義が説明できる。		
目 標 5	シミュレーターを使用し，呼吸音の左右差や，代表的な副雑音を聞き分けることができる。		
該当学習評価項目	IV胸部診察		
キ ー ワ ー ド	胸部聴打診，呼吸音，心音，副雑音，胸部解剖学		
関連ユニット	呼吸器ユニット		
予 習 項 目	5.27 呼吸器診断学のプリント		
必 要 物 品 等	白衣，名札，聴診器		
教科書・参考資料	内科診断学 南江堂 p.155-230 Bates B : A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.209-260		

6-②. 胸 部 X 線

実 習 名	胸部X線		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	放射線科, 呼吸器内科, 呼吸器外科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.6.3 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.6.10 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.6.17 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3B	3C	3A
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	生理実習室		
方 法	講義, 事例検討		
教 材	胸部レントゲン写真		
協 力 者	なし		
目 標 1	胸部病変が疑われた時のX線撮影法について理解し, 説明できる。		
目 標 2	胸部の正常X線解剖を理解し, 説明する事ができる。		
目 標 3	肺胞性陰影について理解し, 説明することができる。		
目 標 4	間質性陰影について理解し, 説明することができる。		
目 標 5	無気肺について理解し, 説明することができる。		
キ ー ワ ー ド	胸部, レントゲン		
予 習 項 目	正常解剖		
必 要 物 品 等	半切レントゲンフィルム (放射線科で用意)		
教科書・参考資料	フェルソン読める! 胸部X線写真-楽しく覚える基礎と実践		

6-③. コミュニケーションⅢ

実 習 名	コミュニケーションⅢ		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	内科, 小児科, 婦人科, 形成・美容外科		
実 習 日・時 限	2008.6.3 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.6.10 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.6.17 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3C	3A	3B
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	亥鼻地区総合教育研究棟1階124室およびチュートリアル室		
方 法	ロールプレイ		
教 材	ケースシナリオ		
協 力 者	なし		
目 標 1	良好な患者医師関係の構築を目ざした医療面接を行うことができる。		
目 標 2	医療面接により, 必要な情報を収集できる。		
該当学習評価項目	Ⅰ 共通評価項目, Ⅱ 医療面接		
キ ー ワ ー ド	医療面接, コミュニケーション		
関連ユニット	医学序説, 病態治療学ユニット		
予 習 項 目	4月8日配布資料の理解		
必 要 物 品 等	白衣, 名札, 4月8日配布資料		
教科書・参考資料	Cohen-Cole SA: メディカルインタビュー 三つの役割軸モデルによるアプローチ。飯島克巳 Bates B: A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.21-34		

7-①. 胸 部 診 察

実 習 名	胸部診察（心音シミュレーター）		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	循環器内科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.6.24 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.7.1 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.7.8 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）
学 生 グ ル ー プ	3A	3B	3C
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	総合医療教育研修センター		
方 法	シミュレーション実習		
教 材	イチロー		
目 標 1	正常心音のメカニズムを説明し，診察できる。		
目 標 2	心音の異常と心雑音について疾患と関連付けて説明し，診察できる。		
キ ー ワ ー ド	心音，心雑音		
関 連 ユ ニ ッ ト	循環器		
必 要 物 品 等	白衣，名札，聴診器		
教 科 書 ・ 参 考 資 料	（教科書は該当ページ）		

7-②. 頭 頸 部 診 察

実 習 名	頭頸部診察		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	耳鼻咽喉・頭頸部外科, 眼科, 歯科・口腔外科		
実 習 日・時 限	2008.6.24 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.7.1 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.7.8 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
実 習 場 所	第3講義室	第三講堂	第三講堂
学 生 グ ル ー プ	3B	3C	3A
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
方 法	シミュレーション実習		
教 材	眼底モデル, 頭頸部モデル		
協 力 者	なし		
目 標 1	頭頸部の診察手順を理解する。		
目 標 2	鼓膜観察を含めた耳鼻科的診察を実習する。		
目 標 3	眼底観察を含めた眼科的診察を実習する。		
該当学習評価項目	Ⅰ 共通評価項目, Ⅲ 頭頸部診察		
キ ー ワ ー ド	鼓膜, 眼底, 頭頸部		
関連ユニット	頭頸部ユニット, 視覚ユニット		
予 習 項 目	下記参考資料		
必 要 物 品 等	ペンライト, 聴診器 (耳鏡, 眼底鏡: 担当科で用意)		
教科書・参考資料	Bates' Guide to Physical Examination and History Taking (The Headの章～ The Mouth, Throat, and Neckの章)		

7-③. 全身状態・バイタルサイン

実 習 名	全身状態・バイタルサイン		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	総合診療部		
実 習 日 ・ 時 限	2008.6.24 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.7.1 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.7.8 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3C	3A	3B
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	第二講堂		
方 法	講義, ロールプレイ実習		
教 材	ビデオ		
協 力 者	なし		
目 標 1	バイタルサイン測定に際して患者に適切な声かけができる。		
目 標 2	脈拍の左右差, 不整, 緊張度を調べることができる。		
目 標 3	上肢血圧測定が触診法, 聴診法で行うことができる。		
目 標 4	下肢の血圧測定ができる。		
目 標 5	測定結果を患者に説明できる。		
該当学習評価項目	Ⅰ 共通評価項目, Ⅶ 脈拍, 血圧の測定		
キ ー ワ ー ド	脈拍測定, 上肢血圧測定, 下肢血圧測定, 血圧測定触診法, 血圧測定聴診法		
関連ユニット	循環器ユニット		
予 習 項 目	下記参考資料		
必 要 物 品 等	聴診器, 血圧計		
教科書・参考資料	Bates' Guide to Physical Examination and History Taking (The Cardiovascular system の章の Techniques of Examination の The arterial pulse 及び Blood pressure の部分)		

8-①. 診 療 録 P O M R

実 習 名	診療録の書き方	
実 習 責 任 者		
指導担当診療科・部	企画情報部	
実 習 日 ・ 時 限	2008.9.2 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.9.9 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	2A	2B
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。	
実 習 場 所	第一講堂	
方 法	ロールプレイ	
教 材	診療録2号用紙	
協 力 者	なし	
目 標 1	POSを理解する。	
目 標 2	診療録の基本的な形式を説明できる。	
目 標 3	POSで診療録が記載できる。	
該当学習評価項目	総合診療	
キ ー ワ ー ド	医療面接, POS	
関連ユニット	医療情報学	
予 習 項 目	特になし	
必 要 物 品 等	筆記用具	
教科書・参考資料	ダイナミックメディスン第一巻 (西村書店)	

8-②. 面接から診療録記載

実 習 名	診療録の書き方	
実 習 責 任 者		
指導担当診療科・部	企画情報部, 地域医療連携部	
実 習 日 ・ 時 限	2008.9.2 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.9.9 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	2B	2A
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。	
実 習 場 所	亥鼻地区総合教育研究棟1階 IT室	
方 法	ロールプレイ	
教 材	診療録1号用紙	
協 力 者	なし (学生同士で)	
目 標 1	基本的な問診ができる。	
目 標 2	患者の訴えを的確に統合して記載できる。	
目 標 3	電子カルテを用い, POSで診療録が記載できる。	
該当学習評価項目	総合診療	
キ ー ワ ー ド	医療面接, POS	
関連ユニット	医療情報学	
予 習 項 目	特になし	
必 要 物 品 等	筆記用具	
教科書・参考資料	ダイナミックメディシン第一巻 (西村書店) 標準的内科診療録 (日本内科学会専門医会編)	

9. 薬 剤

実 習 名	処方せん
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	薬剤部
実 習 日 ・ 時 限	2008.9.30 Ⅲ時限（詳細は後日連絡）
実 習 場 所	第一講堂
学 生 グ ル ー プ	全員
方 法	講義形式
教 材	スライド
協 力 者	なし
目 標 1	薬剤部業務の概要を説明できる。
目 標 2	薬剤師の職能を理解し，医薬品適正使用のためにその職能を活用できる。
目 標 3	正しい処方せんの形式を説明できる。
目 標 4	処方設計に当たっての留意点を列挙できる。
該当学習評価項目	医薬品適正使用，処方せん
関連ユニット	特になし
教科書・参考資料	臨床医のための処方せんの書き方：文光堂

10. 消 毒 法

実 習 名	消毒法
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	手術部
実 習 日 ・ 時 限	2008.9.30 IV時限（詳細は後日連絡）
実 習 場 所	第一講堂
方 法	講義
教 材	配布資料
目 標 1	消毒，滅菌の意義を理解し，相違点を認識できる。
目 標 2	消毒剤の種類と使用法がわかる。
目 標 3	滅菌の方法と特質が理解できる。
キ ー ワ ー ド	消毒，滅菌
予 習 項 目	配布資料
必 要 物 品 等	なし
教科書・参考資料	なし

11. 神 経 診 断 学

実 習 名	神経診断学
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	神経内科
実 習 日 ・ 時 限	2008.9.30 V時限（詳細は後日連絡）
実 習 場 所	第一講堂
学生グループ	全員
方 法	ビデオ供覧
教 材	神経診察ビデオ
協 力 者	なし
目 標 1	脳神経系の診察が出来る。
目 標 2	運動系の診察が出来る。
目 標 3	感覚系の診察が出来る。
目 標 4	髄膜刺激徴候の有無を検査出来る。
目 標 5	認知機能の診察が出来る。
キ ー ワ ー ド	神経診察
関連ユニット	精神・神経
予 習 項 目	OSCE 神経診察
必 要 物 品 等	なし
教科書・参考資料	必携神経内科診療ハンドブック 服部孝道 南江堂 臨床神経内科学 平山恵造 南山堂 ベッドサイドの神経の診かた 田崎義昭・斎藤佳雄著 南山堂

12. 手 洗 い 実 習

実 習 名	手洗い実習
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	手術部
実 習 日 ・ 時 限	2008.10.1.2.3.7 Ⅲ～Ⅴ時限（詳細は後日連絡）
実 習 場 所	手術部
方 法	実習
教 材	プリント
協 力 者	診療科医師
目 標 1	消毒と滅菌の違いを理解し実践できる。
目 標 2	正しい手洗いができる。
目 標 3	無菌的にガウンが着られる。
目 標 4	手袋が無菌操作で装着できる。
キ ー ワ ー ド	無菌操作
予 習 項 目	配布資料
必 要 物 品 等	なし
教科書・参考資料	なし

13-①. 乳

腺

実 習 名	乳房診察		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	乳腺・甲状腺外科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.10.14 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.10.21 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.11.4 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3A	3B	3C
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	第一講堂		
方 法	シミュレーション実習		
教 材	乳腺診察モデル		
目 標 1	乳房の診察ができる。		
目 標 2	乳腺疾患の症候を理解できる。		
目 標 3	乳腺の所見を適切に表現できる。		
該当学習評価項目	Ⅳ 胸部診察		
キ ー ワ ー ド	乳房の診察		
関連ユニット	生殖・周産期ユニット		

13-②. 婦 人 科 診 察

実 習 名	婦人科診察・導尿		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	婦人科 周産期母性科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.10.14 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.10.21 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.11.4 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3B	3C	3A
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	第二講堂		
方 法	シミュレーション実習		
教 材	婦人科シミュレータ, 導尿シミュレータ		
目 標 1	婦人科診察の基本的手順が行える。導尿の基本手技の習得。		
キ ー ワ ー ド	双合診, 陰鏡診		
関 連 ユ ニ ッ ト	生殖・周産期		
必 要 物 品 等	特になし。		
教 科 書 ・ 参 考 資 料	当日配付資料		

13-③. 採 血 ・ 注 射

実 習 名	採血・注射		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	食道・胃腸外科, 麻酔・疼痛・緩和医療科, 皮膚科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.10.14 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.10.21 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.11.4 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3C	3A	3B
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	第三講堂		
方 法	シミュレーション実習		
教 材	ビデオ「手技と処置② ビデオで学ぶ基礎処置 日経メディカルビデオVOL.2」, 腕採血モデル		
協 力 者	学生同士		
目 標 1	患者に配慮した安全かつ正確な採血・注射を行うために, シミュレーター(腕モデル)を用いて技能を修得する。		
目 標 2	採血・注射のための適切な器具をそろえることができる。		
目 標 3	採血・皮下注射・筋肉注射・静脈注射の部位を選択して, 注意点を述べることができる。		
目 標 4	採血・皮下注射・筋肉注射・静脈注射を適切な方法で実施できる。		
目 標 5	採血・注射に際しての感染事故防止の手技を学ぶ。		
該当学習評価項目	共通評価項目		
キ ー ワ ー ド	採血, 皮下注射, 筋肉注射, 静脈注射		
必 要 物 品 等	白衣, 名札		
教科書・参考資料	真空採血管を用いた採血マニュアル http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/ian/shidou/saiketsu.pdf 筋肉注射 http://www9.plala.or.jp/sophie_f/nursing/yueki-tyusya-kinniku.html 皮下注射 http://www9.plala.or.jp/sophie_f/nursing/yueki-tyusya-hika.html 針刺し事故に対する対応 本冊子 p.142		

14-①. 神 経 診 察 I

実 習 名	神経診察（中枢神経）		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	神経内科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.11.11 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.11.18 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.11.25 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）
学 生 グ ル ー プ	3A	3B	3C
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	神経内科外来		
方 法	実技実習		
教 材	なし		
協 力 者	学生同士		
目 標 1	脳神経系の診察が出来る。		
目 標 2	運動系の診察が出来る。		
目 標 3	感覚系の診察が出来る。		
目 標 4	髄膜刺激徴候の有無を検査出来る。		
目 標 5	認知機能の診察が出来る。		
キ ー ワ ー ド	神経診察		
関 連 ユ ニ ッ ト	精神・神経		
予 習 項 目	OSCE 神経診察		
必 要 物 品 等	肘・膝がでる服装		
教 科 書 ・ 参 考 資 料	ベッドサイドの神経の診かた 田崎義昭・斎藤佳雄著 南山堂 必携神経内科診療ハンドブック 服部孝道 南江堂 臨床神経内科学 平山恵造 南山堂		

14-②. 神 経 診 察 II

実 習 名	神経診察（末梢神経・運動器）		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	整形外科		
実 習 日 ・ 時 限	2008.11.11 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.11.18 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）	2008.11.25 Ⅲ～Ⅴ時限 （詳細は後日連絡）
学 生 グ ル ー プ	3B	3C	3A
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	生理実習室		
方 法	シミュレーション実習		
教 材	配布資料, 打鍵器, 筆, 角度計, 巻き尺		
協 力 者	学生同士で実習		
目 標 1	歩容の観察（痙性歩行, 馬尾性間欠歩行, 脊髓性失調歩行, 小脳性失調歩行）		
目 標 2	知覚（痛覚, 触覚, 振動覚, 位置覚）		
目 標 3	反射		
目 標 4	徒手筋力テスト		
目 標 5	Barre徴候（生体計測法）		
キ ー ワ ー ド	歩行, 知覚, 反射, 筋力		
関 連 ユ ニ ッ ト	神経診察（中枢神経）		
予 習 項 目	教科書		
必 要 物 品 等	打鍵器, 筆, 角度計, 巻き尺（整形外科で用意する）		
教 科 書 ・ 参 考 資 料	TEXT整形外科第2版 p19-24		

14-③. 救 急 蘇 生 法

実 習 名	救急蘇生法		
実 習 責 任 者			
指導担当診療科・部	救急部		
実 習 日 ・ 時 限	2008.11.11 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.11.18 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2008.11.25 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	3C	3A	3B
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。		
実 習 場 所	第三講堂		
方 法	講義, ビデオ鑑賞, シミュレーション実習		
教 材	レサシアン, AEDトレーナー		
目 標 1	救急蘇生法の目的, 適応について説明できる。		
目 標 2	救命の連鎖 (chain of survival) について説明できる。		
目 標 3	AED操作を含めた一次救命処置の手順について説明できる。		
目 標 4	AED操作を含めた一次救命処置を正確に施行できる。		
目 標 5	救急蘇生法の中止について説明できる。		
該当学習評価項目	救命処置		
キ ー ワ ー ド	救急蘇生法, 一次救命処置, AED		
関連ユニット	麻酔・救急ユニット		
予 習 項 目	救急蘇生法		
必 要 物 品 等	身軽な服装, スニーカー等		
教科書・参考資料	「標準救急医学」 p135-149 「救急蘇生法の指針 (医療従事者用)」日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修, へるす出版 「2005 AHA Guidelines for CPR and ECC」 American Heart Association ホームページ: 日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会:		

<http://www.qqzaidan.jp/qqsosei/index.htm>

15. コミュニケーションⅣ-1

実 習 名	コミュニケーションⅣ-1 (教育)
実 習 責 任 者	
指導担当診療科	内科, 小児科
実 習 日・時 限	2008.12.2 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
実 習 場 所	第一講堂, 第二講堂, 第三講堂
学 生 グ ル ー プ	全員
方 法	講義, ロールプレイ
教 材	配布資料
協 力 者	模擬患者
目 標 1	患者医師関係における医師の役割と患者の自主性について説明できる。
目 標 2	理解的態度, 支持的態度をとることができる。
目 標 3	患者教育における行動科学的な基本的アプローチ法について説明できる。
目 標 4	禁煙指導を実施できる。
目 標 5	インフォームドコンセントの意義を説明できる。
該当学習評価項目	I 共通評価項目, II 医療面接
キ ー ワ ー ド	医療面接, コミュニケーション, 患者医師関係, パターナリズム 患者支援, 教育, 行動科学的アプローチ法, 禁煙指導, 模擬患者
関連ユニット	生命倫理
予 習 項 目	授業前に指示
必 要 物 品 等	白衣, 名札
教科書・参考資料	Cohen-Cole SA: メディカルインタビュー 三つの役割軸モデルによるアプローチ。飯島克巳 Bates B: A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.21-52 ロバート・バックマン: 真実を伝える コミュニケーション技術と精神的援助の指針。恒藤暁 監訳

16. コミュニケーションⅣ-2

実 習 名	コミュニケーションⅣ-2 (悪い知らせ, 医療倫理)
実 習 責 任 者	
実 習 日・時 限	2008.12.9 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
実 習 場 所	第一講堂, 第二講堂, 第三講堂
学 生 グ ル ー プ	全員
方 法	講義
教 材	配布資料
協 力 者	模擬患者
目 標 1	正確で適切な情報の提供ができる。
目 標 2	インフォームドコンセントを実施できる。
目 標 3	‘悪い知らせ’ を伝える時の患者の心理, 反応について説明できる。
目 標 4	倫理問題に対する4分割法を用いた分析ができる。
該当学習評価項目	I 共通評価項目, II 医療面接
キ ー ワ ー ド	インフォームドコンセント, 悪い知らせ (告知), 4分割表, 模擬患者
関 連 ユ ニ ッ ト	生命倫理
予 習 項 目	12月2日配布資料の理解
必 要 物 品 等	白衣, 名札, 12月2日配布資料
教科書・参考資料	Cohen-Cole SA: メディカルインタビュー 三つの役割軸モデルによるアプローチ。飯島克巳 Bates B: A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.21-52 ロバート・バックマン: 真実を伝える コミュニケーション技術と精神的援助の指針。

恒藤暁監訳

17. コミュニケーションⅤ

実 習 名	入院患者面接
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	全科
実 習 日・時 限	2008.12.16 Ⅲ～Ⅴ時限（詳細は後日連絡）
実 習 場 所	病棟
学 生 グ ル ー プ	全員
方 法	病棟において、手洗いおよび医療面接の実習を行う。
協 力 者	副看護部長（教育担当）、各科看護師長、各科臨床入門担当医
目 標 1	医師としてふさわしい身だしなみ、患者に対するマナーを実践できる。
目 標 2	患者とのコミュニケーションを適切に行うことができる。
目 標 3	面接した患者の心理を理解し配慮できる。
目 標 4	臨床実習に必要とされる感染予防を実行できる。
該当学習評価項目	レポート提出および看護師長、患者アンケートによる目標達成度の評価
キ ー ワ ー ド	身だしなみ、コミュニケーション、感染予防、配慮
関連ユニット	臨床入門
必 要 物 品 等	清潔な白衣、名札、秒針のある腕時計（脈拍測定用）

18-①. 外 科 手 技

実 習 名	外科手技	
実 習 責 任 者		
指導担当診療科・部	肝胆脾外科, 心臓血管外科, 乳腺・甲状腺外科	
実 習 日 ・ 時 限	2009.1.6 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2009.1.13 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	2A	2B
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。	
実 習 場 所	生化学実習室	
方 法	シュミレーション実習	
教 材	人工皮膚	
目 標 1	清潔・非清潔の概念と重要性を理解する。	
目 標 2	消毒の説明を行い実施するとともに, その必要性および問題点について理解する。	
目 標 3	局所麻酔手技を説明し実施するとともに, その理論および麻酔薬の特徴を理解する。	
目 標 4	切開・縫合法を説明し実施するとともに, 各種糸結び(男結び, 女結び, 外科結び)の特徴, 結び方, 使い分けを理解し, さらに抜糸の基本手技, 概念, 時期について説明し実施する。	
目 標 5	創傷治癒, その遷延原因, 合併症(死腔, 感染, 瘢痕)について理解する。	
キ ー ワ ー ド	局所麻酔, 切開・縫合, 清潔・不潔, 消毒, 創傷治癒	
必 要 物 品 等	白衣	
教科書・参考資料	標準外科学 第十版 p.64-82	

18-②. コミュニケーションⅣ-3

実 習 名	コミュニケーションⅣ-3 (インフォームドコンセント, 患者教育, 悪い知らせ)	
実 習 責 任 者		
指導担当診療科・部	内科, 小児科, 精神神経科	
実 習 日 ・ 時 限	2009.1.6 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)	2009.1.13 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	2B	2A
	※グループ分け表は実習1週間前までに第3講義室に掲示します。	
実 習 場 所	第三講堂	
方 法	ロールプレイ	
教 材	ケースシナリオ	
協 力 者	模擬患者	
目 標 1	行動科学的アプローチ法による患者への働きかけができる。	
目 標 2	正確で適切な情報の提供ができる。	
目 標 3	インフォームドコンセントを実施できる。	
目 標 4	'悪い知らせ' を伝える際の患者心理の理解と対応ができる。	
目 標 5	個々の患者の抱える問題を理解し, 医療者として積極的に支援する。	
該当学習評価項目	Ⅰ 共通評価項目, Ⅱ 医療面接	
キ ー ワ ー ド	患者支援・教育, 悪い知らせ (告知), 行動学的アプローチ法, 模擬患者	
関連ユニット	病態治療学ユニット, 生命倫理	
予 習 項 目	12月2日・9日配布資料の理解	
必 要 物 品 等	白衣, 名札, 12月2日・9日配布資料	
教科書・参考資料	Cohen-Cole SA: メディカルインタビュー 三つの役割軸モデルによるアプローチ。飯島克巳 Bates B: A guide to physical examination and history taking. 8 th Ed. P.35-52. ロバート・バックマン: 真実を伝える コミュニケーション技術と精神的援助の指針。恒藤暁 監訳	

19. チーム医療 1 20. チーム医療 2

実 習 名	チーム医療 1, 2
実 習 責 任 者	
指導担当診療科・部	糖尿病・代謝・内分泌内科, アレルギー・膠原病内科, 小児科 食道・胃腸外科, 循環器内科, リハビリテーション部
実 習 日 ・ 時 限	2009.1.20 Ⅲ～Ⅴ時限 2009.1.27 Ⅲ～Ⅴ時限 (詳細は後日連絡) (詳細は後日連絡)
学 生 グ ル ー プ	A1, 2, 3, B1, 2, 3, C1, 2, 3, D1, 2, 3, E1, 2, 3, F1, F2, F3 ※グループ分け表は実習 1 週間前までに第 3 講義室に掲示します。
実 習 場 所	第一講堂, 第二講堂, 第三講堂
方 法	ビデオ症例についてのグループ討議, 症例シナリオについてのグループ討議, プレゼンテーション, ポートフォリオ作成, レポート作成
教 材	症例ビデオ, 症例シナリオ
協 力 者	看護部 薬剤部 臨床栄養部 リハビリテーション部 感染症管理治療部 地域医療連携部 臨床心理士 医学研究院 (薬学領域)
目 標 1	患者中心の医療を行うためのチーム医療を実施できる医師を養成する。
目 標 2	医療チームメンバーの役割を説明できる。
目 標 3	専門職員とチーム医療を円滑に遂行するための適切なコミュニケーションができる。
目 標 4	全人的評価に基づいて医療チームによる診療の計画ができる。
該当学習評価項目	レポート
キ ー ワ ー ド	患者中心の医療, チーム医療, 全人的評価, 国際生活機能分類, グループ討議, コミュニケーション
関連ユニット	医療倫理, コミュニケーション
予 習 項 目	1 月 13 日 配 付 資 料
教科書・参考資料	「患者中心の医療」, 診断と治療社, 2002 「国際生活機能分類」, 厚生労働省ホームページ http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html

4 年次スケジュール

	4月1日(火)	4月2日(水)	4月3日(木)	4月4日(金)	4月7日(月)	4月8日(火)	4月9日(水)	4月10日(木)	4月11日(金)
I	医学序説1	医学序説4	医学序説8	医学序説12	医学序説16	医学序説21	感 染 1	画 像 ・ 放 射 線 1	
II	医学序説2	医学序説5	医学序説9	医学序説13	医学序説17	医学序説22	感 染 2	画 像 ・ 放 射 線 2	
III	医学序説3	医学序説6	医学序説10	医学序説14	医学序説18	臨 床 入 門 ガイダンス・ コミュニケー ションI	医学序説23	医学序説26	消 化 器 1
IV		医学序説7	医学序説11	医学序説15	医学序説19		医学序説24	医学序説27	消 化 器 2
V					医学序説20		医学序説25	医学序説28	

	4月14日(月)	4月15日(火)	4月16日(水)	4月17日(木)	4月18日(金)	4月21日(月)	4月22日(火)	4月23日(水)	4月24日(木)	4月25日(金)
I	画 像 ・ 放 射 線 3	消 化 器 6	感 染 3	画 像 ・ 放 射 線 5	T U T ガイダンス	画 像 ・ 放 射 線 7	画 像 ・ 放 射 線 9	感 染 5	消 化 器 14	
II	画 像 ・ 放 射 線 4	消 化 器 7	感 染 4	画 像 ・ 放 射 線 6	T U T ガイダンス	画 像 ・ 放 射 線 8	画 像 ・ 放 射 線 10	感 染 6	消 化 器 15	
III	消 化 器 3	臨 床 入 門 コミュニケー ションII・ 腹部診察・ 腹部X線	消 化 器 8	消 化 器 11	臨床検査1	消 化 器 T U T	臨 床 入 門 コミュニケー ションII・ 腹部診察・ 腹部X線	臨床検査4	消 化 器 T U T	画 像 ・ 放 射 線 (病 理) 11
IV	消 化 器 4		消 化 器 9	消 化 器 (病 理) 12	臨床検査2	消 化 器 T U T		消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T
V	消 化 器 5		消 化 器 10	消 化 器 (病 理) 13	臨床検査3	消 化 器 T U T		消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T

	4月28日(月)	4月29日(火)	4月30日(水)	5月1日(木)	5月2日(金)	5月5日(月)	5月6日(火)	5月7日(水)	5月8日(木)	5月9日(金)
I	医学序説 試験29		消 化 器 18	消 化 器 (病 理 実 習) 21	臨床検査5	こどもの日 振替休日		消 化 器 (病 理) 24	運 動 器 4	臨床検査8
II	消 化 器 16		消 化 器 19	消 化 器 (病 理 実 習) 22	臨床検査6			消 化 器 (病 理) 25	運 動 器 5	臨床検査9
III	消 化 器 17	昭 和 の 日	消 化 器 20	消 化 器 23	臨床検査7			運 動 器 1	消 化 器 26	消 化 器 (CPC) 29
IV	消 化 器 T U T		消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T			運 動 器 2	消 化 器 27	消 化 器 (病 理 実 習) 30
V	消 化 器 T U T		消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T			運 動 器 3	消 化 器 28	消 化 器 (病 理 実 習) 31

	5月12日(月)	5月13日(火)	5月14日(水)	5月15日(木)	5月16日(金)	5月19日(月)	5月20日(火)	5月21日(水)	5月22日(木)	5月23日(金)
I	感染試験7	消 化 器 32	消 化 器 34	消 化 器 36	臨床検査10	消 化 器 T U T 試験	運 動 器 6	運 動 器 8	運 動 器 (病 理) 10	血 液 3
II		消 化 器 33	消 化 器 (予 備) 35	消 化 器 37	臨床検査11	血 液 1	運 動 器 7	運 動 器 9	運 動 器 (病 理 実 習) 11	血 液 4
III	消 化 器 T U T	臨 床 入 門 コミュニケー ションII・ 腹部診察・ 腹部X線	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	血 液 2	臨 床 入 門 血 液 画 像	臨 床 検 査 (CPC) 12	血 T 液 U T	血 T 液 U T
IV	消 化 器 T U T		消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	血 液 T U T		血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T
V	消 化 器 T U T		消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	消 化 器 T U T	血 液 T U T		血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T

	5月26日(月)	5月27日(火)	5月28日(水)	5月29日(木)	5月30日(金)	6月2日(月)	6月3日(火)	6月4日(水)	6月5日(木)	6月6日(金)
I	画 像 ・ 放 射 線 試 験 12	運 動 器 12	運 動 器 14	頭 頸 部 (耳 鼻) 1	血 液 7	消 化 器 試 験 38	運 動 器 16	運 動 器 18	頭 頸 部 (耳 鼻) 4	血 液 11
II	血 液 5	運 動 器 13	運 動 器 15	頭 頸 部 (耳 鼻) 2	血 液 8	血 液 9	運 動 器 17	運 動 器 19	頭 頸 部 (耳 鼻) 5	血 液 12
III	血 液 6	臨 床 入 門 呼 吸 器 診 断 学 臨 床 入 門 循 環 器 診 断 学 臨 床 入 門 予 備 日	血 T 液 U T	頭 頸 部 (耳 鼻) 3	臨 床 検 査 試 験 13	血 液 10	臨 床 入 門 胸 部 診 察 (呼 吸 音) ・ 胸 部 X 線 ・ コミュニケー ションIII	運 動 器 20	血 T 液 U T	血 液 13
IV	血 T 液 U T		血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T		血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T
V	血 T 液 U T		血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T		血 T 液 U T	血 T 液 U T	血 T 液 U T

	6月9日(月)	6月10日(火)	6月11日(水)	6月12日(木)	6月13日(金)	6月16日(月)	6月17日(火)	6月18日(水)	6月19日(木)	6月20日(金)
I	血 T U T 試 験	呼 吸 器 1	呼 吸 器 3	呼 吸 器 5	頭 頸 部 (口 腔) 8	頭 頸 部 (耳 鼻) 10	呼 吸 器 7	呼 吸 器 (病 理 実 習) 9		頭 頸 部 (口 腔) 14
II	頭 頸 部 (耳 鼻) 6	呼 吸 器 2	呼 吸 器 4	呼 吸 器 6	頭 頸 部 (口 腔) 9	頭 頸 部 (耳 鼻) 11	呼 吸 器 8	呼 吸 器 (病 理 実 習) 10	頭 頸 部 (耳 鼻) 12	頭 頸 部 (口 腔) 15
III	頭 頸 部 (耳 鼻) 7	臨 床 入 門 診 察 (呼 吸 音) ・ 胸 部 X 線 ・ コミュニケー ションIII	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	臨 床 入 門 診 察 (呼 吸 音) ・ 胸 部 X 線 ・ コミュニケー ションIII	呼 吸 器 T U T	頭 頸 部 (耳 鼻) 13	運 動 器 試 験 21
IV	呼 吸 器 T U T		呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T		呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T
V	呼 吸 器 T U T		呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T		呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T	呼 吸 器 T U T

	6月23日(月)	6月24日(火)	6月25日(水)	6月26日(木)	6月27日(金)
I	血液試験14	呼吸器13	呼吸器15		呼吸器19
II	呼吸器11	呼吸器14	呼吸器16	呼吸器17	呼吸器20
III	呼吸器12	臨床入門 胸部(心音)・ 頭頸部診察	呼吸器15	呼吸器18	呼吸器21
IV	呼吸器13	呼吸器14	呼吸器16	呼吸器17	呼吸器20
V	呼吸器11	呼吸器14	呼吸器16	呼吸器17	呼吸器20

	6月30日(月)	7月1日(火)	7月2日(水)	7月3日(木)	7月4日(金)
I	呼吸器 T U T 試験	医療情報2	循環器2	医療情報3	循環器7
II	医療情報1	循環器1	循環器3	循環器5	循環器8
III	循環器 T U T	臨床入門 胸部(心音)・ 頭頸部診察	循環器4	循環器6	循環器 T U T
IV	循環器 T U T	循環器1	循環器3	循環器5	循環器8
V	循環器 T U T	循環器1	循環器3	循環器5	循環器8

	7月7日(月)	7月8日(火)	7月9日(水)	7月10日(木)	7月11日(金)
I	頭頸部 (耳鼻)試験16	医療情報5	循環器10	医療情報6	循環器15
II	医療情報4	循環器9	循環器11	循環器13	循環器16
III	循環器 T U T	臨床入門 胸部(心音)・ 頭頸部診察	循環器12	循環器14	循環器 T U T
IV	循環器 T U T	循環器9	循環器11	循環器13	循環器16
V	循環器 T U T	循環器9	循環器11	循環器13	循環器16

	7月14日(月)	7月15日(火)	7月16日(水)	7月17日(木)	7月18日(金)
I	呼吸器 T U T 試験	循環器 (病理)17	循環器21		病理前期 試験
II		循環器 (病理実習)18			
III	循環器 T U T	循環器19	循環器 T U T	循環器 T U T	循環器 T U T
IV	循環器 T U T	循環器20	循環器 T U T	循環器 T U T	循環器 T U T
V	循環器 T U T	循環器20	循環器 T U T	循環器 T U T	循環器 T U T

	7月21日(月)	7月22日(火)	7月23日(水)	7月24日(木)	7月25日(金)
I		循環器 T U T 試験			
II					
III	海の日				
IV					
V					

	7月28日(月)	7月29日(火)	7月30日(水)	7月31日(木)	8月1日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	8月4日(月)	8月5日(火)	8月6日(水)	8月7日(木)	8月8日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	8月11日(月)	8月12日(火)	8月13日(水)	8月14日(木)	8月15日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	8月18日(月)	8月19日(火)	8月20日(水)	8月21日(木)	8月22日(金)
I					夏休み終了
II					
III					
IV					
V					

	8月25日(月)	8月26日(火)	8月27日(水)	8月28日(木)	8月29日(金)
I	代謝・ 内分泌1	代謝・ 内分泌3	代謝・ 内分泌5	代謝・内分泌 (病理実習)7	代謝・ 内分泌9
II	代謝・ 内分泌2	代謝・ 内分泌4	代謝・ 内分泌6	代謝・内分泌 (病理実習)8	代謝・ 内分泌10
III	アレ・ 膠原1		アレ・ 膠原3	アレ・ 膠原5	アレ・ 膠原7
IV	アレ・ 膠原2	臨床入門 予備日	アレ・ 膠原4	アレ・ 膠原6	アレ・ 膠原8
V					

	9月1日(月)	9月2日(火)	9月3日(水)	9月4日(木)	9月5日(金)
I	循環器 試験22	代謝・ 内分泌12	アレ・ 膠原9	腎・ 泌尿器1	アレ・ 膠原11
II	代謝・ 内分泌11	代謝・ 内分泌13	アレ・ 膠原10	腎・ 泌尿器2	アレ・ 膠原 (CPC)12
III	アレ・ 膠原 T U T	臨床入門 P O M R	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T
IV	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T
V	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T

	9月8日(月)	9月9日(火)	9月10日(水)	9月11日(木)	9月12日(金)
I	医療情報 試験7	腎・ 泌尿器5	腎・ 泌尿器7	腎・ 泌尿器 (病理)10	腎・ 泌尿器12
II	腎・ 泌尿器3	腎・ 泌尿器6	腎・ 泌尿器8	腎・ 泌尿器 (病理)11	腎・ 泌尿器13
III	腎・ 泌尿器4		腎・ 泌尿器9	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T
IV	アレ・ 膠原 T U T	臨床入門 診療録記載	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T
V	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T	アレ・ 膠原 T U T

	9月15日(月)	9月16日(火)	9月17日(水)	9月18日(木)	9月19日(金)	9月22日(月)	9月23日(火)	9月24日(水)	9月25日(木)	9月26日(金)	
I	敬老の日	腎・泌尿器14	麻酔・救急1	腎・泌尿器16 (病理実習)	腎・泌尿器18	秋分の日		代謝・内分泌試験14	麻酔・救急6	麻酔・救急8	
II		腎・泌尿器15	麻酔・救急2	腎・泌尿器17 (病理実習)	腎・泌尿器(CPC)19			麻酔・救急3	麻酔・救急5	麻酔・救急7	麻酔・救急9
III		臨床入門予備日	アレ・膠原T U T	アレ・膠原T U T	アレ・膠原T U T			腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T
IV			アレ・膠原T U T	アレ・膠原T U T	アレ・膠原T U T			腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T
V			アレ・膠原T U T	アレ・膠原T U T	アレ・膠原T U T			腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T

	9月29日(月)	9月30日(火)	10月1日(水)	10月2日(木)	10月3日(金)	10月6日(月)	10月7日(火)	10月8日(水)	10月9日(木)	10月10日(金)		
I	アレ・膠原試験13	麻酔・救急12	生殖3	生殖5	生殖7	腎・泌尿器試験20	生殖11	生殖13	生殖15	生殖17		
II	麻酔・救急10	麻酔・救急13	生殖4	生殖6	生殖8	生殖9	生殖12	生殖14	生殖16	生殖18		
III	麻酔・救急11	臨床入門薬	臨床入門手洗い実習	臨床入門手洗い実習	生殖19	腎・泌尿器T U T	臨床入門手洗い実習	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T		
IV	生殖1	臨床入門消毒				腎・泌尿器T U T		腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T
V	生殖2	臨床入門神経診断学				腎・泌尿器T U T		腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T

	10月13日(月)	10月14日(火)	10月15日(水)	10月16日(木)	10月17日(金)	10月20日(月)	10月21日(火)	10月22日(水)	10月23日(木)	10月24日(金)
I	体育の日	生殖20	生殖(病理)22	生殖(病理)24	生殖(病理実習)26	腎・泌尿器T U T試験	(精神科)精神・神経3	(精神科)精神・神経5	(神内)精神・神経7	(神内)精神・神経10
II		生殖21	生殖(病理)23	生殖(病理)25	生殖(病理実習)27	(精神科)精神・神経1	(精神科)精神・神経4	(精神科)精神・神経6	(神内)精神・神経8	(神内)精神・神経11
III		臨床入門乳腺・婦人科診察・採血注射	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	(精神科)精神・神経2	臨床入門乳腺・婦人科診察・採血注射	女性・生殖T U T	(神内)精神・神経9	(神内)精神・神経12
IV			腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	女性・生殖T U T		女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T
V			腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	腎・泌尿器T U T	女性・生殖T U T		女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T

	10月27日(月)	10月28日(火)	10月29日(水)	10月30日(木)	10月31日(金)	11月3日(月)	11月4日(火)	11月5日(水)	11月6日(木)	11月7日(金)
I	麻酔・救急試験14	(脳外)精神・神経17	大学祭準備	大学祭	大学祭	大学祭	(脳外)精神・神経22	(精神科)精神・神経24	(神内)精神・神経27	(神内)精神・神経29
II	(精神科)精神・神経13	(脳外)精神・神経18	大学祭準備				(脳外)精神・神経23	(精神科)精神・神経25	(神内)精神・神経28	(神内)精神・神経30
III	(精神科)精神・神経14	(神内)精神・神経19	大学祭準備				(精神科)精神・神経26	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T
IV	(神内)精神・神経15	(神内)精神・神経20	大学祭準備				女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T
V	(神内)精神・神経16	(神内)精神・神経21	大学祭準備				女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T

	11月10日(月)	11月11日(火)	11月12日(水)	11月13日(木)	11月14日(金)	11月17日(月)	11月18日(火)	11月19日(水)	11月20日(木)	11月21日(金)
I	生殖試験28	精神・神経(病理)32	精神・神経(病理)34	(脳外)精神・神経36	(精神科)精神・神経38	女性・生殖T U T試験	成長・発達1	成長・発達3	成長・発達5	成長・発達7
II	(精神科)精神・神経31	(脳外)精神・神経33	精神・神経(病理実習)35	(脳外)精神・神経37	(脳外)精神・神経39	(精神科)精神・神経40	成長・発達2	成長・発達4	成長・発達6	成長・発達8
III	女性・生殖T U T	臨床入門神経診察I・II・救急蘇生法	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	(精神科)精神・神経41	臨床入門神経診察I・II・救急蘇生法	精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T
IV	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	精神・神経T U T		精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T
V	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	女性・生殖T U T	精神・神経T U T		精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T

	11月24日(月)	11月25日(火)	11月26日(水)	11月27日(木)	11月28日(金)	12月1日(月)	12月2日(火)	12月3日(水)	12月4日(木)	12月5日(金)	
I	振替休日	成長・発達9	成長・発達11	成長・発達13	成長・発達16	成長・発達19	成長・発達21	視覚1	視覚3	皮膚・形成1	
II		成長・発達10	成長・発達12	成長・発達14	成長・発達17	成長・発達20	成長・発達22	視覚2	視覚4	皮膚・形成2	
III		臨床入門神経診察I・II・救急蘇生法	精神・神経T U T	成長・発達15	成長・発達18	精神・神経T U T	臨床入門コミュニケーションIV-1	精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T
IV			精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T		精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T
V			精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T		精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T	精神・神経T U T

	12月8日(月)	12月9日(火)	12月10日(水)	12月11日(木)	12月12日(金)	12月15日(月)	12月16日(火)	12月17日(水)	12月18日(木)	12月19日(金)
I	精神・神経 T U T 試験	皮膚・形成5	皮膚・形成7	視覚 5	視覚 7	精神・神経 試験 42	皮膚・形成11	皮膚・形成13	皮膚・形成15	皮膚・形成18
II	皮膚・形成3	皮膚・形成6	皮膚・形成8	視覚 6	視覚 8	皮膚・形成9	皮膚・形成12	皮膚・形成14	皮膚・形成16	皮膚・形成19
III	皮膚・形成4	臨床入門 コミュニケーションIV-2	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	皮膚・形成10	臨床入門 コミュニケーションV	成長・発達 T U T	皮膚・形成17	皮膚・形成20
IV	成長・発達 T U T		成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T		成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T
V	成長・発達 T U T		成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T		成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T

	12月22日(月)	12月23日(火)	12月24日(水)	12月25日(木)	12月26日(金)	12月29日(月)	12月30日(火)	12月31日(水)	1月1日(木)	1月2日(金)
I	成長・発達 試験 23	天皇誕生日	病理後期 試験						元日	
II										
III	成長・発達 T U T		成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T					
IV	成長・発達 T U T		成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T					
V	成長・発達 T U T		成長・発達 T U T	成長・発達 T U T	成長・発達 T U T					

	1月5日(月)	1月6日(火)	1月7日(水)	1月8日(木)	1月9日(金)	1月12日(月)	1月13日(火)	1月14日(水)	1月15日(木)	1月16日(金)		
I		成長・発達 T U T 試験	衛生 1	公衆 5	法医 2	成人の日	視覚試験9	衛生 3	公衆 7	センター試験? 準備?		
II	公衆 1	法医 1	衛生 2	公衆 6	法医 3		法医 4	衛生 4	公衆 8	センター試験? 準備?		
III	公衆 2	臨床入門 外科手技・ コミュニケーションIV-3	公衆 3		皮膚・形成 試験 21		臨床入門 外科手技・ コミュニケーションIV-3	衛生 5			センター試験? 準備?	
IV			公衆 4					衛生学 実習 1				センター試験? 準備?
V								衛生学 実習 1				センター試験? 準備?

	1月19日(月)	1月20日(火)	1月21日(水)	1月22日(木)	1月23日(金)	1月26日(月)	1月27日(火)	1月28日(水)	1月29日(木)	1月30日(金)
I	衛生 6	法医 5	衛生 8	公衆 11	法医 7	公衆 13	法医 9	衛生 12	公衆 15	法医 11
II	衛生 7	法医 6	衛生 9	公衆 12	法医 8	公衆 14	法医 10	衛生 13	公衆 16	法医 12
III	公衆 9	臨床入門 ムム1 医療	衛生学 実習 2		法医実習	衛生 10	臨床入門 ムム2 医療	衛生学 実習 3		法医実習
IV	公衆 10		衛生学 実習 2		法医実習	衛生 11		衛生学 実習 3		法医実習
V			衛生学 実習 2					衛生学 実習 3		

	2月2日(月)	2月3日(火)	2月4日(水)	2月5日(木)	2月6日(金)	2月9日(月)	2月10日(火)	2月11日(水)	2月12日(木)	2月13日(金)
I		法医 13	衛生 15	公衆 19	法医 15	衛生 17	法医 17			法医 19
II	衛生 14	法医 14	衛生 16		法医 16	衛生 18	法医 18			法医 20
III	公衆 17		衛生学 実習 4		法医実習	衛生学 実習 5		建国記念日		法医実習
IV	公衆 18		衛生学 実習 4		法医実習	衛生学 実習 5				法医実習
V			衛生学 実習 4			衛生学 実習 5				

	2月16日(月)	2月17日(火)	2月18日(水)	2月19日(木)	2月20日(金)	2月23日(月)	2月24日(火)	2月25日(水)	2月26日(木)	2月27日(金)
I	公衆試験20	法医 21	衛生 19		法医 23	衛生試験20				法医試験25
II		法医 22			法医 24					
III			衛生学実 6		法医実習					
IV			衛生学実 6		法医実習					
V			衛生学実 6							

	3月2日(月)	3月3日(火)	3月4日(水)	3月5日(木)	3月6日(金)
I					
II					
III					
IV					
V					

	3月9日(月)	3月10日(火)	3月11日(水)	3月12日(木)	3月13日(金)

	3月16日(月)	3月17日(火)	3月18日(水)	3月19日(木)	3月20日(金)
I					春分の日
II					
III					
IV					
V					

	3月23日(月)	3月24日(火)	3月25日(水)	3月26日(木)	3月27日(金)

	3月30日(月)	3月31日(火)			
I					
II					
III					
IV					
V					